

令和 9 年 度 (2027年度)

滋賀県立高等学校入学者選抜要項

滋 賀 県 教 育 委 員 会

令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜の日程

【出願準備】

志願者基本情報一括登録 令和8年11月17日(火)～令和8年12月15日(火)
志願者基本情報確認・入力 令和8年12月16日(水)～令和9年1月26日(火)

月日	曜	特別出願許可申請期間（来庁受付）		全日制・定時制	通信制 （大津清陵高等学校）
		全日制・定時制	通信制		
1月18日	月	↑ 一次募集受付		志願者基本情報確認・入力(12/16～)	
1月19日	火				
1月20日	水				
1月21日	木				
1月22日	金				
1月23日	土				
1月24日	日				
1月25日	月				
1月26日	火			↓	
1月27日	水				
1月28日	木			↑ 一次募集出願(9:00～)	
1月29日	金	↓			
1月30日	土			信楽高等学校・伊香高等学校 全国募集検査(13:00～)	
1月31日	日				
2月1日	月				
2月2日	火				
2月3日	水				
2月4日	木				
2月5日	金				
2月6日	土				
2月7日	日				
2月8日	月				
2月9日	火			↓ 一次募集出願終了(12:00)	
2月10日	水	↑ 出願変更申請	↑ 通信制	↑ 一次募集出願変更(9:00～)	
2月11日	木				
2月12日	金				
2月13日	土				
2月14日	日				
2月15日	月	↓ (12:00)			
2月16日	火				
2月17日	水			↓ 一次募集出願変更終了(12:00) ↑ 入学検査手数料の納付(13:00～)	
2月18日	木				
2月19日	金				
2月20日	土				
2月21日	日				
2月22日	月			↓ 入学検査手数料の納付締切(12:00)	
2月23日	火				
2月24日	水			受検番号採番	
2月25日	木			↑ 受検票の印刷(9:00～)	
2月26日	金				
2月27日	土				
2月28日	日				
3月1日	月				
3月2日	火			↓	
3月3日	水			一次募集学力検査(9:00～)	
3月4日	木			一次募集学校独自検査(9:00～)	
3月5日	金				↑ 一次募集(9:00～)
3月6日	土				
3月7日	日			追検査(学力検査)(10:00～)	
3月8日	月			追検査(学校独自検査)(9:00～)	
3月9日	火		↓ (12:00)		↓ (16:00)
3月10日	水				
3月11日	木	↑ 二次募集		一次募集入学許可予定者発表(9:00)	一次募集入学許可予定者発表(9:00)
3月12日	金	↓	↑ 二次募集	↑ 二次募集出願(9:00～)	
3月13日	土				
3月14日	日				
3月15日	月			↓ 二次募集出願終了(12:00) ↑ 入学検査手数料の納付(13:00～) ↑ 入学検査手数料の納付締切(12:00) 受検番号採番(13:00～15:00) ↑ 受検票の印刷(15:00～)	
3月16日	火			↓ 受検票の印刷(～12:00) ↑ 二次募集検査(14:00～)	
3月17日	水				↑ 二次募集(13:00～)
3月18日	木				
3月19日	金		↓ (12:00)	二次募集入学許可予定者発表(9:00)	↓ (16:00)
3月20日	土				
3月21日	日				
3月22日	月				
3月23日	火				二次募集入学許可予定者発表(9:00)

目 次

I 全日制の課程における入学者選抜	
第1 一次募集	1
第2 二次募集	7
II 定時制の課程における入学者選抜	
第1 一次募集	9
第2 二次募集	15
III 通信制の課程（大津清陵高等学校）における入学者選抜	
第1 一次募集	17
第2 二次募集	18
IV 全国募集に係る入学者選抜	
第1 全国募集	19
第2 信楽高等学校・伊香高等学校の入学者選抜について	20
第3 虎姫高等学校の入学者選抜について	22
V 中高一貫教育に係る併設型高等学校の特例	24
〔別紙〕出願必要書類	25
令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜 高等学校別入学者選抜概要	26
〔別表1〕高等学校別入学者選抜一覧表	85
〔別添2〕学校独自型選抜における自己推薦の出願要件 および中学校長推薦の推薦要件（概要一覧表）	87
令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜実施要領（フローチャート）	89
令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜に係る出願書類作成 および出願事務の手引	97
令和9年度滋賀県立高等学校特別事情による出願について	101
滋賀県立学校の管理運営等に関する規則（抄）	104
令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜 配慮申請実施要領	105
令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜諸用紙（様式）	111
令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜の関係書類等一覧表	138
県立高等学校入学者選抜における中学校（番号）一覧表	140

令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項

令和9年度における滋賀県立高等学校（以下「県立高等学校」という。）の全日制の課程、定時制の課程、通信制の課程および全国募集に係る入学者の選抜は、この要項に定めるところにより実施する。

I 全日制の課程における入学者選抜

選抜は、「一次募集」と「二次募集」により行うものとする。

第1 一次募集

一次募集においては、原則として全ての学校、学科（科）が「一般型選抜」と「学校独自型選抜」を実施するものとし、全ての入学志願者（以下「志願者」という。）が学力検査を受検するものとする。

一般型選抜は、主として志願者の学力を評価するものとする。学校独自型選抜は、学力をみる検査だけでは測れない資質・能力を多面的に評価するものとし、学校、学科（科）の特色に応じた方法を組み合わせて実施するものとする。

学校独自型選抜は、自己推薦と中学校長推薦の2種類から各高等学校が自校の特色に応じ、選択して実施することができる。

1 募集

(1) 募集定員

募集定員は、別に定める。

(2) 募集枠および募集人数

一般型選抜および学校独自型選抜における募集枠および募集人数は、各高等学校が作成する別添「高等学校別入学者選抜概要」に基づき、滋賀県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）が定めるものとする。

(3) 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和9年3月に中学校、義務教育学校もしくはこれに準ずる学校または中等教育学校の前期課程（以下「中学校等」という。）を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者、または修了した者

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

(4) 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件

ア 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件は、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

イ 中学校長推薦において出願できる者は、(3)アに該当し、出願する県立高等学校（以下「出願先高等学校」という。）が示す、学校、学科（科）の推薦要件に適する者で、中学校等の校長（以下「中学校長」という。）の推薦を受けた者とする。

ウ 自己推薦において出願できる者は、出願先高等学校が示す、学校、学科（科）の出願要件を満たす者とする。

2 出願

(1) 出願

ア 志願者は、県立学校の管理運営等に関する規則（以下、「管理運営等規則」という。）第11条第2項の規定に基づき、その保護者等（親権者または未成年後見人をいう。）が県内に居住するときは、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

イ 志願者の保護者等が県外に居住するときは、管理運営等規則第11条の3の規定に基づく許可を受けた者に限り、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、一般型選抜にあつては、出願先高等学校の同一の課程に2以上の学科（科）が置かれ、一般型選抜の募集枠がある場合、これを第2志望または第3志望とすることができる。

エ 次に掲げる県立高等学校の一般型選抜にあつては、ウの規定によらず、当該県立高等学校に設置する二つの学科（科）を区別せずに出願（学校出願）できるものとし、二つの学科（科）の両方またはいずれかを志望することができる。

膳所高等学校、米原高等学校、草津東高等学校、高島高等学校および守山北高等学校

オ 志願者は、学校独自型選抜と一般型選抜の双方に出願することができる。このことを「併願」という。また、一般型選抜にのみ出願することを「専願」という。併願する場合は、学校独自型選抜で志願する学校、学科（科）と、一般型選抜の第一希望の学校、学科（科）は同一のものとする。ただし、学校独自型選抜でその定員の全てを募集する学科（科）には、学校独自型選抜でのみ出願することができる。

カ 自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する学校、学科（科）に出願する場合、志願者は、自己推薦と中学校長推薦のどちらか一方にのみ出願することができる。

キ 自己推薦において、2つの推薦（自己推薦A、自己推薦B）を実施する学校、学科（科）に出願する場合、志願者は、いずれか一方の推薦に限り出願することができる。中学校長推薦についても、同様とする。

(2) 期間

期間は、表1-1のとおりとする。

表1-1 出願手続の内容および期間

出願手続		期間
ア 出願準備	(a) 志願者基本情報一括登録	令和8年11月17日(火)～令和8年12月15日(火)
	(b) 志願者基本情報確認・入力	令和8年12月16日(水)～令和9年1月26日(火)
イ 一次募集出願（出願情報登録）		令和9年1月28日(木) 9:00～令和9年2月9日(火)12:00
ウ 出願変更		令和9年2月10日(水) 9:00～令和9年2月17日(水)12:00
エ 入学検査手数料（以下「手数料」という。）の納付		令和9年2月17日(水)13:00～令和9年2月22日(月)12:00
オ 受検票の印刷		令和9年2月25日(木) 9:00～令和9年3月2日(火)

(3) 出願手続

出願手続は、滋賀県立高等学校入学者選抜Web出願システム（以下「Web出願システム」という。）により行う。詳細な出願手続については、別に定める「滋賀県立高等学校入学者選抜Web出願マニュアル（以下「Web出願マニュアル」）」を参考にすること。

県外からの志願者および1(3)ウに該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。

ア 出願準備

(ア) 志願者が行う手続

① 志願者基本情報確認・入力

志願者は、表1-1ア(b)の期間内に、Web出願システムにより、中学校等が一括登録した志願者基本情報が正しく登録されているか確認し、必要に応じて修正および追加、入力を行う。

② 各種資料の準備

志願者は、出願準備期間が終了するまでに、出願に必要な各種資料を準備する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 志願者基本情報一括登録

中学校等は、表1-1ア(a)の期間内に、Web出願システムにより、志願者基本情報の一括登録を行う。

② 志願者基本情報の確認

中学校等は、表1-1ア(b)の期間内に、Web出願システムにより、志願者が確認および入力した志願者基本情報の最終確認を行う。なお、確認にあたっては、志願者の入力事項等に誤りが無いことを必ず確認する。

③ 各種資料の準備

中学校等は、個人調査報告書に係るデータや別紙に示す「出願必要書類」の準備や確認を行う。

イ 一次募集出願（出願情報登録）

Web出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表1-1イの期間内に、Web出願システムにより、出願情報（志願する学校、学科（科）、受検する選抜の種類等）を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表1-1イの期間内に、Web出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。なお、この要項に定める要件を満たしていることを必ず確認し、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 個人調査報告書に係るデータの提出

中学校等は、表1-1イの期間内に、Web出願システムにより、個人調査報告書に係るデータをアップロードして提出する。その際、個人調査報告書に係るデータに示される評定は、生徒指導要録に基づく評価を用いるものとする。

③ 出願必要書類の提出

中学校等は、表1-1イの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備およびこの要項に定める要件を満たしていることを確認の上、適正であると認めたときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

ウ 出願変更

志願者は、イに基づく出願後、1人1回に限り、出願先高等学校、課程、学科(科)(同一学校内の学科(科)を含む。)の変更(以下、「出願変更」という。)を行うことができる。出願変更を行う場合は、表1-1ウの期間内に、出願変更申請を行う。

ただし、中学校長推薦で出願した場合は、中学校長推薦での出願変更、同一学校・同一学科(科)の自己推薦への出願変更、同一学校・同一学科(科)の一般型選抜のみへの出願変更はできない。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願変更申請

出願変更を希望する者(以下、「出願変更希望者」という。)は、中学校等へ出願変更を依頼し、出願変更の許可を受けた後、Web 出願システムにより、イ(ア)の手続に準じて、新たに出願する県立高等学校の出願情報を入力する。

② 書類の変更・提出

出願変更希望者は、出願変更により出願必要書類の追加や変更の必要がある場合は、表1-1ウの期間内に、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願変更の許可

中学校等は、必要に応じて、Web 出願システムにより出願変更の許可を行う。

② 書類の変更・提出

中学校等は、表1-1ウの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、当該生徒の出願に必要な書類を再度アップロードして提出することができる。(個人調査報告書に係るデータの再アップロードは不要。)

③ 出願変更申請の承認

中学校等は、出願の変更が正当と認めた場合、Web 出願システムにより、イ(イ)の手続に準じて、承認を行う。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、イ(ウ)の手続に準じて、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

エ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1-1エの期間内(2月22日(月)正午まで)に、手数料を納付する。手数料は、出願する選抜が一つの場合は、2,200円、二つの場合は、4,400円が必要となる。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web 出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、2月22日(月)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb 出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb 出願システムにより確認する。

オ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1-1オの期間内に、Web 出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表1-1オの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、2月24日(水)に、Web 出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 学力検査

- ア 学力検査は、出願者全員に対して実施する。
- イ 学力検査実施教科は、国語、数学、社会、理科および外国語（英語）の5教科とする。
- ウ 学力検査実施教科の配点は、各教科100点を標準とする。
- エ 高等学校は、自校の特色に応じて、学力検査実施教科の配点に比重をかけることができる。
- オ 各教科等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。

(2) 学校独自検査

- ア 学校独自検査は、学校独自型選抜出願者に対して実施する。
- イ 学校独自検査は、作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査等のうちから1つ以上を課すものとし、実施内容等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。
- ウ 各検査等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。

(3) 受検会場

出願先高等学校とする。

(4) 各検査の内容、期日および時間

各検査の内容、期日および時間は、表1-2のとおりとする。

表1-2 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和9年 3月3日(水)	検査	学力検査										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和9年 3月4日(木)	検査	学校独自検査、一般型選抜の実技検査										
	内容	一般 注意	休	作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の学力検査の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。
・学力検査以外の検査は2日目に実施する。

(5) 判定（入学許可予定者の決定）

- ア 判定は、学校独自型選抜、一般型選抜の順に行う。学校独自型選抜で入学許可が得られなかった受検者は、一般型選抜で専願受検者とともに判定する。
- イ 学校独自型選抜による判定
- (ア) 学校独自型選抜においては、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等を資料とする。
- (イ) 高等学校長は、学力検査、学校独自検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して入学許可予定者を決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。
- (ウ) 学校独自型選抜において、自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する場合は、自己推薦から判定する。自己推薦の募集人数が充足しなかった場合は、その分を中学校長推薦の募集人数に加えて判定する。ただし、中学校長推薦において、2つの推薦（中学校長推薦A、中学校長推薦B）を実施する場合、中学校長推薦Aの募集人数に加えて判定する。
- ウ 一般型選抜による判定
- (ア) 一般型選抜においては、学力検査結果、個人調査報告書等を資料とする。
- (イ) 高等学校長は、学力検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。
- (ウ) 2(1)エに該当する県立高等学校の校長は、志願者の志望に基づき専門学科を優先して入学許可予定者を決定し、次に、普通科の入学許可予定者を決定するものとする。ただし、守山北高等学校においては、志願者の志望に基づき、みらい共創科を優先して入学許可予定者を決定し、次に、普通科の入学許可予定者を決定するものとする。
- (エ) 一般型選抜は、募集定員から学校独自型選抜の入学許可予定者を除く人数を一般型選抜の募集人数とし、入学許可予定者を決定する。

(6) 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和9年3月11日(木)に、Web 出願システムにより行うものとする。

4 追検査

(1) 対象者

対象者は、インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で、表1-2の日程における1日目の学力検査および2日目の学校独自検査（以下「本検査」という。）の全てもしくはその一方を受検できなかった者の中で、追検査の受検を希望する者とする。なお、追検査は、本検査で出願した高等学校、学科（科）について受検するものであり、変更は認めない。

(2) 申請期日

申請期日は、令和9年3月5日(金)の原則午後3時までとする。

(3) 申請手続

ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、出身中学校等がない場合は、出願先高等学校長に直接提出すること。

(ア) 一次募集追検査受検願

(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。

イ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。なお、郵送による申請手続は認めない。

(4) 受検会場

ア 追検査（学力検査）の受検会場は、滋賀県庁（滋賀県大津市京町4丁目1-1）とする。

イ 追検査（学校独自検査）の受検会場は、出願先高等学校とする。

(5) 追検査の内容、期日および時間

ア 志願者は、(4)ア、イにおいて、定められた検査場で、定められた時間割に従って、本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。

イ 追検査の内容、期日および時間は、表1-3のとおりとする。

表1-3 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和9年 3月7日(日)	検査	追検査（学力検査）										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	昼	社会	休	理科	休	英語
	時間	10:00 ～ 10:10	憩	10:25 ～ 11:15	憩	11:35 ～ 12:25	食	13:10 ～ 14:00	憩	14:20 ～ 15:10	憩	15:30 ～ 16:20
[2日目] 令和9年 3月8日(月)	検査	追検査（学校独自検査）、追検査（一般型選抜の実技検査）										
	内容	一般 注意	休	作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の追検査（学力検査）の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

・学力検査以外の追検査は、2日目に実施する。

ウ 追検査（学力検査）、追検査（学校独自検査）、追検査（一般型選抜の実技検査）の実施・採点等については、本検査に準じて行うものとする。

(6) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、追検査（学力検査）結果、追検査（学校独自検査）結果、追検査（一般型選抜の実技検査）結果、個人調査報告書等を資料として、本検査を受検した志願者の資料と合わせて、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(7) 入学許可予定者の発表

3(6)に同じ。

5 入学者選抜結果の本人への提供

入学者選抜結果の本人への提供（検査結果提供）については、次のとおりである。

- (1) 請求方法
受検者本人による口頭での請求とする。
- (2) 対象となる個人情報の内容
学力検査各教科の得点、学校独自型選抜の総合順位、一般型選抜の総合順位
- (3) 請求を行うことができる期間
令和9年3月12日(金)から令和9年5月31日(月)(土曜日、日曜日、祝日および学校の指定する日を除く。)とする。
受付時間は、午前9時から午後4時までとする。
- (4) 請求を行うことができる場所
県立高等学校入学者選抜の受検校
- (5) 本人確認のための必要書類
受検票（印刷したもの）とする。ただし、受検票を紛失した場合は、本人確認の書類（パスポート、マイナンバーカード、生徒証明書のいずれか）により確認する。

6 その他

- (1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。
- (2) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。
- (3) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検にあたって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。
海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。
ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日(月)までの期間が6年以内とする。
イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。
- (4) 受検にあたって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。
- (5) 入学許可予定者となった者は、原則として、入学を辞退することはできない。
- (6) 取得した個人情報は、本要項に定める選抜の実施、および入学許可予定者発表後の事務処理にのみ用いることとし、その他の目的で使用しない。
- (7) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 二次募集

一次募集において、入学許可予定者数が募集定員に満たなかった学科（科）については、次のとおり二次募集を行うものとする。

1 募集

- (1) 二次募集人数
二次募集人数は、学科（科）の募集定員から一次募集の入学許可予定者数を減じた数とする。
- (2) 出願資格
次のいずれかに該当する者で、一次募集を受検し、不合格となった者とする。
ア 第1の1(3)アに同じ。
イ 第1の1(3)イに同じ。
ウ 第1の1(3)ウに同じ。

2 出願

- (1) 出願
ア 第1の2(1)アに同じ。
イ 第1の2(1)イに同じ。
ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、二次募集にあっては、出願先高等学校の同一の課程に2以上の学科（科）が置かれる場合は、これを第2志望または第3志望とすることができる。
エ 次に掲げる県立高等学校の二次募集にあっては、ウの規定によらず、当該県立高等学校に設置する二つの学科(科)を区別せずに出願（学校出願）できるものとし、二つの学科（科）の両方またはいずれかを志望することができる。
膳所高等学校、米原高等学校、草津東高等学校、高島高等学校および守山北高等学校
オ 志願者は出願後、変更はできない。

- (2) 期間
期間は、表1－4のとおりとする。

表1－4 出願手続の内容および期間

出願手続	期間
ア 二次募集出願（出願情報登録）	令和9年3月12日(金) 9:00～令和9年3月15日(月)12:00
イ 手数料の納付	令和9年3月15日(月)13:00～令和9年3月16日(火)12:00
ウ 受検票の印刷	令和9年3月16日(火)15:00～令和9年3月17日(水)12:00

- (3) 出願手続
出願手続は、Web 出願システムにより行う。詳細な出願手続については、別に定める「出願マニュアル」を参考にすること。
県外からの志願者および1(2)ウに該当する志願者については、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。
ア 二次募集出願（出願情報登録）
Web 出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。
(7) 志願者が行う手続
① 出願情報の入力
志願者は、表1－4アの期間内に、Web 出願システムにより、出願情報（志願する学校、学科（科）等）を入力する。
② 出願必要書類の提出
志願者は、①の手続に際して、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。
(イ) 中学校等が行う手続
① 出願情報の確認および承認
中学校等は、表1－4アの期間内に、Web 出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。確認後、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。
② 出願必要書類の提出
中学校等は、表1－4アの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。
(ウ) 出願先高等学校が行う手続
出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備を確認の上、適正であると認めたときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

イ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1－4イの期間内（3月16日(火)正午まで）に、手数料2,200円を納付する。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、3月16日(火)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

ウ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1－4ウの期間内に、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表1－4ウの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、3月16日(火)午後3時までに、Web出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 検査

二次募集においては、面接および作文を出願者全員に対して実施する。なお、一次募集において実技検査を実施する学校、学科（科）で、県教育委員会が実施を認める場合は、二次募集においても実技検査を実施することができる。

(2) 受検会場

出願先高等学校とする。

(3) 検査の内容、期日および時間

検査の内容、期日および時間は、表1－5のとおりとする。

表1－5 検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和9年 3月17日(水)	検査	二次募集検査		
	内容	一般 注意	休	面接、作文、(実技検査)
	時間	14:00 ～ 14:10	憩	時間割等は各高等学校による

(注) ・第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

・実技検査の実施の有無は、別添「高等学校別入学者選抜概要」による。

(4) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、面接および作文、(実技検査)の結果、個人調査報告書等を資料とし、また一次募集の学力検査の結果（追検査含む）を参考資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(5) 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和9年3月19日(金)に、Web出願システムにより行うものとする。

4 その他

第1の6に同じ。

Ⅱ 定時制の課程における入学選抜

選抜は、「一次募集」と「二次募集」により行うものとする。

第1 一次募集

一次募集においては、全ての学校、学科（科）が「一般型選抜」を実施するものとし、「学校独自型選抜」については、県教育委員会（高校教育課）と協議のうえで、実施することができるものとする。原則として全ての志願者が学力検査を受検するものとする。

一般型選抜は、主として志願者の学力を評価するものとする。学校独自型選抜は、学力をみる検査だけでは測れない資質・能力を多面的に評価するものとし、学校、学科（科）の特色に応じた方法を組み合わせて実施するものとする。

学校独自型選抜は、自己推薦と中学校長推薦の2種類から各高等学校が自校の特色に応じ、選択して実施することができる。

滋賀県立瀬田工業高等学校、滋賀県立彦根工業高等学校および滋賀県立長浜北星高等学校の定時制の課程において、満19歳以上（令和9年4月1日現在）の志願者で希望するものについては、定時制課程特例措置申請書を提出することにより、学力検査に代えて面接および作文で受検することができる。

1 募集

(1) 募集定員

募集定員は、別に定める。

(2) 募集枠および募集人数

一般型選抜および学校独自型選抜における募集枠および募集人数は、各高等学校が作成する別添「高等学校別入学選抜概要」に基づき、県教育委員会が定めるものとする。

(3) 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和9年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者、または修了した者

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

(4) 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件

ア 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件は、別添「高等学校別入学選抜概要」に示すとおりとする。

イ 中学校長推薦において出願できる者は、(3)アに該当し、出願先高等学校が示す、学校、学科（科）の推薦要件に適する者で、中学校長の推薦を受けた者とする。

ウ 自己推薦において出願できる者は、出願先高等学校が示す、学校、学科（科）の出願要件を満たす者とする。

2 出願

(1) 出願

ア 志願者は、管理運営等規則第11条第2項の規定に基づき、その保護者等（親権者または未成年後見人をいう。）が県内に居住するときは、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

イ 志願者の保護者等が県外に居住するときは、管理運営等規則第11条の3の規定に基づく許可を受けた者に限り、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。

エ 志願者は、学校独自型選抜と一般型選抜の双方に出願することができる。このことを「併願」という。また、一般型選抜にのみ出願することを「専願」という。併願する場合は、学校独自型選抜で志願する学校、学科（科）と、一般型選抜の第一希望の学校、学科（科）は同一のものとする。ただし、学校独自型選抜でその定員の全てを募集する学科（科）には、学校独自型選抜でのみ出願することができる。

オ 自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する学校、学科（科）に出願する場合、志願者は、自己推薦と中学校長推薦のどちらか一方にのみ出願することができる。

(2) 期間

期間は、表 2-1 のとおりとする。

表 2-1 出願手続の内容および期間

出願手続		期間
ア 出願準備	(a) 志願者基本情報一括登録	令和 8 年 11 月 17 日(火)～令和 8 年 12 月 15 日(火)
	(b) 志願者基本情報確認・入力	令和 8 年 12 月 16 日(水)～令和 9 年 1 月 26 日(火)
イ 一次募集出願（出願情報登録）		令和 9 年 1 月 28 日(木) 9:00～令和 9 年 2 月 9 日(火) 12:00
ウ 出願変更		令和 9 年 2 月 10 日(水) 9:00～令和 9 年 2 月 17 日(水) 12:00
エ 手数料の納付		令和 9 年 2 月 17 日(水) 13:00～令和 9 年 2 月 22 日(月) 12:00
オ 受検票の印刷		令和 9 年 2 月 25 日(木) 9:00～令和 9 年 3 月 2 日(火)

(3) 出願手続

出願手続は、Web 出願システムにより行う。詳細な出願手続については、別に定める「出願マニュアル」を参考にすること。

県外からの志願者および 1 (3) ウに該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。

ア 出願準備

(ア) 志願者が行う手続

① 志願者基本情報確認・入力

志願者は、表 2-1 ア(b)の期間内に、Web 出願システムにより、中学校等が一括登録した志願者基本情報が正しく登録されているか確認し、必要に応じて修正および追加、入力を行う。

② 各種資料の準備

志願者は、出願準備期間が終了するまでに、出願に必要な各種資料を準備する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 志願者基本情報一括登録

中学校等は、表 2-1 ア(a)の期間内に、Web 出願システムにより、志願者基本情報の一括登録を行う。

② 志願者基本情報の確認

中学校等は、表 2-1 ア(b)の期間内に、Web 出願システムにより、志願者が確認および入力した志願者基本情報の最終確認を行う。なお、確認にあたっては、志願者の入力事項等に誤りがないことを必ず確認する。

③ 各種資料の準備

中学校等は、個人調査報告書に係るデータや別紙に示す「出願必要書類」の準備や確認を行う。

イ 一次募集出願（出願情報登録）

Web 出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(イ) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表 2-1 イの期間内に、Web 出願システムにより、出願情報（志願する学校、学科（科）、受検する選抜の種類等）を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表 2-1 イの期間内に、Web 出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。なお、この要項に定める要件を満たしていることを必ず確認し、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 個人調査報告書に係るデータの提出

中学校等は、表 2-1 イの期間内に、Web 出願システムにより、個人調査報告書に係るデータをアップロードして提出する。その際、個人調査報告書に係るデータに示される評定は、生徒指導要録に基づく評価を用いるものとする。

③ 出願必要書類の提出

中学校等は、表 2-1 イの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備およびこの要項に定める要件を満たしていることを確認の上、適正であると認めたときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

ウ 出願変更

志願者は、イに基づく出願後、1人1回に限り、出願変更を行うことができる。出願変更を行う場合は、表2－1ウの期間内に、出願変更申請を行う。

ただし、中学校長推薦で出願した場合は、中学校長推薦での出願変更、同一学校・同一学科（科）の自己推薦への出願変更、同一学校・同一学科（科）の一般型選抜のみへの出願変更はできない。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願変更申請

出願変更希望者は、中学校等へ出願変更を依頼し、出願変更の許可を受けた後、Web 出願システムにより、イ(ア)の手続に準じて、新たに出願する県立高等学校の出願情報を入力する。

② 書類の変更・提出

出願変更希望者は、出願変更により出願必要書類の追加や変更の必要がある場合は、表2－1ウの期間内に、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願変更の許可

中学校等は、必要に応じて、Web 出願システムにより出願変更の許可を行う。

② 書類の変更・提出

中学校等は、表2－1ウの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、当該生徒の出願に必要な書類を再度アップロードして提出することができる。（個人調査報告書に係るデータの再アップロードは不要。）

③ 出願変更申請の承認

中学校等は、出願の変更が正当と認めた場合、Web 出願システムにより、イ(イ)の手続に準じて、承認を行う。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、イ(ウ)の手続に準じて、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

エ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2－1エの期間内（2月22日(月)正午まで）に、手数料を納付する。手数料は、出願する選抜が一つの場合は、950 円、二つの場合は、1,900 円が必要となる。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web 出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、2月22日(月)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb 出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb 出願システムにより確認する。

オ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2－1オの期間内に、Web 出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表2－1オの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、2月24日(水)に、Web 出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 学力検査

ア 学力検査は、出願者全員に対して実施する。

イ 学力検査実施教科は、国語、数学、社会、理科および外国語（英語）の5教科とする。

ウ 学力検査実施教科の配点は、各教科100点を標準とする。

エ 高等学校は、自校の特色に応じて、学力検査実施教科の配点に比重をかけることができる。

オ 各教科等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。

(2) 学校独自検査

ア 学校独自検査は、学校独自型選拔出願者に対して実施する。

イ 学校独自検査は、作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査等のうちから1つ以上を課すものとし、実施内容等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。

ウ 各検査等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。

(3) 受検会場

出願先高等学校とする。

(4) 各検査の内容、期日および時間

各検査の内容、期日および時間は、表2-2のとおりとする。

表2-2 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和9年 3月3日(水)	検査	学力検査										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和9年 3月4日(木)	検査	学校独自検査、定時制課程特例措置の検査										
	内容	一般 注意	休	面接、作文 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の学力検査の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

・学力検査以外の検査は2日目に実施する。

(5) 判定（入学許可予定者の決定）

ア 判定は、学校独自型選抜、一般型選抜の順に行う。学校独自型選抜で入学許可が得られなかった受検者は、一般型選抜で専願受検者とともに判定する。ただし、定時制課程特例措置については、別途判定する。

イ 学校独自型選抜による判定

(ア) 学校独自型選抜においては、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等を資料とする。

(イ) 高等学校長は、学力検査、学校独自検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して入学許可予定者を決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

(ウ) 学校独自型選抜において、自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する場合は、自己推薦から判定する。自己推薦の募集人数が充足しなかった場合は、その分を中学校長推薦の募集人数に加えて判定する。

ウ 一般型選抜による判定

(ア) 一般型選抜においては、学力検査結果、個人調査報告書等を資料とする。

(イ) 高等学校長は、学力検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

(ウ) 一般型選抜は、募集定員から学校独自型選抜の入学許可予定者を除く人数を一般型選抜の募集人数とし、入学許可予定者を決定する。

(6) 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和9年3月11日(木)に、Web 出願システムにより行うものとする。

4 追検査

(1) 対象者

対象者は、インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で、表2-2の日程における本検査の全てもしくはその一方を受検できなかった者の中で、追検査の受検を希望する者とする。なお、追検査は、本検査で出願した高等学校、学科(科)について受検するものであり、変更は認めない。

(2) 申請期日

申請期日は、令和9年3月5日(金)の原則午後3時までとする。

(3) 申請手続

ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、出身中学校等がない場合は、出願先高等学校長に直接提出すること。

(7) 一次募集追検査受検願

(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。

イ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。なお、郵送による申請手続は認めない。

(4) 受検会場

ア 追検査（学力検査）の受検会場は、滋賀県庁（滋賀県大津市京町4丁目1-1）とする。

イ 追検査（学校独自検査）の受検会場は、出願先高等学校とする。

(5) 追検査の内容、期日および時間

ア 志願者は、(4)ア、イにおいて、定められた検査場で、定められた時間割に従って、本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。

イ 追検査の内容、期日および時間は、表2-3のとおりとする。

表2-3 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和9年 3月7日(日)	検査	追検査（学力検査）										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	昼	社会	休	理科	休	英語
	時間	10:00 ～ 10:10	憩	10:25 ～ 11:15	憩	11:35 ～ 12:25	食	13:10 ～ 14:00	憩	14:20 ～ 15:10	憩	15:30 ～ 16:20
[2日目] 令和9年 3月8日(月)	検査	追検査（学校独自検査）、追検査（定時制課程特例措置の検査）										
	内容	一般 注意	休	面接、作文 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の追検査（学力検査）の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

・学力検査以外の追検査は、2日目に実施する。

ウ 追検査（学力検査）、追検査（学校独自検査）、追検査（定時制課程特例措置の検査）の実施・採点等については、本検査に準じて行うものとする。

(6) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、追検査（学力検査）結果、追検査（学校独自検査）結果、個人調査報告書等を資料として、本検査を受検した志願者の資料と合わせて、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。なお、定時制課程特例措置については、本検査を受検した志願者の資料と合わせて、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(7) 入学許可予定者の発表

3(6)に同じ。

5 入学者選抜結果の本人への提供

入学者選抜結果の本人への提供（検査結果提供）については、次のとおりである。

(1) 請求方法

受検者本人による口頭での請求とする。

(2) 対象となる個人情報の内容

学力検査各教科の得点、学校独自型選抜の総合順位、一般型選抜の総合順位

(3) 請求を行うことができる期間

令和9年3月12日(金)から令和9年5月31日(月)（土曜日、日曜日、祝日および学校の指定する日を除く。）とする。

受付時間は、午後2時から午後8時までとする。

- (4) 請求を行うことができる場所
県立高等学校入学者選抜の受検校
- (5) 本人確認のための必要書類
受検票（印刷したもの）とする。ただし、受検票を紛失した場合は、本人確認の書類（パスポート、マイナンバーカード、生徒証明書のいずれか）により確認する。

6 その他

- (1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。
- (2) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。
- (3) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検にあたって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。
海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。
ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日(月)までの期間が6年以内とする。
イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。
- (4) 受検にあたって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。
- (5) 入学許可予定者となった者は、原則として、入学を辞退することはできない。
- (6) 取得した個人情報、本要項に定める選抜の実施、および入学許可予定者発表後の事務処理にのみ用いることとし、その他の目的で使用しない。
- (7) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 二次募集

一次募集において、入学許可予定者数が募集定員に満たなかった学科（科）については、次のとおり二次募集を行うものとする。

1 募集

- (1) 二次募集人数
二次募集人数は、学科（科）の募集定員から一次募集の入学許可予定者数を減じた数とする。
- (2) 出願資格
次のいずれかに該当する者で、一次募集を受検し、不合格となった者とする。
ア 第1の1(3)アに同じ。
イ 第1の1(3)イに同じ。
ウ 第1の1(3)ウに同じ。

2 出願

- (1) 出願
ア 第1の2(1)アに同じ。
イ 第1の2(1)イに同じ。
ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。
エ 志願者は出願後、変更はできない。

- (2) 期間
期間は、表2-4のとおりとする。

表2-4 出願手続の内容および期間

出願手続	期間
ア 二次募集出願（出願情報登録）	令和9年3月12日(金) 9:00～令和9年3月15日(月)12:00
イ 手数料の納付	令和9年3月15日(月)13:00～令和9年3月16日(火)12:00
ウ 受検票の印刷	令和9年3月16日(火)15:00～令和9年3月17日(水)12:00

- (3) 出願手続
出願手続は、Web 出願システムにより行う。詳細な出願手続については、別に定める「出願マニュアル」を参考にすること。

県外からの志願者および1(2)ウに該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。

ア 二次募集出願（出願情報登録）

Web 出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表2-4アの期間内に、Web 出願システムにより、出願情報（志願する学校、学科（科）等）を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表2-4アの期間内に、Web 出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。確認後、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 出願必要書類の提出

中学校等は、表2-4アの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備を確認の上、適正であると認めたときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

イ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2-4イの期間内（3月16日（火）正午まで）に、手数料950円を納付する。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、3月16日（火）正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

ウ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2-4ウの期間内に、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表2-4ウの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、3月16日（火）午後3時までに、Web出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 検査

二次募集においては、面接および作文を出願者全員に対して実施する。

(2) 受検会場

出願先高等学校とする。

(3) 検査の内容、期日および時間

検査の内容、期日および時間は、表2-5のとおりとする。

表2-5 定時制の課程（昼間・夜間）における検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和9年 3月17日(水)	検査	二次募集検査		
	内容	一般 注意	休 憩	面接、作文 等
	時間	14:00 ～ 14:10		時間割等は各高等学校による

（注） 第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

(4) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、面接および作文の結果、個人調査報告書等を資料とし、また一次募集の学力検査の結果（追検査含む）を参考資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(5) 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和9年3月19日（金）に、Web出願システムにより行うものとする。

4 その他

第1の6に同じ。

Ⅲ 通信制の課程（大津清陵高等学校）における入学者選抜

選抜は、「一次募集」と「二次募集」により行うものとする。

通信制の課程においては、主として志願者の適性、興味・関心および学習意欲を評価するものとし、学力検査は実施しない。

第1 一次募集

1 募集定員

募集定員は、別に定める。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 令和9年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者
- (2) 中学校等を卒業した者、または修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

3 期間および受付時間

- (1) 期間
令和9年3月5日(金)から令和9年3月9日(火)まで（土曜日を除く、日曜日を含む。）とする。
- (2) 受付時間
午前9時から午後4時までとする。

4 出願

志願者は、管理運営等規則第11条第2項および第11条の3の規定に基づき出願することができる。ただし、他の課程および他の公立高等学校との併願はできない。

5 出願手続

出願手続は、Web 出願システムは用いず、大津清陵高等学校に持参するものとする。

- (1) 出願に必要な書類は次のとおりとする。

ア 入学願書

イ 面接票

志願者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真（縦4cm、横3cm）を所定の欄に貼ること。

ウ 住民票記載事項証明書の写し

(ア) 2(2)に該当する者は、保護者等の住民票記載事項証明書の写しを提出しなければならない。

(イ) 2(1)に該当する者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校に在籍している者は、保護者等の住民票記載事項証明書の写しを提出しなければならない。

エ 滋賀県立高等学校特別出願に係る許可書（以下「特別出願許可書」という。）の写し

管理運営等規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、県教育長の許可を受け、特別出願許可書の写しを添付しなければならない。詳細な手続については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にすること。

オ 雇用（予定）証明書

県内に勤務地を有し、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、雇用（予定）証明書を提出しなければならない。

- (2) 志願者は、(1)の書類に、中学校長の作成する個人調査報告書を添えて、大津清陵高等学校長宛て志願者本人が直接提出しなければならない。ただし、県外からの志願者および2(3)に該当する志願者は、大津清陵高等学校長に申し出て、その指示に従わなければならない。

6 面接

面接は、出願者全員に対して出願書類の提出時に実施し、その方法等は、大津清陵高等学校において定める実施要項によるものとする。

7 入学の許可

大津清陵高等学校長は、提出された個人調査報告書および面接の結果を資料として、総合的に判定し、入学許可予定者を決定するものとする。

8 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和9年3月11日(木) 午前9時に、大津清陵高等学校のウェブページに掲載する。

9 その他

- (1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。
- (2) 書類を発送する場合は、全て「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずる方法（受付・配達記録が残るか対面で受け渡しができる方法）によるものとする。
- (3) 県外からの志願者および2(3)に該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。
- (4) 大津清陵高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。
- (5) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検にあたって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。
海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。
ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日(月)までの期間が6年以内とする。
イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。
- (6) 受検にあたって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、大津清陵高等学校長宛て申し出るものとする。
- (7) 入学許可予定者となった者は、原則として、入学を辞退することはできない。
- (8) 取得した個人情報、本要項に定める選抜の実施、および入学許可予定者発表後の事務処理にのみ用いることとし、その他の目的で使用しない。
- (9) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 二次募集

入学許可予定者数が募集定員に満たない場合は、次のとおり二次募集を行うものとする。

1 二次募集人数

二次募集人数は、募集定員から一次募集の入学許可予定者数を減じた数とする。

2 出願資格

第1の2に同じ。

3 期間および受付時間

(1) 期間

令和9年3月17日(水)から令和9年3月19日(金)までとする。

(2) 受付時間

午前9時から午後4時までとする。ただし、令和9年3月17日(水)は午後1時から午後4時までとする。

4 出願

第1の4に同じ。

5 出願手続

第1の5に同じ。

6 面接

第1の6に同じ。

7 入学の許可

第1の7に同じ。

8 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和9年3月23日(火)午前9時に、大津清陵高等学校のウェブページに掲載する。

9 その他

第1の9に同じ。

IV 全国募集に係る入学者選抜

第1 全国募集

1 実施校、募集学科および募集人数

実施校	募集学科	募集人数
信楽高等学校	総合学科	学校独自型選抜中学校長推薦 募集枠 のうち5名以内
伊香高等学校	森の探究科	学校独自型選抜中学校長推薦 募集枠 のうち5名以内
虎姫高等学校	普通科	一次募集(学校独自型選抜中学校長推薦および一般型選抜)において、国際バカロレア DP(ディプロマ・プログラム)で学ぶことを希望する者5名以内

2 出願資格

令和9年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者

3 推薦要件

ア 全国募集の学校独自型選抜における推薦要件は、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

イ 出願できる者は、出願先高等学校が示す、学校、学科(科)の推薦要件に適する者で、中学校長の推薦を受けた者とする。

ウ 管理運営等規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、出願日までに、滋賀県内に身元引受人がおり、「特別事情による出願許可」を受けている者とする。特別事情による出願許可については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にすること。

4 その他

(1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

(2) 書類を発送する場合は、全て「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずる方法(受付・配達記録が残るか対面で受け渡しができる方法)によるものとする。

(3) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。

(4) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検にあたって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。

海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。

ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日(月)までの期間が6年以内とする。

イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。

(5) 受検にあたって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。

(6) 入学許可予定者となった者は、原則として、入学を辞退することはできない。

(7) 取得した個人情報、本要項に定める選抜の実施、および入学許可予定者発表後の事務処理にのみ用いることとし、その他の目的で使用しない。

(8) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 信楽高等学校・伊香高等学校の入学者選抜について

信楽高等学校および伊香高等学校の全国募集においては、学校独自型選抜において5名以内を選抜するものとし、志願者は以下に記すとおり学校独自検査を受検するものとする。

1 出願

(1) 出願

- ア 志願者は、管理運営等規則第11条の3の規定に基づき出願することができる。ただし、他の課程および他の公立高等学校との併願はできない。
- イ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。

(2) 期間および受付時間

- ア 期間
令和9年1月22日(金)および令和9年1月25日(月)(土曜日、日曜日を除く)とする。
- イ 受付時間
午前9時から午後4時までとする。
- ウ 書類を送送する場合は、令和9年1月22日(金)または令和9年1月25日(月)に到着のものに限り受け付ける。
第1-4(2)のとおりとし、中学校長は、送付した時点で、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。

(3) 出願手続

出願手続は、Web出願システムは用いず、中学校長を経て出願先高等学校長に提出するものとする。

ア 提出書類

志願者は、次の書類を作成し、提出しなければならない。

- (ア) 全国募集入学願書
(イ) 全国募集入学願書・貼付用紙
(ウ) 全国募集受検票
(エ) 特別出願許可書の写し

イ 手数料

- (ア) 志願者は、出願にあたって、「滋賀県コンビニ決済システム」で手数料2,200円を納付し、レシートを全国募集入学願書・貼付用紙に貼り付けなければならない。
- (イ) 既納の手数料は、原則として還付しない。
- ウ 中学校長は、志願者から提出された書類の内容を確認するとともに、推薦書および個人調査報告書等を作成し、志願者から提出された書類とあわせて出願先高等学校長に提出するものとする。
- エ 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料を確認のうえ、全国募集受検票に受検番号を付して、中学校長に交付するものとする。
- オ 中学校長は、志願者に全国募集受検票を交付するものとする。

2 検査

出願者全員に対して、面接および作文を課すものとし、その方法等は各高等学校で定める実施要項によるものとする。

(1) 受検会場

出願先高等学校とする。

(2) 検査の内容、期日および時間

検査の内容、期日および時間は、表4-1のとおりとする。

表4-1 検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和9年1月30日(土)	検査	学校独自検査		
	内容	一般注意	休	面接、作文
	時間	13:00～13:10	憩	時間割等は各高等学校による

(注) 第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

(3) 判定(入学許可予定者の決定)

出願先高等学校長は、面接および作文の結果や推薦書および個人調査報告書等を資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(4) 入学許可予定者の通知および発表

- ア 出願先高等学校長は、令和9年2月4日(木)に当該中学校等を通じて本人に入学許可予定を通知する。
- イ アの通知は、全国募集入学許可予定者通知書の交付によって行う。
- ウ 全国募集入学許可予定者通知書の交付を受けた者は、当該高等学校に入学するものとする。
- エ 全国募集入学許可予定者通知書の交付をもって、入学許可予定者の発表に代える。

3 全国募集追検査

(1) 対象者

対象者は、インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で、表4-1の日程における学校独自検査（以下、「全国募集本検査」という。）の全てを受検できなかった者の中で、全国募集追検査の受検を希望する者とする。なお、全国募集追検査は、全国募集本検査で出願した高等学校、学科（科）について受検するものであり、変更は認めない。

(2) 申請期日

申請期日は、令和9年2月1日(月)の原則午後3時までとする。

(3) 申請手続

ア 全国募集追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。

(ア) 全国募集追検査受検願

(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。

イ 中学校長から全国募集追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、全国募集追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。

(4) 受検会場

出願先高等学校

(5) 全国募集追検査の内容、期日および時間

ア 志願者は定められた検査場で、定められた時間割に従って、全国募集本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。

イ 全国募集追検査の教科、期日および時間は、表4-2のとおりとする。

表4-2 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和9年2月3日(水)	検査	全国募集追検査（学校独自検査）		
	内容	一般注意	休	面接、作文
	時間	13:00～13:10	憩	時間割等は各高等学校による

(注) 第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

ウ 全国募集追検査（学校独自検査）の実施・採点等については、全国募集本検査に準じて行うものとする。

(6) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、全国募集追検査（学校独自検査）結果や推薦書および個人調査報告書等を資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(7) 入学許可予定者の通知および発表

2(4)に同じ。

第3 虎姫高等学校の入学者選抜について

虎姫高等学校の全国募集においては、一次募集(学校独自型選抜中学校長推薦および一般型選抜)において、国際バカロレアDP(ディプロマ・プログラム)で学ぶことを希望する者5名以内を選抜するものとし、志願者は以下に記すとおり学力検査および学校独自検査を受検するものとする。

1 出願

(1) 出願

ア 志願者は、管理運営等規則第11条の3の規定に基づき出願することができる。ただし、他の課程および他の公立高等学校との併願はできない。

イ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。

ウ 志願者は、学校独自型選抜と一般型選抜の双方に出願しなければならない。

(2) 期間

期間は、表4-3のとおりとする。

表4-3 出願手続の内容および期間

出願手続		期間
ア 出願準備	(a)志願者基本情報一括登録	令和8年11月17日(火)～令和8年12月15日(火)
	(b)志願者基本情報確認・入力	令和8年12月16日(水)～令和9年1月26日(火)
イ 一次募集出願(出願情報登録)		令和9年1月28日(木) 9:00～令和9年2月9日(火)12:00
ウ 手数料の納付		令和9年2月17日(水)13:00～令和9年2月22日(月)12:00
エ 受検票の印刷		令和9年2月25日(木) 9:00～令和9年3月2日(火)

(3) 出願手続

原則として、「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の2(3)に準ずる。ただし、出願変更はないものとする。

2 検査

(1) 学力検査

「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(1)に同じ。

(2) 学校独自検査

「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(2)に同じ。

(3) 受検会場

虎姫高等学校とする。

(4) 各検査の内容、期日および時間

各検査の内容、期日および時間は、表4-4のとおりとする。

表4-4 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和9年 3月3日(水)	検査	学力検査										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和9年 3月4日(木)	検査	学校独自検査										
	内容	一般 注意	休	作文、実技検査								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は虎姫高等学校が定めるところによる								

(注) 1日目の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

(5) 判定(入学許可予定者の決定)

ア 原則として、「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(5)に準ずる。

イ 学校独自型選抜における国際バカロレア枠については、全国募集による受検者と県内の受検者の別なく選抜を実施する。

ウ 学校独自型選抜で全国募集枠の5名分が充足しなかった場合は、一般型選抜においても選抜対象とする。

(6) 入学許可予定者の発表

「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(6)に同じ。

3 追検査

- (1) 対象者
「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(1)に同じ。
- (2) 申請期日
「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(2)に同じ。
- (3) 申請手続
ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。
(ア) 一次募集追検査受検願
(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。
イ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。
ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。
- (4) 受検会場
「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(4)に同じ。
- (5) 追検査の内容、期日および時間
ア 志願者は、「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(4)ア、イにおいて、定められた検査場で、定められた時間割に従って、本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。
イ 追検査の教科、期日および時間は、表4-5のとおりとする。

表4-5 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和9年 3月7日(日)	検査	追検査（学力検査）										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	昼	社会	休	理科	休	英語
	時間	10:00 ～ 10:10	憩	10:25 ～ 11:15	憩	11:35 ～ 12:25	食	13:10 ～ 14:00	憩	14:20 ～ 15:10	憩	15:30 ～ 16:20
[2日目] 令和9年 3月8日(月)	検査	追検査（学校独自検査）										
	内容	一般 注意	休	作文、実技検査								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は虎姫高等学校が定めるところによる								

(注) 1日目の追検査（学力検査）の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

ウ 追検査（学力検査）、追検査（学校独自検査）の実施・採点等については、本検査に準じて行うものとする。

- (6) 判定（入学許可予定者の決定）
「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(6)に同じ。
- (7) 入学許可予定者の発表
「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(7)に同じ。

4 入学者選抜結果の本人への提供

「Ⅰ 全日制の課程における入学者選抜」第1の5に同じ。

V 中高一貫教育に係る併設型高等学校の特例

1 入学者選抜の特例

滋賀県立学校の校舎、課程、部および学科等の設置等に関する規則（昭和63年滋賀県教育委員会規則第5号）第2条の表の左欄に掲げる中学校（以下「併設型中学校」という。）に在籍し、令和9年3月に卒業する見込みの者が、同表のそれぞれ当該右欄に掲げる高等学校（以下「併設型高等学校」という。）に、入学を志願する場合は、次により選抜を行わず入学許可予定者とするものとする。

2 併設型高等学校

併設型高等学校および学科は、次のとおりとする。

併設型中学校	併設型高等学校（学科）
滋賀県立河瀬中学校	滋賀県立河瀬高等学校（普通科）
滋賀県立守山中学校	滋賀県立守山高等学校（普通科）
滋賀県立水口東中学校	滋賀県立水口東高等学校（普通科）

3 出願手続

併設型高等学校への志願者は、併設型高等学校入学願書（様式は、各併設型高等学校長が定める。）を令和9年2月24日(水)または令和9年2月25日(木)に、併設型高等学校長に提出しなければならない。

なお、当該併設型高等学校以外の高等学校等へ出願する者は、1による入学者選抜の特例の適用を受けることができないものとする。

〔別紙〕 出願必要書類

【出願必要書類】

選抜の種類	学校独自型選抜		一般型選抜
	自己推薦	中学校長推薦	
選抜に特有のもの	ア 活動実績報告書〔1号〕	イ 推薦書〔2号〕	
その他、必要に応じて提出するもの	ウ 活動の内容等を証明するもの		
	エ 住民票記載事項証明書		
	オ 滋賀県立高等学校特別出願に係る許可書〔特出3号〕（以下「特別出願許可書」という。）		
	カ 副申書〔3号〕		
	キ 雇用（予定）証明書〔5号〕（定時制の課程のみ）		
	ク 定時制課程特例措置申請書〔6号〕（定時制の課程のみ）		

（出願必要書類の名称は、Web 出願システムで提出するデジタルデータを表すものである。）

Web 出願システムに、出願必要書類をアップロードする際には、PDF ファイル、画像ファイル等を用いるものとする（画像ファイルの形式は、別に定める「滋賀県立高等学校入学者選抜Web 出願マニュアル」を参照のこと）。ただし、画像ファイルは内容が確認できるものであること。また、1 ファイルあたりのファイルサイズは2MBを超えてはならない。

ア 活動実績報告書(文書ファイル、PDF ファイルまたは画像ファイル)

学校独自型選抜の自己推薦に出願する者は、出願先高等学校が求める要件を満たすこと等を示す活動実績報告書を作成する。

イ 推薦書(PDF ファイル)

中学校等は、学校独自型選抜の中学校長推薦に出願する者についての推薦書を作成する。

ウ 活動の内容等を証明するもの（PDF ファイルまたは画像ファイル）

自己推薦において、出願先高等学校が出願要件を満たすことを証明するもの（資格の認定書や大会等における賞状等）の提出を求める場合、活動実績報告書に添付して提出しなければならない。

また、中学校長推薦において、出願先高等学校が推薦要件を満たすことを証明するもの（資格の認定書や大会等における賞状等）の提出を求める場合、推薦書に添付して提出しなければならない。

エ 住民票記載事項証明書（PDF ファイルまたは画像ファイル）

- (a) 中学校等を卒業した者、または修了した者は、保護者等の住民票記載事項証明書を提出しなければならない。
- (b) 令和9年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校等に在籍している者は、保護者等の住民票記載事項証明書を提出しなければならない。

オ 特別出願許可書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

県立学校の管理運営等に関する規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、滋賀県教育委員会教育長の許可を受け、特別出願許可書を添付しなければならない。詳細な手続については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にする。

カ 副申書(PDF ファイル)

その他、出願に際して特に説明が必要な事項について、中学校等が作成した副申書を添付することができる。

キ 雇用（予定）証明書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

県内に勤務地を有し、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、雇用（予定）証明書を提出しなければならない。

ク 定時制課程特例措置申請書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

滋賀県立瀬田工業高等学校、滋賀県立彦根工業高等学校および滋賀県立長浜北星高等学校の定時制の課程において、満19歳以上（令和9年4月1日現在）の志願者で希望するものについては、定時制課程特例措置申請書を提出することにより、学力検査に代えて面接および作文で受検することができる。

令和 9 年度滋賀県立高等学校入学者選抜

高等学校別入学者選抜概要

【確認事項】

- ① 志願者・保護者等は、学校独自型選抜の要件等について不明な点がある場合、11 月末までに中学校を通じて高等学校へ問い合わせてください。
- ② 高等学校は、上記①の各問い合わせに対する回答を各高等学校のウェブページ（入学者選抜サイト）に掲載しますので、確認してください。
- ③ 学力検査の教科ごとの配点割合は、学校独自型選抜と一般型選抜のどちらにも関係し、同じ配点割合とします。ただし、伊吹高等学校普通科では、選抜方法によって配点割合が異なりますので高等学校の概要を確認してください。
- ④ 中学校体育連盟が主催する大会にクラブチームの参加が認められている場合は、その大会におけるクラブチームでの実績を学校独自型選抜（中学校長推薦）の要件とすることができます。

○全日制の課程

ページ No.	学校名	学科	自己推薦	中学校長推薦	ページ No.	学校名	学科	自己推薦	中学校長推薦
28	膳所	普通科	○	-	55	玉川	普通科	○	-
29		理数学科	○	-	56	湖南農業	農業学科	-	○
30	堅田	普通科	○	○	57	守山	普通科	-	○
31	東大津	普通科	○	-	58	守山北	普通科	○	○
32	北大津	普通科	○	○	59		みらい共創科	-	○
33	大津	普通科	-	○	60	栗東	普通科	○	-
34		家庭学科	-	○	61		美術学科	○	-
35	石山	普通科	○	-	62	国際情報	総合学科	-	○
36		音楽学科	○	-	63	水口	普通科	○	○
37	瀬田工業	工業学科	-	○	64	水口東	普通科	-	○
38	大津商業	商業学科	○	○	65	甲南	総合学科	○	○
39	彦根東	普通科	○	-	66	信楽	総合学科	-	○
40	河瀬	普通科	○	-	67	野洲	普通科	○	○
41	彦根工業	工業学科	-	○	68	石部	普通科	-	○
42	彦根翔西館	総合学科	-	○	69	甲西	普通科	○	○
43	長浜北	普通科	○	○	70	高島	普通科	-	○
44	虎姫	普通科	-	○	71		文理探究学科	-	○
45	伊香	普通科	-	○	72	安曇川	総合学科	-	○
46		森の探究科	-	○	73	八日市	普通科	-	○
47	長浜農業	農業学科	-	○	74	能登川	普通科	○	○
48	長浜北星	総合学科	○	○	75	八日市南	農業学科	○	○
49	八幡	普通科	○	○	76	伊吹	普通科	○	○
50	八幡工業	工業学科	-	○	77	米原	普通科	-	○
51	八幡商業	商業学科	○	○	78		理数学科	-	○
52	草津東	普通科	○	-	79	日野	総合学科	○	○
53		体育学科	○	-	80	愛知	普通科	○	○
54	草津	普通科	○	○					

○定時制の課程・通信制の課程

ページ No.	学校名	学科	自己推薦	中学校長推薦	ページ No.	学校名	学科	自己推薦	中学校長推薦
81	大津清陵・昼間	普通科	-	-	83	彦根工業・夜間	工業学科	-	-
81	大津清陵・通信	普通科	-	-	83	長浜北星・夜間	総合学科	-	-
82	大津清陵・夜間	普通科	-	-	84	能登川・昼間	普通科	-	○
82	瀬田工業・夜間	工業学科	-	-	84	能登川・夜間	普通科	-	-

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 膳所高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

	県内はもとより日本及び世界のよりよい未来の創造に貢献できるリーダーを育成する。					
スクール・ポリシー (学科の特色)	〈求める生徒像〉 基礎的な学力と自学自習できる力を有し、入学後も主体的に学習や課外活動に取り組む意欲を持ち、人としての成長を目指して行動する生徒。					
学校独自型選抜 5 % (16 人)	自己推薦	出願要件	個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が40 以上で、かつ、次のa～dのいずれかの要件に該当する者 a 英語や数学など特定の分野で優れた資格を有し、それを証明する書類が提出できる者 例) 実用英語技能検定準1 級以上の合格者（または CEFR B2 レベル以上の資格やスコアを取得している者）、実用数学技能検定準1 級以上の合格者、など b 広く公募されているコンテスト・コンクールに出場または出展して、全国で入賞・入選するなど、特定の分野で優れた実績を有し、それを証明する書類が提出できる者 例) 日本学生科学賞入選、自然科学観察コンクール佳作、科学の甲子園ジュニア全国大会入賞、算数・数学の自由研究作文コンクール最終審査推薦、日本ジュニア数学オリンピック本選出場、国際理解・国際教育のための全国中学生作文コンテスト佳作、国際協力のための中学生・高校生作文コンテスト優秀賞、高円宮杯全日本中学生英語弁論大会決勝大会進出、など c 社会活動に長期的かつ継続的に取り組み、その活動実績を証明する書類（新聞記事等を含む）が提出できる者 例) 社会福祉や環境美化などの奉仕活動で公的な表彰を受けた者（校内での表彰を除く）、海外留学中に継続的に社会活動に取り組んだ者、など d 中学校の部活動または中学校外のクラブチーム等に所属し、正選手として中学校体育連盟・中学校文化連盟等主催の全国大会に出場し、それを証明する書類が提出できる者			
			学校独自検査	プレゼンテーション・質疑応答		
			配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	プレゼン・質疑応答
			500 点	200 点	300 点	
一般型選抜 95 % (304 人)	配点	学力検査		個人調査報告書		
		800 点		200 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・学校独自型選抜（自己推薦）に出願する場合は、資格や大会結果等を証明する書類を提出すること。 ・学校独自型選抜（自己推薦）のプレゼンテーションは、当日発表されたテーマについて3分程度のプレゼンテーションを行い、その内容をふまえ5分程度の質疑応答を行う。						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉膳所高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉理数学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	県内はもとより日本及び世界のよりよい未来の創造に貢献できる科学技術人材を育成する。 〈求める生徒像〉 理科や数学に強い関心があり、基礎的な学力と自学自習できる力を有し、入学後も主体的に学習や課外活動に取り組む意欲を持ち、人としての成長を目指して行動する生徒。						
学校独自型選抜 10% (4人)	自己推薦	出願要件	個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が40以上で、かつ、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a 数学など特定の分野で優れた資格を有し、それを証明する書類が提出できる者 例) 実用数学技能検定準1級以上の合格者、など b 広く公募されている理数系コンテスト・コンクールに出場または出展して、県大会以上の大会で入賞・入選(県大会では上位入賞・入選)するなど、特定の分野で優れた実績を有し、それを証明する書類が提出できる者 例) 滋賀県学生科学賞県展 優良賞以上、自然科学観察コンクール佳作、科学の甲子園ジュニア滋賀県大会3位以内、算数・数学の自由研究作文コンクール最終審査推薦、日本ジュニア数学オリンピック本選出場、算数オリンピック・ファイナル大会出場、など c 社会活動に長期的かつ継続的に取り組み、その活動実績を証明する書類(新聞記事等を含む)が提出できる者 例) 社会福祉や環境美化などの奉仕活動で公的な表彰を受けた者(校内での表彰を除く)、海外留学中に継続的に社会活動に取り組んだ者、など				
			学校独自検査 プレゼンテーション・質疑応答				
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書		プレゼン・質疑応答	
			500点	200点		300点	
一般型選抜 90% (36人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
		800点		200点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1.2	1	1.2	1	
		※学校独自型選抜、一般型選抜とも、この通りとする。					
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・学校独自型選抜(自己推薦)に出願する場合は、資格や大会結果等を証明する書類を提出すること。 ・学校独自型選抜(自己推薦)のプレゼンテーションは、当日発表されたテーマについて3分程度のプレゼンテーションを行い、その内容をふまえ7分程度の質疑応答を行う。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 堅田高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	1 自己実現に向けて基礎学力を定着させるとともに、生徒一人ひとりのニーズに合った発展的な学力の伸長を図ります。 2 基本的な生活習慣や社会人にふさわしいマナーを身に付け、協調性や社会性、責任感を育みます。 3 他者と協働して粘り強く問題を解決しようとする姿勢を育てます。 〈求める生徒像〉 1 目標に向かって粘り強く学習に取り組み、自己を高めようとする生徒。 2 明るく健全な学校生活を送り、地域や社会に貢献しようとする生徒。 3 生徒会活動や部活動に積極的に参加し、何事にも挑戦しようとする生徒。					
学校独自型選抜 40% (80人)	自己推薦 (10人)	出願要件	本校への入学を熱望し、次のa～cのすべての要件を満たし、かつ、d、eのいずれかの要件に該当する者 a 運動系部活動種目の部活動・クラブチームに属している者 b 入学後も継続して部活動や学業に意欲的に取り組む意志を有する者 c 個人調査報告書において、1年生から3年生のいずれかの学年における9教科の評定合計が23以上の者 d スポーツにおける全国大会、近畿大会に出場したことのある者、または県内大会においてベスト8以内に入賞したことのある者 e 競技能力に優れた者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書・活動実績報告書 500点	面接(個人) 200点	
	中学校長推薦 (70人)	推薦要件	本校への入学を熱望し、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 入学後は特進クラスにおいて学び、大学等への進学を目標として、明確な目的意識とその達成に向け最大限の努力を行う強い意志を有する者 b 中学校の体育的活動において優れた実績または優れた能力や適性を有し、入学後は、本校の下記の部に所属し、3年間継続して意欲的に活動を行い、部活動および学業の両立に意欲的に取り組む意志を有する者 ソフトテニス(男女)、バレーボール(男)、サッカー(男)、剣道(男女)、ウエイトリフティング(男女)、野球(男)			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書 500点	面接(個人) 200点	
一般型選抜 60% (120人)	配点	学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・学校独自型選抜(中学校長推薦)において、特進クラスの定員を超える合格者が出た場合は、所属クラスの選考を行う。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 東大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・これからの変化の激しい社会に柔軟に対応し、将来を切り拓いていける自己解決力を備えた生徒を育成します。 ・主体性と協調性を備え、地域社会に貢献できる生徒を育成します。 ・校訓である「3Fの精神 (Fight, Friendship, Fair play)」を尊重し、自律した生徒を育成します。 〈求める生徒像〉 ・本校の特色や教育方針を理解し、自身の新しい可能性を発見し、努力できる生徒を求めます。 ・当事者意識をもって自分で考え、自分で判断して行動できる力をもつ生徒を求めます。 ・周囲と協力しながら、課題解決に向けて主体的に取り組む姿勢をもつ生徒を求めます。						
学校独自型選抜 10% (32人)	自己推薦	出願要件	本校志望の意思が強く、学習意欲が旺盛で、次のaの要件を満たし、かつ、b～dのいずれかの要件に該当する者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が38以上の者で、4年制大学への進学を希望し、勉学に励む意思を持つ者 b 実用英語技能検定において準2級以上を取得しており、入学後、海外短期研修に参加する意思を持つ者 c 入学後、主体的に探究活動に取り組み、コンテストや発表会で取組を発表したり、高大連携事業に参加したりする意思を持つ者 d 中学校において生徒会長、生徒会副会長、部活動部長のいずれかを経験した者、または、部活動やクラブチーム等において近畿（関西）大会、全国大会のいずれかに出場した者で、入学後、本校の生徒会活動や課外活動を中心となって牽引する意思を持つ者				
			学校独自検査	小論文（1題）			
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書		小論文（1題）	
			500 点	400 点		100 点	
一般型選抜 90% (288人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
		700 点		300 点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 北大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校の教育目標である「育てる学校」を基盤として、規範意識の醸成と確かな学力を育み、心豊かな逞しい次世代の担い手の育成に努めます（以下のような生徒を育てます）。 1 基礎ならびに発展的な学力を身につけ、主体的に学ぶことができる生徒 2 相手の立場に立ち、自ら考え、他者と協調し、行動ができる生徒 3 規律を守り、社会性を身につけ、節度ある生活をおくることができる生徒 4 知徳体の調和のとれた健全で心豊かな生徒					
	〈求める生徒像〉 ① 勉学に励み、大学などへの進学を目指したい生徒 ② 基礎学力を身につけ、社会で生きる力をつけたい生徒 ③ 国際交流に興味や関心があり、国際理解を深めたい生徒 ④ 部活動、体育活動や文化活動、社会貢献活動などに励みたい生徒					
学校独自型選抜 40% (48人)	自己推薦 (12人)	出願要件	次のa～cのすべての要件を満たす者 a 中学校またはクラブチームにおいて、野球(男)、ソフトボール(女)、サッカー(男)、陸上競技(男女)、バレーボール(女)の競技を中学校の3年間続け、本校入学後も3年間継続して活動する決意を持つ者 b 当該種目において、以下の①～③のいずれかの要件を満たす者 ① 全国大会(全国選抜大会)に出場したことがある者 ② 近畿大会(地区大会)に出場したことがある者 ③ 県大会に出場したことがある者 c 高校における、諸活動や勉学にも熱心に取り組む決意を持つ者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 400点	個人調査報告書・活動実績報告書 400点	面接(個人) 200点	
	中学校長推薦 (36人)	推薦要件	本校に対する明確な志望動機があり、次のa、b両方の要件を満たす者 a 〈求める生徒像〉①～④のいずれかに該当する者 b 高校における、諸活動や勉学にも熱心に取り組む決意を持つ者			
		学校独自検査	面接(集団)、作文(1題)			
		配点	学力検査 400点	個人調査報告書 300点	面接(集団) 150点	作文(1題) 150点
	一般型選抜 60% (72人)		配点	学力検査 500点		個人調査報告書 500点
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

	魅力あふれる地域社会の創造のために、探究心をもって「学び続ける人」を育成します。						
スクール・ポリシー (学科の特色)	〈求める生徒像〉 ①主体的に探究することに関心を持ち、積極的に学習に取り組む生徒 ②問題意識を持ち、他者と協働して社会に貢献していこうとする生徒						
学校独自型選抜 30% (72 人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校志望の意欲が強く、学習意欲が旺盛で、次の a～d のすべての要件を満たす者 a 大学等へ進学する強い意欲と明確な目的意識を持ち、その目的達成に最大限の努力をする者 b 中学校の活動（部活動や生徒会活動等）に意欲的に取り組んだ者 c 検定や資格等を取得するなど、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者 d 個人調査報告書における 3 年間の 9 教科の評定合計が 102 以上の者				
			学校独自検査	小論文(1 題)			
		配点	学力検査	個人調査報告書		小論文(1 題)	
			500 点	450 点		50 点	
一般型選抜 70% (168 人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
700 点		300 点					
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 家庭学科

	魅力あふれる地域社会の創造のために、探究心をもって「学び続ける人」を育成します。						
スクール・ポリシー (学科の特色)	〈求める生徒像〉 ①食物・被服・保育の分野に興味・関心があり、専門科目に対する学習意欲が高い生徒 ②主体的に探究することに興味を持ち、積極的に学習に取り組む生徒 ③問題意識を持ち、他者と協働して社会に貢献していこうとする生徒						
学校独自型選抜 40% (32 人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、食物・被服・保育の分野に興味・関心があり、専門科目に対する意欲が旺盛で、次の a～d のすべての要件を満たす者 a 専門的な知識・技術を習得し、将来、食物・被服・保育の分野での活躍を希望する者や、さらに高度な知識を得るため大学やその他上級学校へ進学を目指す者 b 中学校の活動（部活動や生徒会活動等）に意欲的に取り組んだ者 c 検定や資格等を取得するなど、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者 d 個人調査報告書における「技術・家庭」の3年間の評定合計が11以上の者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査 500 点	個人調査報告書 450 点	面接(集団) 50 点		
	一般型選抜 60% (48 人)	配点	学力検査 700 点		個人調査報告書 300 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉石山高等学校 〈課程〉全日制 〈学科〉普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	高きを仰ぐ志と自主自律の精神のもと、生徒一人ひとりが、それぞれの個性を存分に発揮するとともに、進路実現に向かって資質・能力を高めることができるよう、多様性を尊重し協力し合える豊かな人間性とグローバルな視野を持って課題解決する力を育成します。						
	〈求める生徒像〉 ①様々なことに対して好奇心を持っている生徒 ②何事にも意欲的に挑戦する生徒 ③夢や目標を実現するために努力できる生徒						
学校独自型選抜 10% (32 人)	自己推薦	出願要件	以下の a の要件を満たし、かつ、b～d のいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における 3 年生の 9 教科の評定合計が 38 以上の者 b 中学校において生徒会会長あるいは生徒会副会長を務めていた者 c 実用英語技能検定試験準 2 級以上を取得している者 d スポーツ活動や文化芸術活動等に関して実績があり、その実績を証明できる者 《スポーツ活動》以下の基準 1 または 2 に該当する者 1 中学校体育連盟主催の大会において、近畿大会規模以上の大会に出場した者 2 中学校体育連盟から県代表として選抜され、全国規模の予選大会に出場した者 (中学校における部活動以外の、各競技団体に所属するクラブチーム等での実績も同様の基準で扱う) 《文化芸術活動》以下の基準に該当する者 中学校の部活動で継続的に(概ね 1 年以上)活動し、参加した大会(コンクール・展覧会)において、近畿大会規模以上のコンクール・展覧会に出場あるいは出品を認められた者 (中学校における部活動以外の活動も同様の基準で扱う)				
			学校独自検査 小論文(1 題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書		小論文(1 題)	
			500 点	400 点		100 点	
一般型選抜 90% (288 人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
700 点		300 点					
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ① 学校独自型選抜(自己推薦)において、出願要件(資格や大会結果等)を満たしていることを証明する書類を提出すること。 ② 《文化芸術活動》については、①に加えて、「活動実績報告書」の「3 その他実績等記入欄」に、当該の活動に取り組んだ期間および活動内容を具体的に記入すること。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉石山高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉音楽学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	高きを仰ぐ志と自主自律の精神のもと、生徒一人ひとりが、それぞれの個性を存分に発揮するとともに、進路実現に向かって資質・能力を高めることができるよう、多様性を尊重し協力し合える豊かな人間性とグローバルな視野を持って課題解決する力を育成します。 音楽学科では、充実した施設・設備と専門的な音楽教育によって、広く音楽文化の創造発展に寄与する人材を育成します。 〈求める生徒像〉 ①様々なことに対して好奇心を持っている生徒 ②何事にも意欲的に挑戦する生徒 ③夢や目標を実現するために努力できる生徒					
学校独自型選抜 100% (40人)	自己推薦	出願要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 音楽について強い関心があり、積極的に学びたいと考えている者 b 音楽学科で学ぶことに強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成のために最大限の努力をする者			
		学校独自検査	実技検査			
		配点	学力検査 400点	個人調査報告書・活動実績報告書 200点		実技検査 400点
一般型選抜 0% (0人)	配点	学力検査 —		個人調査報告書 —		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・実技検査は「専攻実技、副科ピアノ、視唱、聴音」とする。出願時に「曲目提出用紙」を提出すること。 ・二次募集においても、学校独自型選抜の内容に準ずる実技検査を行う。						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 瀬田工業高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 工業学科（機械科、電気科、化学工業科）

スクール・ポリシー (学科の特色)	グラデュエーション・ポリシー 本校は心身ともに逞しく健康であり、飾りがなく真面目で、社会に貢献できる資質、能力を身につけた職業人を育成します カリキュラム・ポリシー 本校は基礎学力を充実させると同時に、最先端の機器に触れながら工業の専門知識や技術を身につけられる学校です アドミッション・ポリシー 本校は「ものづくり」に興味・関心を持ち、将来工業の知識や技術を活かして社会に貢献することを望んでいる人物を募集します							
	〈求める生徒像〉 ①工業学科の学習に興味・関心を持ち、将来工業技術者として専門知識を生かして企業に就職したり、理工学部関係の大学等に進学して専門性を深めたりして、スペシャリストを目指そうとする人（工業を学ぶことへの思い） ②基本的生活習慣が身に付いており、部活動や生徒会活動等に積極的に取り組むなど学校生活に意欲的に取り組もうとする人（学校生活への思い）							
学校独自型選抜 各科 50% 機械 60 人 電気 60 人 化学工業 20 人	中学校長 推薦	推薦要件	工業学科の学習に興味・関心を持ち、それを活かして社会に貢献することを望んでおり、基本的生活習慣が身に付いている者。また、学校生活に意欲的に取り組む意志のある者で、次の a～c のいずれかの要件に該当する者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 次の①、②両方の要件を満たす者 ①中学校の部活動において、次のいずれかの競技で優秀な成績や成果を収めた者、または、優れた能力や適性を持つ者で、入学後も 3 年間意欲的に活動する意志のある者 ボート（男女）、陸上競技（男女）、剣道（男女）、野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男) ②個人調査報告書における 3 年生の 9 教科の評定合計が機械科は 23 以上、電気科は 23 以上、化学工業科は 21 以上の者 c 次の①、②両方の要件を満たす者 ①中学校の文化的活動や生徒会活動において、優秀な成績や成果を収めた者で、入学後も 3 年間意欲的に活動する意志のある者 ②個人調査報告書における 3 年生の 9 教科の評定合計が機械科は 23 以上、電気科は 23 以上、化学工業科は 21 以上の者					
			学校独自検査	実技検査				
		配点	学力検査		個人調査報告書		実技検査	
			200 点		700 点		100 点	
一般型選抜 各科 50% 機械 60 人 電気 60 人 化学工業 20 人	配点	学力検査			個人調査報告書			
		500 点			500 点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語		
		1	1	1	1	1		
〈備考〉 ・実技検査は、全科共通で「展開図の作図と立体模型の製作」とする。								

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津商業高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 商業学科（総合ビジネス科、情報システム科）

		商業の専門高校として専門教育と普通教育を推進し、社会の発展に寄与する創造力豊かで逞しい職業人を育成する。				
スクール・ポリシー (学科の特色)		〈求める生徒像〉 ①ビジネス教育（商業教育）に興味・関心を持ち、学習に対して意欲的で、積極的に資格取得に取り組む生徒 ②他者を尊重し、協力して最後まで粘り強く取り組む生徒 ③学習だけでなく、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に積極的に取り組む生徒 ④地域や社会全体の課題に興味・関心を持ち、その解決に取り組む生徒 ⑤部活動に積極的に参加し、学習と部活動の両立を目指して頑張る生徒				
学校独自型選抜 各科 50% 総合ビジネス 100人 情報システム 40人	自己推薦 総合ビジネス 25人 情報システム 10人	出願要件	次のa～cのすべての要件を満たす者 a 商業学科の特色を理解し、学習意欲が旺盛である者 b 本校のアーチェリー部（男女）、スポーツ拳法部（男女）、ソフトボール部（女）、野球部（男）、陸上競技部（男女）に関わる優れた競技実績を有し、入学後は3年間継続して当該部活動に取り組む強い意志がある者 c 個人調査報告書における1年生と2年生の2年間分の9教科の評定合計が54以上、または、3年生の9教科の評定合計が27以上の者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	面接(個人)	
	200点		650点	150点		
	中学校長推薦 総合ビジネス 75人 情報システム 30人	推薦要件	aのいずれかの要件とbの要件を満たし、かつ、c、dのいずれかの要件を満たす者 a(総合ビジネス科) 世界で活躍するビジネスパーソンを目指し、マーケティング、アカウンティング、グローバルの各分野において学びを深める強い意欲を持つ者 a(情報システム科) 情報技術で社会に貢献したいと考え、プログラミングやウェブデザイン等の学びを深める強い意欲を持つ者 b 基本的な生活習慣が確立されており、部活動、生徒会活動、学校行事等のリーダーとして活躍が期待できる者 c 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が81以上の者 d 実用英語技能検定3級以上に合格、または GTEC 510点以上のスコアを有する者			
		学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)	
	300点		600点	100点		
	一般型選抜 各科 50% 総合ビジネス 100人 情報システム 40人	配点	学力検査		個人調査報告書	
	600点		400点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（自己推薦）の出願においては、優れた競技実績を有することを証明する書類を提出すること。 ・学校独自型選抜（自己推薦）においては、大会結果等を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。 ・学校独自型選抜（中学校長推薦）において要件dで推薦される場合は、資格実績を満たすことを証明する書類を提出すること。 ・学校独自型選抜（中学校長推薦）においては、実用英語技能検定準2級以上の合格実績、または GTEC 690点以上のスコアを「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。要件c・dに関わらず、該当者はそれを証明する書類を提出すること。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉彦根東高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	【自立】幅広く深い教養や探究心を身につけ、自ら主体的に行動し人生を切り拓く力 【協働】心豊かでグローバルな視点を持ち、多様な人々と共に持続可能な社会を実現する力 【創造】自らの資質・能力を伸ばす挑戦を惜しまず、新しく価値のあるものを創る力を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①県内各地から、高い志を持ち自ら学びに向かい、自己の能力を開拓する大志のある人 ②県内各地から、人を思いやる心を持ち、他者との対話を大切にし、協働して課題解決に取り組む人 ③県内各地から、グローバルな視野に立ち、日本や世界で活躍する大志を持つ人を求めます。					
学校独自型選抜 5 % (16 人)	自己推薦	出願要件	次の a、b 両方の要件を満たす者 a GS（グローバル・サイエンス）コースに入り、自然科学や社会科学の学びや海外研修等に意欲的に取り組む意志のある者 b 個人調査報告書における 3 年生の 9 教科の評定合計が 36 以上の者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書・活動実績報告書 500 点		面接(個人) 200 点
一般型選抜 95% (304 人)	配点	学力検査 700 点		個人調査報告書 300 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉河瀬高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	校訓「志成」のもと、自主的・自律的に考え行動するとともに、視野を地域から世界へ広げ、何事にも意欲を持って取り組める心豊かな生徒を育成します。						
	〈求める生徒像〉 ①旺盛な好奇心を持ち、自己の可能性を追求し、目標を持って自ら学ぼうとする生徒 ②地域社会や世界の諸課題に関心を持ち、論理的に思考して課題解決に取り組もうとする生徒 ③多様な価値観を受容し、他者と協働しながら物事に取り組もうとする生徒						
	学校独自型選抜 10% (8人)	自己推薦	出願要件	地域社会や世界の諸課題の解決に関心を持ち、高校での探究活動に主体的に取り組み、対外的な発表や交流などにも積極的に参加して学びを深めようとする者で、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が36以上の者			
			学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)			
配点	学力検査 500点		個人調査報告書・ 活動実績報告書 300点	面接(個人) 50点	作文(1題) 150点		
一般型選抜 90% (72人)	配点	学力検査 700点	個人調査報告書 300点				
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉彦根工業高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉工業学科（機械科、電気科、建設科）

スクール・ポリシー (学科の特色)	・人間力（生涯学び続けようとする意欲、思考力・判断力・表現力および課題解決能力、コミュニケーション力・リーダーシップ、想像・創造する力と課題解決力） ・地域の伝統産業の技に繋がる基礎的なものづくりの知識と技術（スキル） ・社会的課題や変化をチャンスにする力 ・郷土愛にあふれた人材となり、地域を活性化させ、国際社会の変化に対応する力 これらを身につける教育活動を行います。					
学校独自型選抜 各科 50% (機械 60 人 電気 40 人 建設 20 人)	中学校長 推薦	推薦要件	基本的生活習慣が身に付いており、ものづくりや資格取得など、志望学科における学習への意欲が旺盛でかつ目的意識が明確であり、次の a、b のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績において総合的に優れている者 b 中学校の活動において、体育的活動、文化的活動、および特別活動に顕著な成果を収めるなど、優れた能力・資質を有し、3年間継続して活動する意志があり、リーダーとして活躍が期待できる者			
		学校独自検査	面接(集団)、作文(1 題)			
		配点	学力検査 200 点	個人調査報告書 600 点	面接(集団) 100 点	作文(1 題) 100 点
一般型選抜 各科 50%	(機械 60 人 電気 40 人 建設 20 人)	配点	学力検査 500 点		個人調査報告書 500 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（中学校長推薦）において、資格および大会結果等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉彦根翔西館高等学校 〈課程〉全日制 〈学科〉総合学科

幅広い教養と確かな学力、専門性の向上を図るとともに、規範意識や社会性などの育成を通して、豊かな人間性を育み、社会に貢献できる逞しい人間を育成します。						
スクール・ポリシー (学科の特色)	〈求める生徒像〉 ① 自分の秘められた能力を発見し、それを引き出し、自らの進路実現を目指そうとする生徒 ② 「勉強と部活動の両立」「検定合格や資格の取得」などを目標して充実した高校生活を過ごそうとする生徒					
学校独自型選抜 50% (140 人)	中学校長 推薦	推薦要件	学校生活に意欲的に取り組む者で、次の a、b のいずれかの要件を満たす者 a 総合学科に興味・関心を示し、将来の進路に関して主体的に探究する目的意識を持ち、その達成に向けて努力する者 b 中学校において、体育的活動・文化的活動で優れた実績または優れた能力や適性を有し、入学後、部活動を 3 年間継続する意志を有する者			
		学校独自検査	面接(集団)、作文(1 題)			
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)	作文(1 題)
		100 点	700 点	100 点	100 点	
一般型選抜 50% (140 人)	配点	学力検査		個人調査報告書		
		700 点		300 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（中学校長推薦）においては、資格や大会結果等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 長浜北高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自ら学び、考え、判断する力や進んで学び続けようとする姿勢を育てます。 ・多様な他者を理解し思いやり、助け合う力を育てます。 ・地域からの学びを原点とした広い視野を育てます。 ・教育や学びへの志を育てます。 〈求める生徒像〉 ・学習に主体的、意欲的に取組もうとする生徒 ・協調性をもって規律ある学校生活を送ろうとする生徒 ・生徒会活動や部活動などに積極的に参加しようとする生徒 ・教育分野に興味関心がある生徒						
学校独自型選抜 30% (60 人)	自己推薦 (18 人)	出願要件	次の a 1 ～ a 3 のいずれかの要件を満たし、かつ、b 1、b 2 のいずれかの要件を満たす者 a 1 実用英語技能検定 3 級以上、実用数学技能検定 3 級以上、日本漢字能力検定 3 級以上のいずれかの成績を有する者 a 2 中学校で生徒会長、部活動の部長のいずれかの経験がある者 a 3 中学校の部活動や学校外の活動において、本校にある部活動での成績・実績が優れている者 b 1 学校生活に意欲的に取り組む意志が明確である者 b 2 教育分野に興味関心があり、将来は教職を目指している者				
		学校独自検査	作文(1 題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	作文(1 題)		
			500 点	350 点	150 点		
	中学校長推薦 (42 人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、次の a ～ c のすべての要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 大学等への進学について強い進学意識と目的意識を有する者 c 規範意識が高く規則正しい学校生活を送れる者				
		学校独自検査	作文(1 題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	作文(1 題)		
			500 点	350 点	150 点		
	一般型選抜 70% (140 人)	配点	学力検査		個人調査報告書		
			700 点		300 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 虎姫高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	質実剛健の校風の下に、真に実力を持ち、我が国の発展と国際社会の繁栄に貢献できる人間を育成する。						
	〈求める生徒像〉 ・ 中学での学びの上に、国内外の大学進学に必要な学力をつけたい生徒 ・ スーパーサイエンスハイスクールの学びを通して、科学分野の先端的な研究に挑戦したい生徒 ・ 国際バカロレアのコースに進み、国際社会で活躍できる力をつけたい生徒 ・ 実践的な英語力を身につけて、海外留学や世界の人々との交流に挑戦したい生徒 ・ 社会のニーズを探究し、将来、新たなビジネスの創出や起業を目指したい生徒 ・ 生徒が主役となって、生徒会活動や自主活動を企画したり運営したりして盛り上げたい生徒 ・ 人生に一度の高校生活で、いろんなことにチャレンジしたい生徒						
学校独自型選抜 20% (40人)	【探究枠】 中学校長推薦 (30人)	推薦要件	個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が38以上で、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a スーパーサイエンスハイスクールの学びを通して、科学技術や理数分野の先進的な研究に挑戦する意欲を持つ者 b 他者と協働して社会の課題を探究し解決する意欲にあふれ、将来、新たなビジネス等を創出しようとする意欲を持つ者 c 海外留学や世界の人々との交流を通して実践的な英語力を身につけ、将来、国際社会に貢献する具体的な目標を持つ者				
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)	作文(1題)	
	【国際バカロレア枠】 中学校長推薦 (10人)	推薦要件	次のa、b両方の要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が38以上で、3年生の外国語の評定が5または実用英語技能検定準2級以上(令和8年12月末までに取得している者。合格証書の写しを提出。)の者 b 「IBの学習者像」を目標として、本校の国際バカロレア課程で学ぶという強い意志を持つ者				
		学校独自検査	作文(1題)、実技検査				
		配点	学力検査	個人調査報告書	作文(1題)	実技検査	
一般型選抜 80% (160人)		配点	学力検査		個人調査報告書		
			700点		300点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語	数学	社会	理科	英語
			1	1	1	1	1
〈備考〉 ・ 実技検査は「英語による質疑応答」とする。 ・ 学校独自型選抜(中学校長推薦)は、探究枠または国際バカロレア枠のいずれか一方にのみ出願することができる。 ・ 学校独自型選抜(中学校長推薦)の「作文」および「面接」は、推薦要件に応じた具体的な志望動機や経験、資質等を問う内容とする。 ・ 学校独自型選抜(中学校長推薦)の国際バカロレア枠で合格した者は、入学後、IB候補生となる。探究枠や一般型選抜で合格した者も、希望してIB候補生になることができる。(IB候補生は最大40名。希望者多数の場合は、選考を行い決定する。) ・ 一次募集では、本校の国際バカロレア課程で学ぶ強い意志を持つ県外生を対象として、5名を上限に全国募集を行う。全国募集に出願できるのは、一般型選抜と学校独自型選抜の国際バカロレア枠の両方に出願する場合に限る。選抜方法や検査内容は県内受検者と同じとする。 ・ 学校独自型選抜(中学校長推薦)について、国際バカロレア枠の募集人数が充足しなかった場合は、未充足分の人数を探究枠の募集人数に加える。							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉伊香高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉普通科

		将来の地域社会に貢献しうる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成します。					
スクール・ポリシー (学科の特色)		〈求める生徒像〉 ・ 目標に向かって、真面目にコツコツと一生懸命取り組もうとする生徒 ・ 思いやりの心を持ち、他者と協働して、失敗を恐れずに前向きに挑戦できる生徒 ・ 地域をフィールドにして行う学習や活動に興味・関心があり、探究しようとする生徒 ・ 滋賀北部の豊かな自然環境や地域文化から学び、地域貢献しようとする生徒					
学校独自型選抜 40% (32 人)	中学校長 推薦	推薦要件	基本的な生活習慣が身についており、本校志望の意志が強く、学校生活に意欲的に取り組む者で、次の a～c のいずれかの要件を満たす者 a 本校での学習に強い興味・関心を持ち、学業成績が総合的に優れ、入学後も積極的に学習を続ける者 b 中学校の体育・文化・生徒会活動などの特別活動で優れた能力や適性を持ち、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者 c 中学校の運動部活動において活動した者で、本校入学後は、柔道、野球、剣道のいずれかの部に所属して、3年間活動を続け、活躍する意思をもつ者				
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1 題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)	作文(1 題)	
			200 点	600 点	100 点	100 点	
一般型選抜 60% (48 人)		配点	学力検査		個人調査報告書		
			500 点		500 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語	数学	社会	理科	英語
			1	1	1	1	1
〈備考〉 ・ 特記事項なし							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉伊香高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉森の探究科

	知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を育み、地域の未来を創造し持続可能な地域社会を支える環境未来人材を育成します。						
スクール・ポリシー (学科の特色)	〈求める生徒像〉 ・目標に向かって、真面目にコツコツと一生懸命取り組もうとする生徒 ・思いやりの心を持ち、他者と協働して、失敗を恐れずに前向きに挑戦できる生徒 ・地域をフィールドにして行う学習や活動に興味・関心があり、探究しようとする生徒 ・滋賀北部の豊かな自然環境や地域文化から学び、地域貢献しようとする生徒						
学校独自型選抜 50% (20人)	【全国募集】 中学校長推薦 (5人)	推薦要件	中学生時代に体育的・文化的活動や生徒会活動、地域でのボランティア活動等の実績がある者で本科志望の意志が強く、自然環境や森林、エネルギーといった分野についての学習に興味・関心があり、将来その分野での活躍を希望する者 また、入学後は地域連携の諸活動のリーダーとしての活躍をめざす者				
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)	作文(1題)	
			—	800点	100点	100点	
	中学校長推薦 (15人)	推薦要件	滋賀県の豊かな自然環境や地域文化に興味・関心を持ち、地域での活動に積極的に参加しようとする者で本科志望の意志が強く、基本的生活習慣が身につけており、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 本校の学習に強い興味・関心を持ち、学業成績が総合的に優れ、入学後も積極的に学習を続ける者 b 中学校の体育・文化・生徒会活動などの特別活動において、優れた能力や適性を持ち、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者				
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)	作文(1題)	
			200点	600点	100点	100点	
一般型選抜 50% (20人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
		500点		500点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・学校独自型選抜（中学校長推薦）について、全国募集枠の募集人数が充足しなかった場合は、その未充足分の人数を県内を対象とした募集人数に加える。							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉長浜農業高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉農業学科（農業科、食品科、園芸科）

スクール・ポリシー (学科の特色)	論理的な思考力・想像力・表現力・コミュニケーション力、専門的な知識・技術を活かし主体的、協働的な活動ができる能力、他者を思いやる心豊かな感性、社会人として自立できる規範意識、産業人としての勤労観や職業観、農業の担い手や農業理解者としての資質と能力を育成します。						
	〈求める生徒像〉 ① 自然の営みに興味・関心がある。 ② 基本的生活習慣が身についており、学ぶ意欲がある。 ③ 将来の地域社会に貢献する意欲がある。						
学校独自型選抜 各科 50% 農業 20 人 食品 20 人 園芸 20 人	中学校長 推薦	推薦要件	本校に対する明確な志望動機があり、次の a～c のいずれかの要件を満たす者 a 人物・学業成績とも優秀で、基本的生活習慣（言葉遣いや礼儀など）が身についており、規律ある学校生活が送れる者 b 農業（動物、植物や食品、園芸等）の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的をもって学習できる意欲を有する者 c 中学校の生徒会活動、学級活動、校内外活動に積極的に取り組み、リーダーとして入学後も活躍できる者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査 250 点	個人調査報告書 630 点	面接(集団) 120 点		
一般型選抜 各科 50% 農業 20 人 食品 20 人 園芸 20 人		配点	学力検査 500 点	個人調査報告書 500 点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉長浜北星高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自分の未来を切り拓いて、地域社会に貢献できる力を育成します。 ・主体性や協調性を養い、社会の変化に対応できる自主・自立の精神に満ちた心豊かな人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①進学や就職を目指して、学習活動に積極的に取り組む意欲のある生徒 ②体育、文化、奉仕活動に熱心に取り組む意欲のある生徒					
学校独自型選抜 30% (60人)	自己推薦 (8人)	出願要件	【水球(男)】、【相撲(男女)】 本校志望の意思が強く、学習および部活動に取り組む意欲が旺盛で、次のa～cのすべての要件を満たす者 a 水泳または相撲のいずれかで活躍した者 b 全国大会または近畿大会に出場、もしくは、県大会ベスト8以上の実績を有する者 c 本校入学後、本校の部活動で3年間継続して活動を続け、活躍する意思を持つ者			
		学校独自検査	面接(個人)、実技検査			
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書・ 活動実績報告書 300点	面接(個人) 100点	実技検査 300点
	中学校長推薦 (52人)	推薦要件	総合学科の特徴を十分に理解し、高い学習意欲を持ち、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 工業・商業・福祉の専門科目や普通科とは違う特色のある科目について積極的に学び、大学等の進学を希望する者 b 自己の適性を見つけて、就職したいと考える者 c 中学校の体育部、文化部、生徒会活動において優れた能力や適性を持ち、入学後も意欲的に活動したいと考える者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書 600点	面接(個人) 100点	
一般型選抜 70% (140人)	配点	学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・学校独自型選抜(自己推薦)での出願については、出願要件にかかる活動実績が証明できるものを提出すること。 ・【実技検査(水球)】100mを2泳法(平泳ぎ50m、自由形50m) ・【実技検査(相撲)】四股等の相撲技能、長座体前屈、握力、立ち幅跳び						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八幡高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

		確かな学力、主体的に学び続ける力や、目標達成に向けてあきらめずに挑戦を続ける粘り強さを育てるとともに、心身を慈しみ、多様性を尊重する姿勢を育みます。				
スクール・ポリシー (学科の特色)		〈求める生徒像〉 ① 自己実現に向けて、主体的・積極的に取り組むことのできる生徒 ② 自律し、自立できる生徒 ③ 多様性を尊重し、人とのつながりを大切にできる生徒				
学校独自型選抜 40% (112 人)	自己推薦 (30 人)	募集人数・ 出願要件	個人調査報告書における 3 年間の 9 教科の評定合計が 82 以上で、本校入学後、学業に意欲的に取り組み、かつ、次の各競技において a、b 両方の要件を満たす者 【陸上競技（男女）】10 人 a 本校入学後、陸上競技部に 3 年間所属して活動を続け、活躍する意志を持つ者 b 県中学校体育大会、もしくは、県中体連が主催する各ブロックのブロック大会において、個人種目でベスト 8 以内に入ったことのある者 【硬式野球（男）】9 人 a 本校入学後、硬式野球部に 3 年間所属して活動を続け、活躍する意志を持つ者 b 県中学校体育大会またはクラブチームでの主要な大会の野球競技において、県ベスト 16 またはブロックベスト 4 以内に入ったチームの登録選手 【サッカー（男）】11 人 a 本校入学後、サッカー部に 3 年間所属して活動を続け、活躍する意志を持つ者 b 次の①～⑤のいずれかに該当する者(①～③は、その登録選手) ① 県中学校体育大会ベスト 8 以内 ② クラブユース各種大会(新人戦・クラブユース選手権)ベスト 16 以内 ③ 高円宮杯U-15 サッカー選手権大会ベスト 16 以内 ④ 中体連選抜 ⑤ U-15 県トレセン選抜・地区トレセン選抜			
			学校独自検査 面接(集団)			
			配点	学力検査 300 点	個人調査報告書・活動実績報告書 600 点	面接(集団) 100 点
	中学校長推薦 (82 人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、個人調査報告書における 3 年間の 9 教科の評定合計が 90 以上で、大学等へ進学する強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成のために最大限の努力ができ、かつ、次の a、b のいずれかの要件に該当する者 a 看護や福祉等に強い関心を持ち、ボランティア活動等に積極的に取り組む者 b 中学校の体育的・文化的活動および生徒会活動などにおいて成果を収めた者			
			学校独自検査 面接(集団)			
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書 600 点	面接(集団) 100 点	
	一般型選抜 60% (168 人)	配点	学力検査 700 点		個人調査報告書 300 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
〈備考〉・学校独自型選抜（自己推薦）での出願には、出願要件にかかる活動実績が証明できるものを提出すること。 ・学校独自型選抜（自己推薦）において、各競技における出願要件 b の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八幡工業高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 工業学科（機械科、電気科、環境化学科）

		柔軟で創造的な思考で社会のものづくりを支え、発展させる有為な人材の育成を図る。					
スクール・ポリシー (学科の特色)		〈求める生徒像〉 ○学校生活に取り組む意欲が旺盛な生徒 ○工業の学習に興味や関心がある生徒 ○基本的な生活習慣が身についている生徒 ○部活動や特別活動に意欲的に取り組む生徒					
学校独自型選抜 各科 50% 機械 40 人 電気 40 人 環境化学 20 人	中学校長 推薦	推薦要件	基本的な生活習慣が身についており、ものづくりや資格試験を含めた工業の学習に興味や関心があり、特別活動、部活動などの学校生活に取り組む意欲が旺盛で、次の a～c のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績において総合的に優れている者 b 中学校の体育的活動で優れた実績、または優れた能力や適性を有し、他の模範となる者で、以下の部活動で入学後 3 年間活動する意思を持つ者 剣道(男女)、サッカー(男)、ソフトテニス(男)、バレーボール(男)、バスケットボール(男)、野球(男)、ラグビーフットボール(男)、陸上競技(男女) c 中学校の文化的活動や特別活動において優れた成果を収めた者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査 200 点	個人調査報告書 300 点	面接(集団) 500 点		
一般型選抜 各科 50% 機械 40 人 電気 40 人 環境化学 20 人		配点	学力検査 600 点		個人調査報告書 400 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし							

募集定員 240 人
商業科 160 人 国際経済科 40 人
情報処理科 40 人

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八幡商業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 商業学科（商業科、国際経済科、情報処理科）

スクール・ポリシー (学科の特色)		「三方よし」の精神を引き継ぎ、高い志を持って、広い視野で、深く考えることができ、将来、ビジネス社会のリーダーとして活躍できる人材を育成します。 〈教育目標〉 1 新しい商業教育の構築 質の高い商業教育を展開するとともに、多様な教育実践の研究を進め、21世紀社会に求められる新しい商業教育の構築に努める。 2 部活動の活性化 活発な部活動の保障と条件整備を行うとともに、部活動による人間性の形成に資するように努める。 3 国際理解教育の推進 真の国際人を育成するために国際交流事業の充実を図り、国際理解教育の推進に努める。 〈求める生徒像〉 商業の専門教育に対する興味・関心があり、学習意欲があるとともに、部活動や学校行事等の特別活動において主体的に取り組む意欲のある生徒				
学校独自型選抜 各科 50% 商業 80人 国際経済 20人 情報処理 20人	自己推薦 商業 50人 国際経済 4人 情報処理 4人	出願要件	本校を志望する動機が明白であり、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が27以上の者で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 中学校の部活動や外部のクラブチームに所属し、入学後も次の本校の部活動にて3年間継続して活動に取り組む意思のある者 硬式野球(男)、サッカー(男女)、バレーボール(女)、 剣道(男女)、バスケットボール(女)、陸上競技(男女)、 ソフトボール(女)、ボート(男女) b 上記の競技種目において、県大会でベスト4(団体競技)およびベスト8(個人競技)以上の競技成績を残した者、または同等の優れた競技能力を有する者			
		学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	面接(集団)	
	200点		600点	200点		
	中学校長推薦 商業 30人 国際経済 16人 情報処理 16人	推薦要件	本校を志望する動機が明白であり、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が30以上の者で、次のa～dのいずれかの要件を満たす者 a 商業の専門教育に対する興味・関心があり、学習意欲がある者 b 商業や情報または英語に関する資格を有し、入学後も積極的に専門的な学習に取り組む者 c 中学校のスポーツ活動や文化的活動において、顕著な実績または優れた能力や適性を持ち、入学後も継続して意欲的に取り組み、活躍が期待できる者 d 中学校の生徒会活動や特別活動などにおいて積極的に取り組み、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者			
		学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)	
			200点	600点	200点	
	一般型選抜 各科 50% 商業 80人 国際経済 20人 情報処理 20人	配点	学力検査		個人調査報告書	
	500点		500点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・学校独自型選抜(自己推薦)において、部活動等の実績を「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。 ・学校独自型選抜(中学校長推薦)において、推薦要件のb～dに係る有資格者および大会結果等の顕著な活動実績がある者については「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。なお、b要件については、取得した資格を証明する書類を出願時に別途提出すること。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉草津東高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉普通科

		体育施設等の充実した環境のもと、強い意志を土台とした、たくましい実践力を育む中で、主体性や創造性を持ち、誠実な姿勢で、持続可能な社会の創り手（グローバルシチズン）として貢献できる能力を育成します。				
スクール・ポリシー (学科の特色)		〈求める生徒像〉 (1) 部活動や体験的活動に主体的に取り組む意志を持ち、充実した環境のもとで、それらを実践しながら、自らの夢にチャレンジしようとする生徒 (2) 自らの行動に対する責任と、社会に貢献したいという意欲を持ち、それらを具現化できる生徒 (3) 広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら、集団として高め合うことのできる生徒				
学校独自型選抜 35% (112人)	自己推薦 A (32人)	出願要件	本校入学後、部活動と学習に意欲的に取り組む意志があり、次のa、b両方の要件を満たし、かつ、c～fのいずれかの要件に該当する者 a 中学校の部活動や外部のクラブチームに所属し、入学後も本校の体育部活動にて3年間継続して活動に取り組む意志のある者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が32以上の者 c 全国中学校体育大会または全国規模の大会、近畿中学校体育大会または近畿規模の大会に出場した者 d 体育的活動において、県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者 e 県選抜選手、県代表選手、日本代表選手として活動した経験のある者 f 上記の競技成績と同等の優れた運動能力を有する者			
		学校独自検査	実技検査			
		配点	学力検査 500点	個人調査報告書・活動実績報告書 200点	実技検査 300点	
	自己推薦 B (80人)	出願要件	本校に対する明確な志望動機があり、次のaの要件を満たし、かつ、b～eのいずれかの要件に該当する者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が36以上の者 b 中学校の部活動や外部の団体に所属し、体育的または文化的活動に優れた実績や能力を有し、入学後も本校の部活動にて継続して活動に取り組む意志のある者 c 中学校生活を高い学習意欲と規範意識を持って過ごした者で、入学後も目的意識を持って生活し、その達成のために主体的に行動する意志のある者 d 社会に対する課題意識や、自身の夢を持ち、課題解決や夢の実現に向けた実践をした経験のある者で、入学後も継続して行動する意志のある者 e 学校のリーダーとして活躍した経験のある者で、入学後も他の生徒を牽引して学校の活性化に努める意志のある者			
		学校独自検査	プレゼンテーション			
		配点	学力検査 500点	個人調査報告書・活動実績報告書 200点	プレゼンテーション 300点	
一般型選抜 65% (208人)		配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・学校独自型選抜では、受検者が、自己推薦AまたはBのいずれかを選択して出願すること。 ・学校独自型選抜（自己推薦A）および一般型選抜（学校出願にて体育学科のみ、または普通科と体育学科両方を志願する者）の実技検査は、[複合的運動]とする。ただし、併願者は、学校独自型選抜（自己推薦A）での実技検査結果を、一般型選抜での実技検査結果に適用する。 ・[複合的運動]では、走る、ミニハードルを跳ぶ、目標地点に向けてボールを投げる、バランスを取る等の運動能力を総合的に評価する。 ・学校独自型選抜（自己推薦B）のプレゼンテーションは、一人2分間で、自己のこれまでの経験と今後取り組みたいことについて発表を行うものとし、資料等を準備しても良い。資料等を準備する場合は、事前に提出した申請用紙の内容に基づき、当日持参すること。 ・学校独自型選抜（自己推薦A・B）においては、取得した資格や部活動等の実績を「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。なお、「活動実績証明書」に記載した実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 草津東高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 体育学科

		体育学科の特色あるカリキュラムのもとで、スポーツ全般に対して知識を深め技術力を向上させるとともに、意欲的に学業に取り組むことで文武両道を目指し、持続可能な社会の創り手（グローバルシチズン）として貢献できる能力を育成します。				
スクール・ポリシー （学科の特色）		〈求める生徒像〉 （１）自らの行動に責任を持ちながら、自身の競技力の向上を目指し、挑戦を続ける生徒 （２）将来、社会のスポーツ振興に貢献できる指導者等の道を目指し、意欲的に学習や部活動に取り組む生徒 （３）広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら行動し、集団として高め合うことのできる生徒				
学校独自型選抜 90% (36人)	自己推薦	出願要件	規範意識を持って、学校生活に意欲的に取り組み、本校の体育部活動に所属し3年間継続して競技に取り組む強い意志があり、次のaの要件を満たし、かつ、b～fのいずれかの要件に該当する者 a 本校体育学科への志望の意志が強く、目的意識を持ち、その達成に向けて主体的に努力することを期待できる者で、個人調査報告書における3年間の9教科評定合計が81以上の者 b 全国中学校体育大会または全国規模の大会に出場した者 c 近畿中学校体育大会または近畿規模の大会に出場した者 d 県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者 e 県選抜メンバー、県代表メンバー、日本代表メンバーとして活動した経験のある者 f 上記の競技成績と同等の優れた運動能力がある者			
			学校独自検査	実技検査		
			配点	学力検査 200点	個人調査報告書・活動実績報告書 200点	実技検査 600点
	一般型選抜 10% (4人)	配点	学力検査 500点	個人調査報告書 300点	実技検査 200点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・ 一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・ 二次募集においても、一般型選抜の内容に準ずる実技検査を行う。 ・ 学校独自型選抜（自己推薦）の実技検査は、受検者が、活動実績と紐づく競技（活動実績と紐づく競技がなければ基礎能力）を〔陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力〕から1競技を出願時に選択し、さらに〔複合的運動〕の全ての種目を受検するものとする。なお、各競技の種目は以下の通りとする。 【陸上競技】 50m走、50mハードル、1000m走、立三段とび、メディシンボール投げ から1種目選択 【バスケットボール】 オールコートドリブルシュート、ジャンプシュート 【サッカー】 パス&コントロール、コーンドリブルシュート 【剣道】 基本打突、正面打ち、前後切り返し、小手面、胴打ち、面体当たり、引き面、引き小手、引き胴 【水泳】 体幹・バランス保持力および肩関節可動域の測定 【アーチェリー】 ゴムチューブによるシューティング（12回） 【基礎能力】 30m走、立幅跳び、メディシンボール投げ（フロント） ・ 〔複合的運動〕では、走る、ミニハードルを跳ぶ、目標地点に向けてボールを投げる、バランスを取る等の運動能力を総合的に評価する。 ・ 一般型選抜（学校出願にて体育学科のみ、または普通科と体育学科の両方を志願する者）の実技検査は、〔複合的運動〕のみとする。ただし、学校独自型選抜（自己推薦）と一般型選抜の併願者は、学校独自型選抜（自己推薦）での実技検査結果を一般型選抜での実技検査結果に適用する。 ・ 学校独自型選抜（自己推薦）においては、取得した資格や部活動等の実績を「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 草津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	○協働学習を通じた探究的な学びや課題解決学習に取り組み、自ら学び続けることができる生徒を育みます。 ○部活動や生徒会活動に取り組み、充実した高校生活を送り、経験したことを自ら振り返って次に生かすことができる生徒を育みます。 ○人権学習を中心に様々な学習活動をととして、高い人権感覚を身に付けます。系統的なキャリア教育を推進し、自己のキャリアプランニングを行います。						
	〈求める生徒像〉 ○自己実現や進路実現に向けて、意欲的に学習に取り組める生徒 ○体育活動、文化活動や生徒会活動などに積極的に取り組める生徒 ○ボランティア活動などに積極的に取り組み、地域や社会に貢献することに意欲的な生徒						
学校独自型選抜 40% (80人)	自己推薦 (40人)	出願要件	本校入学の目的意識が明確であり、その実現に強い意欲を持つ者で、次のaの要件を満たし、かつ、b、cのいずれかの要件に該当する者 a 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が75以上、または、3年生の9教科の評定合計が25以上の者 b 野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(女)に関わる競技実績や活動実績を有し、入学後は3年間継続して当該部活動に取り組む強い意志を持つ者 c b以外のスポーツに関わる競技実績や活動実績を有し、入学後は3年間継続して本校部活動に取り組む強い意志を持つ者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	面接(集団)		
	中学校長推薦A (20人)	推薦要件	本校入学の目的意識が明確であり、その実現に強い意欲を持つ者で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 中学校の部活動において競技実績や活動実績を有し、入学後は本校部活動に取り組む強い意志を持つ者 b 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が75以上、または、3年生の9教科の評定合計が25以上の者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)		
	中学校長推薦B (20人)	推薦要件	本校入学の目的意識が明確であり、その実現に強い意欲を持つ者で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 入学後、自らの進路実現に向けて意欲的に学習や自主活動に取り組める者 b 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が90以上、または、3年生の9教科の評定合計が30以上の者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)		
	一般型選抜 60% (120人)	配点	学力検査		個人調査報告書		
			600点		400点		
	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
1			1	1	1	1	
〈備考〉 ・学校独自型選抜(自己推薦)においては、部活動等の実績を「個人調査報告書」「活動実績報告書」の得点に含めて評価する。 なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に提出すること。 ・学校独自型選抜(中学校長推薦B)の自主活動とは、体育活動、文化活動、生徒会活動、ボランティア活動等を指す。 ・自己推薦について募集人数が充足しなかった場合は、未充足分の人数を中学校長推薦Aの募集人数に加える。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 玉川高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「自律・友愛・進取」の校訓のもと、人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指しています。わかりやすい授業と熱心な部活動指導で学業と部活動との両立を応援するとともに、将来の進路が切り拓けるような丁寧な指導をします。考える力、表現する力を大切に、これからの社会を生きていくための基礎力を培います。 (1) 主体的に目標を定め、何事にも意欲的・探究的に取り組む力を育成します。 (2) 自他を尊重する心と自らを律する心を備えた人材を育成します。 (3) 社会性や公共心、使命感を培い、地域・社会の一員として貢献できる人材を育成します。 (4) 他者と協働しながら自らの答えを見いだしていく思考力・判断力・表現力等を育成します。						
	〈求める生徒像〉 (1) 互いを認め、協働し、高め合いながら成長しようとする生徒 (2) 基礎的な学力を有し、意欲的に学び続ける生徒 (3) 部活動や生徒会活動等に積極的に取り組み、勉学との両立に努力する生徒 (4) 進んで集団に貢献しようとする意欲のある生徒						
学校独自型選抜 10% (28人)	自己推薦	出願要件	本校を志望する明確な意思があり、個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が90以上で、生徒会活動や体育的活動・文化的活動において優れた実績を有し、入学後も継続して活動に打ち込む意欲のある者				
学校独自検査		面接(個人)					
配点		学力検査 500点	個人調査報告書・活動実績報告書 300点		面接(個人) 200点		
一般型選抜 90% (252人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
		700点		300点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

募集定員 160 人
 農業科 80 人 食品科 40 人
 花緑科 40 人

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 湖南農業高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 農業学科（農業科、食品科、花緑科）

スクール・ポリシー (学科の特色)	・地域社会に貢献し活躍できる能力（知識・技術）を持った人材を育成します。 ・適正な勤労観や職業観を身につけ、課題に主体的・協働的に対応できる人材を育成します。 ・地域農業や関連産業で活躍でき、自ら学ぶ意欲と豊かな感性と自立の精神を持った人材を育成します。 ・人権を尊重し、人権問題を解決する意欲と実践力を持った人材を育成します。 〈求める生徒像〉 本校では農業教育をととして基礎基本の定着のもと実践から得られる忍耐力や勤勉さを強みにして「地域社会で働く人」、「地域社会に貢献する人」、「将来の夢を実現する人」の育成を目指しています。そのため、農業（植物や食品、環境等）の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的意識をもって、何事にも真面目に意欲的に取り組むことができる生徒を求めています。						
学校独自型選抜 各科 30% 農業 24 人 食品 12 人 花緑 12 人	中学校長 推薦	推薦要件	次の a、b 両方の要件を満たす者 a 農業（植物や食品、環境等）の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的意識を持って、何事にも真面目に意欲的に取り組むことができる者 b 中学校の活動条件（体育活動実績、文化活動実績、生徒会活動実績のうち 1 つ以上）で顕著な成績や実績を持つ者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査 200 点	個人調査報告書 700 点	面接(集団) 100 点		
一般型選抜 各科 70% 農業 56 人 食品 28 人 花緑 28 人		配点	学力検査 500 点		個人調査報告書 500 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 守山高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	豊かでたくましい心身の育成と確かな学力の伸長に努め、21世紀に求められる智慧(ちえ)と人格(こころ)をそなえた、わが国および国際社会の進展に貢献できる人間を育成します。							
	〈求める生徒像〉 ①多様な意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできる生徒 ②困難に立ち向かい新しいことにチャレンジしようとする生徒 ③知的好奇心と向学心を持ち、目標に向かって粘り強く努力できる生徒 ④文武両道をめざし、学習、部活動、学校行事等に主体的に意欲をもって取り組める生徒							
学校独自型選抜 10% (20人)	中学校長推薦	推薦要件	次のa～cのすべての要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が40以上の者 b 大学等へ進学する強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成に最大限の努力をする者 c 部活動および対外的な活動や交流などに積極的に参加し活動するなど、学校のリーダーとして他の生徒の模範となる活躍が期待できる者					
			学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査		個人調査報告書		面接(集団)	
			500点		400点		100点	
一般型選抜 90% (180人)		配点	学力検査			個人調査報告書		
			800点			200点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語	数学	社会	理科	英語	
			1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・学校独自型選抜(中学校長推薦)において、大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。								

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 守山北高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	①未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する ②地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する ③地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する 〈求める生徒像〉 ・基本的な生活習慣が身についており、学業や部活動など何事にも一生懸命意欲的に行動できる人 ・他者への思いやりと正しい規範意識を持ち、リーダー性がある人							
学校独自型選抜 50% (60人)	自己推薦 (12人)	出願要件	本校志望の意志が強く、次の各競技において、aの要件を満たし、かつb、cのいずれかの要件を満たす者 【サッカー(男)】 a 本校入学後、サッカー部に所属して、3年間継続して活動を続け、活躍する意思を持つ者 b 県大会上位進出チームに所属し、正選手として出場した者 c 競技能力に優れた者 【硬式野球(男)】 a 本校入学後、硬式野球部に所属して、3年間継続して活動を続け、活躍する意思を持つ者 b 所属クラブチームの団体・連盟(県支部)主催大会でベスト8以上の成績を収め、正選手として出場した者 c 競技能力に優れた者					
		学校独自検査	面接(個人)、実技検査					
		配点	学力検査 250点	個人調査報告書・ 活動実績報告書 500点	面接(個人) 100点	実技検査 150点		
	中学校長推薦A (24人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、次のa、b両方の要件を満たすもの a 中学校の部活動において、サッカー(男)、野球(男)、バレーボール(女)、陸上競技(男女)のいずれかで優れた実績や能力を持ち、入学後も3年間継続して取り組む意思を持つ者 b 基本的な生活習慣が身についており、他者への思いやりと正しい規範意識を持つ者					
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)					
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書 500点	面接(個人) 100点	作文(1題) 100点		
	中学校長推薦B (24人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 学習に対し意欲的に取り組み、自分の将来の進路について、目的意識を持つ者 b 体育的活動や文化的活動、生徒会活動で目標と意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者					
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)					
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書 500点	面接(個人) 100点	作文(1題) 100点		
	一般型選抜 50% (60人)	配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点		
	学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・学校独自型選抜(自己推薦)について、実技検査は次のとおりとする。 【サッカー】パス&コントロール、ドリブルシュート、クロスボールからシュート 【硬式野球】基礎体力、守備スキル、打撃スキルを確認する検査 ・学校独自型選抜(自己推薦)において、【サッカー】および【硬式野球】の出願要件bに該当する受検者は、そのことを証明するものを提出すること。 ・自己推薦について募集人数が充足しなかった場合は、未充足分の人数を中学校長推薦Aの募集人数に加える。							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 守山北高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 みらい共創科

スクール・ポリシー (学科の特色)	①未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する ②地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する ③地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する ④自分の興味・関心に合わせた探究的な学びや地域での実務体験等を重ねながら、自らみらいを切り拓く力を育成する 〈求める生徒像〉 ・ 基本的な生活習慣が身についており、好奇心旺盛で、ものごとを深く考えたり試行錯誤しながら様々な角度から学習したりすることに興味・関心がある人 ・ 何事にも一生懸命で、他者への思いやりと正しい規範意識を持ち、リーダー性がある人					
学校独自型選抜 50% (20 人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、次の a～c のいずれかの要件を満たす者 a 生徒会活動や地域課題の解決に意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者 b 学習に対し意欲的に取り組み、自分の将来の進路について、目的意識を持つ者 c 体育的活動や文化的活動で目標と意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者			
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1 題)			
		配点	学力検査 250 点	個人調査報告書 500 点	面接(個人) 150 点	作文(1 題) 100 点
一般型選抜 50% (20 人)	配点	学力検査 500 点		個人調査報告書 500 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・ 一般型選抜における出願は、学校出願とする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 栗東高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・ 礼節を学ぶ生活指導と行事や部活動を通した人間力の育成を図る ・ わかる授業の展開と放課後学習支援活動ルーム「友愛」による学習サポートの充実を図る ・ 地域社会と交流しながら地元に貢献する姿勢の育成を図る 〈求める生徒像〉 ① 学業と、スポーツ・芸術活動の両立を図りながら高校生活を送ることができる生徒 ② 人を思いやる気持ちを持って行動できる生徒						
学校独自型選抜 50% (60 人)	自己推薦	出願要件	本校普通科で学ぶ強い意欲を持ち、次の a～c のいずれかの要件に該当する者 a 中学 3 年間で校内外の課外活動に取り組んだ者で、各種大会等への出場を証明できる写しを添付できる者 b 資格や特技があり、それを証明できる写しを添付できる者 c 高校の 3 年間で取り組みたいことが明確な者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書		面接(集団)	
	250 点		650 点		100 点		
一般型選抜 50% (60 人)	配点	学力検査			個人調査報告書		
		500 点			500 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・ 出願要件 a、b については、それを証明できる写しを提出すること。 ・ 学校独自型選抜(自己推薦)においては、大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 栗東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 美術学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・本県の美術活動の中心としての自覚を促し、美術文化の発展に寄与する態度や能力の育成を図る ・恵まれた設備環境の中で、美術学科独自の行事や取り組みを通じて生徒個々の個性を伸長する						
	〈求める生徒像〉 ①美術的な活動に強い意欲と関心を持ち、学業との両立を図りながら高校生活を送ることができる生徒 ②本県の美術活動の中心としての自覚を持ち、取り組める生徒						
学校独自型選抜 100% (40人)	自己推薦	出願要件	本校美術学科で学ぶ強い意欲を持ち、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a 中学時代各種コンクールなどで入賞などの実績があり、それを証明する写しを添付できる者 b 資格や特技があり、それを証明できる写しを添付できる者 c 美術的分野に強い興味・関心があり専門的な勉学を希望する者				
		学校独自検査	実技検査				
		配点	学力検査 500点	個人調査報告書・活動実績報告書 350点		実技検査 150点	
	一般型選抜 0% (0人)	配点	学力検査 —		個人調査報告書 —		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1	
〈備考〉 ・実技検査は「デッサン」とする。 ・二次募集においても、学校独自型選抜の内容に準ずる実技検査を行う。 ・出願要件a、bについては、それを証明できる写しを提出すること。 ・学校独自型選抜（自己推薦）においては、大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 国際情報高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)		地域を大切に、地域から必要とされる人材育成を目指し、特に英語をツールとして利用できる技術者、職業人を育成します。そのために、持続可能な開発目標（SDGs）、地域貢献をテーマとした課題研究等の探究活動、中学校等と連携した実践的な英語教育と人権教育を重視するなど、グローバルコミュニケーション能力を高める地域の拠点校としての教育を充実するとともに、自らが社会へどのように貢献できるか、役割を発見し自己肯定感を高める教育を目指します。				
		〈求める生徒像〉 ①進路の決定に必要な情報を積極的に収集し、的確な分析や検討を行って自身の将来の姿を見据えることができる生徒 ②資格・検定の取得に意欲的に取り組み、確かな専門知識を身に付けたスペシャリストを目指す生徒 ③技術・技能を身に付け、さらに、コミュニケーション能力やプレゼン力を活かしてグローバルな活躍を目指す生徒 ④国際交流に関心を持ち、異文化に対し理解のある生徒				
学校独自型選抜 50% (120 人)	中学校長 推薦	推薦要件	基本的な生活習慣が身に付いており、総合学科の教育内容やその趣旨を理解して学校生活に意欲的に取り組める者で、かつ、次のa～dのいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 英会話やものづくりなど、本校各系列の教育内容に合致した分野における適性や優れた能力を持つ者 c 中学校の文化的・体育的活動に積極的に取り組み、リーダーとして入学後も活躍が期待できる者 d 次のいずれかの資格や成績を有する者 ・ 実用英語技能検定 準2級以上 ・ TOEIC 385 点以上 (L&R 225 点以上、S&W 160 点以上) ・ TOEFL iBT 42 点以上 ・ GTEC Core 690 点以上			
		学校独自検査	作文(1 題)			
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書 600 点	作文(1 題) 100 点	
一般型選抜 50% (120 人)	配点	学力検査 600 点		個人調査報告書 400 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 水口高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	県下有数の伝統校として、地域に貢献する人材を育成し、豊かな人間性と教養、たくましさを備え、社会で活躍できる生徒を育てます。						
	〈求める生徒像〉 ①本校の校訓（醇厚・中正・自彊・進取＝かたよらない あたかな心で 自ら進んで 努力しよう）が目指すところを理解し、実践できる生徒 ②他者への思いやりの心を持った、向学心にあふれた生徒 ③地域に関心を持ち、将来地域社会に貢献しようとする生徒						
	学校独自型選抜 40% (80 人)	自己推薦 (60 人)	出願要件	本校に対する明確な志望動機とスポーツ活動の実績や高い競技能力を持ち、次の a、b 両方の要件を満たす者 a 個人調査報告書における 3 年間の 9 教科の評定合計が 73 以上の者 b 入学後、次の部活動で 3 年間競技をする意志の強い者 弓道(男女)、剣道(男女)、ライフル射撃(男女)、陸上競技(男女)、硬式野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男)、ソフトテニス(女)、ソフトボール(女)、バレーボール(女)			
			学校独自検査	面接(集団)			
配点		学力検査 300 点	個人調査報告書・活動実績報告書 500 点		面接(集団) 200 点		
一般型選抜 60% (120 人)	中学校長推薦 (20 人)	推薦要件	本校に対する明確な志望動機と大学への進学や英語の学習に対して強い意欲があり、入学後も学業に励む強い意志を持つ者。なお、入学後、特進クラスまたは国際文化コースに在籍することが望ましい。				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書 500 点		面接(集団) 200 点	
	配点	学力検査 600 点		個人調査報告書 400 点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 水口東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「われらに意気と誇りあり、われらに愛と誠あり、われらに信と力あり」の校歌の理念のもと、将来を力強く切り拓いていける人材の育成を目指します。自ら学ぶ姿勢を育むきめ細やかな学習活動、活発な部活動や自主活動、そして進路実現のための丁寧な関わりで夢の実現をサポートします。						
	〈求める生徒像〉 ・「やってみたいこと」を見つけて、自己探究し続けられる生徒 ・「もっと知りたいこと」をたくさん見つけられる生徒 ・「伝えたいこと」を自分の言葉でしっかりと伝えられる生徒						
学校独自型選抜 25% (20人)	中学校長推薦	推薦要件	本校を志望する強い意志があり、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が36以上であり、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 本校入学後リーダーとしての活躍が期待できる者 b 中学校の部活動等に熱心に取り組み、十分な成果を上げ、入学後も熱心に活動をし続け技術や能力等の向上に取り組む者 c 中学校で地域の課題解決に向け意欲をもって取り組み、校内外の発表やコンクールへの応募などで成果を上げ、入学後も熱心に活動をし続ける者				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査	個人調査報告書		面接(集団)	
			300点	600点		100点	
一般型選抜 75% (60人)		配点	学力検査		個人調査報告書		
			700点		300点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語	数学	社会	理科	英語
			1	1	1	1	1
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 甲南高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	地域との連携を積極的に行い、礼儀やマナーを身につけ、勤労を尊ぶ精神を持ち、地域に貢献できる人材の育成を目指す。そのために4つの系列（生物と環境、バイオとかがく、食と健康、福祉と保育）において体験学習を十分に活かし、将来の職業選択を見据えたキャリア教育を実践する。 授業や実習、学校行事や部活動等に仲間と共に積極的に取り組み、他者を思いやり、お互いを尊重し合う関係を構築する。この地域を支える人材を育て、地域と共に発展していく学校を目指す。 〈求める生徒像〉 ・本校総合学科に興味・関心があり、入学後も目的意識と熱意を持って、学習や学校行事・部活動等に仲間と共に積極的に取り組み、目標達成に向けて努力する生徒。 ・社会や地域に関心を持ち、地域社会に貢献しようとする意欲的な生徒。 ・他者を思いやり、お互いを尊重し合う気持ちを持った生徒。				
学校独自型選抜 50% (60人)	自己推薦 (12人)	出願要件	本校を志望する明確な意思があり、向上心と目的意識を持って高校生活が送れ、かつ、次のa、b両方の要件を満たす者 a スポーツ・地域貢献活動等において中学生時代に部活動や所属団体(スポーツクラブ等)等で3年間継続的に活動し、入学後も継続して部活動や特別活動に意欲的に取り組む意思のある者 b 他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮するとともに、自身の向上を目指して、自己の適性と能力に応じて主体的に学習できる者		
		学校独自検査	面接(集団)		
		配点	学力検査 450点	個人調査報告書・活動実績報告書 500点	面接(集団) 50点
	中学校長推薦 (48人)	推薦要件	本校を志願する明確な意思があり、向上心と目的意識を持って高校生活が送れ、かつ、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 自分自身の適性と能力を知り、計画的に学習できる者 b 他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮できる者 c 中学校のスポーツ・文化活動等において3年間継続的に活動し、入学後も継続して部活動や特別活動に意欲的に取り組む意思のある者		
		学校独自検査	面接(集団)		
		配点	学力検査 450点	個人調査報告書 500点	面接(集団) 50点
一般型選抜 50% (60人)	配点	学力検査 500点		個人調査報告書 500点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
〈備考〉 ・特記事項なし					

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉信楽高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	未来を切り拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力や伝える力、協働する力、創造する力など生きる力を育成します。伝統産業「信楽焼」を活かした学びによって、地域の活性化に貢献しながら、ものづくりの精神を学び、地域に誇りと愛着を持ち、地域課題の解決に積極的に取り組む人材を育成します。						
	〈求める生徒像〉 ・本校の総合学科の内容や趣旨を理解し、各系列での学びを大切にする生徒 ・将来に対する目的意識を持って様々な活動に熱心に取り組む意欲がある生徒 ・様々な活動に努力を惜しまず、自ら未来を切り拓く意志がある生徒						
学校独自型選抜 50% (40人)	【全国募集】 中学校長推薦 (5人)	推薦要件	次のa～cのすべての要件を満たす者 a 他都道府県から志願する者で、信楽地域の伝統産業に関わるセラミックやデザインに強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確で、基本的な学習習慣や生活習慣が身についている者 b 個人調査報告書における3年生の「美術」の評定が3以上の者 c 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が20以上の者				
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)	作文(1題)	
			—	600点	200点	200点	
	中学校長推薦 (35人)	推薦要件	本校を志望する明確な意志を持ち、基本的生活習慣が身についており、本校の「総合学科」の内容や趣旨を理解し、かつ、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a セラミックやデザインまたは美術に強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確な者 b 進学等に向けての目的意識が明確で、その達成に向けて努力する者 c 中学校の体育的活動・文化的活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動に打ち込む強い意志のある者				
		学校独自検査	面接(個人)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)		
		200点	600点	200点			
一般型選抜 50% (40人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
		500点		500点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・学校独自型選抜(中学校長推薦)について、全国募集枠の募集人数が充足しなかった場合は、その未充足分の人数を県内を対象とした募集人数に加える。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 野洲高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	社会で生きするために必要となる確かな学力や他者と協働する力を養うとともに、社会の一員として地域を理解し、課題解決に貢献できる探究力と実践力を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①学習に真摯に取り組み、自己を成長させようという意欲のある生徒 ②高い規範意識をもって、仲間と協働して主体的に活動に取り組める生徒 ③部活動に取り組み、本校でも継続して活動する意欲の高い生徒					
学校独自型選抜 50% (80 人)	自己推薦 (40 人)	出願要件	本校志望の意思が強く、次の a の要件を満たし、かつ、b～d のいずれかの要件に該当する者 a 本校入学後、サッカー(男)・硬式野球(男)・ライフル射撃(男女)の各部活動に所属し、3 年間継続して競技に取り組む強い意思がある者 b 全国規模もしくは地域（近畿）規模の大会に出場した者 c 県大会で個人もしくは団体のベスト 8 以上に入賞した者 d 上記競技成績と同等の優れた競技能力がある者			
		学校独自検査	面接(集団)、実技検査			
		配点	学力検査	個人調査報告書・ 活動実績報告書	面接(集団)	実技検査
			150 点	250 点	200 点	400 点
	中学校長 推薦 (40 人)	推薦要件	本校志望の意思が強く、次の a～c のいずれかの要件を満たす者 a 学習意欲と規範意識が高く、中学校内での活動（部活動や生徒会活動等）に意欲的に取り組んだ者 b 基本的生活習慣が身についており、規律ある中学校生活を送れた者 c 地域課題の解決に意欲を持ち、入学後も地域と連携・協働した活動に積極的に取り組む者			
		学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)	
			300 点	500 点	200 点	
	一般型選抜 50% (80 人)	配点	学力検査		個人調査報告書	
			500 点		500 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（自己推薦）の実技検査は、立ち幅跳び、反復横跳び、30m 走とする。 ・学校独自型選抜（自己推薦）について、出願要件 b もしくは c に該当する受検者は、そのことを証明するものを提出すること。						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 石部高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	① 地域と連携・協働した実践的な体験学習等によって、子どもから高齢者まで全ての人々が健康で安心して暮らせる持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成します。 ② 学習の基礎・基本を大切に基礎学力の向上に向けた取組を進める中で、習得した思考力・判断力・表現力を用いた適切な判断ができる能力を育成します。 〈求める生徒像〉 ① 学習に意欲的で、主体的に行動できる人 ② 部活動に取り組み、本校でも継続して活動する意欲の高い人 ③ 福祉や健康分野に興味・関心があり、多様な学習活動に意欲のある人						
学校独自型選抜 50% (60 人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校への入学についての明確な志望動機があり、次の a ～ c のいずれかの要件を満たす者 a 学習意欲と規範意識が高く、主体的に行動できる者 b 中学校の部活動等に熱心に取り組み、十分な成果を上げ、技術の向上に努めている者 c 福祉や健康に対する強い関心と興味を持ち、将来福祉分野、健康分野に関わる仕事に就きたいと考えている者				
		学校独自検査	面接(個人)				
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書 500 点	面接(個人) 200 点		
一般型選抜 50% (60 人)	配点	学力検査 500 点		個人調査報告書 500 点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 甲西高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・校訓「力行（りょっこう）：何事にも全力で取り組むこと」の精神のもと、学習活動と課外活動（部活動等）の両立を応援し、【確かな学力と人間力（高いコミュニケーション能力や主体性、規範意識、思いやりや感謝の心等）を持った、将来、地域のリーダーとして社会に貢献できる生徒】を育成します。 ・進路志望に適したカリキュラムを設定し、ICTを効果的に活用して協働的に伸び伸びと学ぶ授業を行います。また、地域や大学、企業等と連携し、きめ細かな進路指導で生徒の自己実現を支援します。 ・「さわやか甲西」の伝統のもと、落ち着いた環境で安心して仲間と共に学び、活動することを通し、基本的な生活習慣や礼儀を身に付け、社会で求められる資質・能力を育てます。 〈求める生徒像〉 ・校訓「力行」の精神に共感し、主体的に何事にも全力で取り組む意欲と活力のある生徒 ・学習と課外活動（部活動等）の両立に、まじめに継続して取り組む意欲と強い意志のある生徒 ・地域や社会に関心をもち、地域等の課題解決に向け、自分たちに何ができるかを考え、分析し、学校外でも活動するなどして探究的に学ぶ意欲のある生徒					
学校独自型選抜 40% (80人)	自己推薦 (5人)	出願要件	本校への志望の意志が強く、継続して努力を重ね、優秀な成績や実績を残した者で、次のa、b両方の要件に該当する者 a 入学後、本校の次の部活動に所属して3年間継続して活動を続け、活躍する強い意志を持つ者 硬式野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(男女)、卓球(男女)、ソフトテニス(男女)、吹奏楽(男女) b 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が78以上の者			
		学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書・活動実績報告書 600点		面接(集団) 100点
	中学校長推薦 (75人)	推薦要件	本校への志望の意志が強く、継続して努力を重ね、優秀な成績や実績を残した者で、次のa、bのいずれかの要件に該当する者 a 学習意欲と規範意識が高く、主体的・協働的に行動できる者で、4年制大学等への進学を希望し、入学後も勉学に励む意志を持つ者 b 入学後、本校の次の部活動に所属して3年間継続して活動を続け、活躍する強い意志を持つ者 硬式野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(男女)、卓球(男女)、ソフトテニス(男女)、吹奏楽(男女)			
		学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査 300点	個人調査報告書 600点		面接(集団) 100点
一般型選抜 60% (120人)	配点	学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（自己推薦・中学校長推薦）においては、大会結果等の実績を「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 高島高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	教育基本法および学校教育法の精神に則り、人格を陶冶し、教養を高め、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、平和な国家社会の建設的な形成者を育成する。特に、能力・適性・進路に応じて、自主的・継続的努力の喜びを体験させる教育の実現に努める。					
	〈求める生徒像〉 ● 本校の多様な学びに積極的かつ意欲的に取り組むことができる生徒 ● 部活動等の特別活動と学習との両立に励み、『文武両道』を実現することに努力できる生徒 ● 社会や地域の課題に関心を持ち、それを解決することに貢献したいという意欲を持つ生徒 ● 個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力し、失敗を恐れず挑戦できる生徒 ● 他者を思いやり、公共心あふれる生徒					
学校独自型選抜 20% (24人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校普通科志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、自分の進路に対して目的意識を持ち、入学後も他の生徒を牽引して本校での活躍が期待できる者で、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 中学校の部活動において優れた成績を残してきた者で、本校において、さらに継続して取り組む強い意志を持つ者 b 生徒会活動に熱心に取り組む、本校において、さらに継続して取り組む強い意志を持つ者 c 資格試験や検定試験等の取得に励み、取得実績を持つ者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 500点	個人調査報告書 450点	面接(個人) 50点	
一般型選抜 80% (96人)		配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 高島高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 文理探究学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	教育基本法および学校教育法の精神に則り、人格を陶冶し、教養を高め、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、平和な国家社会の建設的な形成者を育成する。特に、能力・適性・進路に応じて、自主的・継続的努力の喜びを体験させる教育の実現に努める。						
	〈求める生徒像〉 ● 本校の多様な学びに積極的かつ意欲的に取り組むことができる生徒 ● 部活動等の特別活動と学習との両立に励み、『文武両道』を実現することに努力できる生徒 ● 社会や地域の課題に関心を持ち、グローバルな視点から課題解決をするとともに、世界に発信する意欲を持つ生徒 ● 個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力し、失敗を恐れず挑戦できる生徒 ● 他者を思いやり、公共心あふれる生徒						
学校独自型選抜 30% (12人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校文理探究科志望の意志が強く、社会や地域の課題に関心を持ち、課題の解決等を目的とした探究的な学習に積極的に取り組む意欲が旺盛で、次のaの要件を満たし、かつ、b、cのいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が [※] 35以上の者、または、3年生の国語、社会、数学、理科、英語の評定合計が [※] 17以上の者 b 本校の探究学習に意欲的に取り組む者 c 部活動等の特別活動と学習との両立に励む者				
		学校独自検査	面接(個人)				
		配点	学力検査 500点	個人調査報告書 450点		面接(個人) 50点	
一般型選抜 70% (28人)		配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉安曇川高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉総合学科

生徒一人ひとりの個性や適性、興味・関心に応じた幅広い学びの機会と、地元企業や地域住民等と連携したキャリア教育を通して、次代を担う産業人材に求められる資質・能力や郷土への愛着を育みます。また、少人数での協働的な学び、地域をフィールドとした実践的な学び、系列での専門的な学びを通して、探究心旺盛でかつ行動力と豊かな人間性を備えた未来志向の地域リーダーを育成します。							
スクール・ポリシー (学科の特色)	〈求める生徒像〉 ①他者を尊重し、協働して粘り強く努力することができる生徒 ②今までとは違う新しい自分に出会いたいと考えている生徒 ③地域と連携した活動に関心を持ち、将来は地域社会に貢献したいと考えている生徒 ④これまで部活動や生徒会活動などに積極的に取り組み、入学後も意欲的に取り組むことができる生徒 ⑤これからの学習に主体的・意欲的に取り組む意思を持っている生徒						
学校独自型選抜 30% (36 人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、基本的な生活習慣が身についており、学校生活に意欲的に取り組む者で、次の a、b のいずれかの要件を満たす者 a 総合学科の多様な学習に興味・関心および意欲を有し、特色ある選択科目の学習を通して進路希望の実現を図ろうとする者 b 中学校の体育的活動や文化的活動および生徒会活動等に積極的に取り組んだ者で、入学後も活躍が期待できる者				
		学校独自検査	面接(個人)、作文(1 題)				
		配点	学力検査 500 点	個人調査報告書 180 点	面接(個人) 120 点	作文(1 題) 200 点	
一般型選抜 70% (84 人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
600 点		400 点					
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八日市高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、2つの校訓である「自彊不息（じきょうやまず）」（自ら努め励むこと）と「自主協同」（自ら考え、他者と協同して事を進めること）を大切にしています。自由で伸びやかな雰囲気の中で、学習活動と生徒会活動・部活動との両立を果たそうとする生徒に、確かな学力を身につける熱心な教科指導と一人ひとりの志望に応じた丁寧な進路指導を行っています。					
	〈求める生徒像〉 ①自分をより高めるために努力を続ける生徒 ②自ら考え行動できる生徒 ③学習活動と課外活動との両立を果たそうとする生徒 ④人間を尊重する精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒					
学校独自型選抜 10% (28人)	中学校長推薦	推薦要件	次のaの要件を満たし、かつ、b、cのいずれかの要件に該当する者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が 37 以上で、入学後、学習活動や生徒会活動・部活動等に意欲的に取り組むと期待される者 b 生徒会の会長もしくは副会長、部活動における部長（主将）もしくは副部長（副主将）を経験した者 c スポーツ活動や文化芸術活動等に関して実績のある者 《スポーツ活動》以下の基準 1 または 2 に該当する者 1 中学校の部活動で参加した中学校体育連盟主催の大会において、近畿大会規模以上の上位大会に出場した者 2 中学校の部活動で参加した中学校体育連盟から県代表として選拔され、全国規模の大会に出場した者 《文化芸術活動》以下の基準に該当する者 中学校の部活動で参加した大会（コンクール・展覧会）において、近畿大会規模以上のコンクール・展覧会に出場あるいは出品を認められた者			
			学校独自検査	小論文(1題)		
		配点	学力検査	個人調査報告書	小論文(1題)	
			500 点	400 点	100 点	
一般型選抜 90% (252人)	配点	学力検査		個人調査報告書		
800 点		200 点				
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 能登川高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、県内で唯一の多部制の総合単位制普通科高校で、 学ぶ目的やライフスタイルに対応した柔軟な教育活動を展開し、生徒の希望する進路を実現する学校です。目的・目標や向上心を持ち高校生活を前向きに送ろうとする生徒を求めます。						
	〈求める生徒像〉 ・単位制の教育システムを生かして自らが主体的に学びを進め、自身の目標に向かって努力することができる生徒 ・基本的な生活習慣が確立され、高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った生徒 ・ルールを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、様々な立場の人とともに学び、行動できる生徒						
学校独自型選抜 30% (36人)	自己推薦 (12人)	出願要件	基本的な生活習慣が確立されており、次の部活動を3年間継続し、高校生活を有意義かつ積極的に送ろうとする強い意志を持ったリーダーとして活躍が期待できる者 【硬式野球(男)】 ・県中体連主催またはクラブチームが所属する団体・連盟(県)主催の県大会でベスト16以上の成績を収めたチームの登録選手 ・県中体連またはクラブチームが所属する団体・連盟(県)から県代表として選抜された者 【バドミントン(男女)】 ・バドミントン部またはクラブチームに所属したことのある者 【柔道(男女)】 ・柔道競技経験者または格闘技経験者 【ボクシング(男女)】 ・アンダージュニア(UJ)の大会に参加したことのある者、もしくはボクシングを体験したことのある者				
		学校独自検査	面接(集団)、作文(1題)				
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	面接(集団)	作文(1題)	
			200点	300点	200点	300点	
	中学校長推薦A (12人)	推薦要件	高校生活を有意義かつ積極的に送ろうとする強い意志を持ったリーダーとして活躍が期待できる者で、入学後、次の部活動を3年間継続する意志を持つ者 硬式野球(男)、バドミントン(男女)、柔道(男女)、ボクシング(男女)				
		学校独自検査	面接(集団)				
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(集団)		
			200点	600点	200点		
		中学校長推薦B (12人)	推薦要件	学業への意欲が旺盛で、主に4年制大学や看護・医療系分野などへの進学を強く希望する者で、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が30以上の者			
			学校独自検査	面接(集団)			
	配点		学力検査	個人調査報告書	面接(集団)		
			200点	600点	200点		
一般型選抜 70% (84人)		配点	学力検査		個人調査報告書		
			600点		400点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語	数学	社会	理科	英語
			1	1	1	1	1
〈備考〉 ・自己推薦について募集人数が充足しなかった場合は、未充足分の人数を中学校長推薦Aの募集人数に加える。							

募集定員 120 人
 農業科 40 人 食品科 40 人
 花緑デザイン科 40 人

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八日市南高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 農業学科（農業科、食品科、花緑デザイン科）

スクール・ポリシー (学科の特色)	◎ 職業教育を通して、地域社会の一員として活躍できる良識ある人材を育成します。 ◎ 命を育み、いただく農業教育を通して、自他を大切にできる豊かな心を育成します。 ◎ 将来につながる確かな基礎学力を身につけ、生涯学び続ける力を育成します。 ◎ 周りと協働しながら様々な課題を見つけ、解決する力を育成します。 〈求める生徒像〉 ★ 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心を持ち、地域社会に貢献したいという意欲のある生徒 ★ 思いやりや、公共心にあふれた生徒 ★ 学ぶ意欲を持ち続け、真面目、誠実に努力する生徒 ★ 体育祭や文化祭等の学校行事、農業クラブ活動（農業を学ぶ全国の高校生がクラブ員となり行う様々な学習活動）や部活動に積極的に参加する生徒				
学校独自型選抜 各科 50% (農業 20 人 食品 20 人 花緑デザイン 20 人)	自己推薦 (農業 7 人 食品 7 人 花緑デザイン 7 人)	募集人数・出願要件	【カヌー(男女)】各科 2 人 本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次の a～d のすべての要件を満たす者 a 個人調査報告書における 3 年間の 9 教科の評定合計が 65 以上の者 b 入学後も 3 年間カヌー部の活動続ける意志がある者 c 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心を持ち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 d 県、市町やカヌー競技団体が主催するカヌー競技会、または、県、市町やカヌー競技団体が主催する競技力向上を目的としたカヌー教室などに参加したこと（参加予定の者を含む）がある者 【硬式野球(男)】各科 5 人 本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次の a～c のすべての要件を満たし、かつ、d のいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における 3 年間の 9 教科の評定合計が 65 以上の者 b 入学後も 3 年間硬式野球部の活動続ける意志がある者 c 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心を持ち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 d ・夏季中体連で県ベスト 16 以上の成績を収めている者 ・春季中体連、秋季中体連で地区ベスト 4 以上の成績を収めている者 ・所属する連盟の大会について地区ベスト 4、県ベスト 8、近畿または関西ベスト 16 以上の成績を収めている者 ・県の選抜チームまたは強化選手に選出経験がある者 ・チームの主将を務めている者		
		学校独自検査	面接(集団)、実技検査		
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書・活動実績報告書 500 点	面接(集団) 150 点 実技検査 50 点
	中学校長推薦 (農業 13 人 食品 13 人 花緑デザイン 13 人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次の a、b のいずれかの要件を満たす者 a 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心を持ち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 b 中学校の生徒会、学級、文化芸術、体育、ボランティア等の活動で顕著な成績や実績を収め、入学後も学校のリーダーとして活躍が期待できる者		
		学校独自検査	面接(集団)		
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書 550 点	面接(集団) 150 点
一般型選抜 各科 50%	(農業 20 人 食品 20 人 花緑デザイン 20 人)	配点	学力検査 500 点	個人調査報告書 500 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)			国語 1	数学 1	社会 1 理科 1 英語 1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（自己推薦、中学校長推薦）で、部活動や生徒会活動等の顕著な実績を「個人調査報告書」「活動実績報告書」の配点に含めて評価する。 ・【実技検査（カヌー）】運動能力を測る検査（シャトルラン、握力）および競技力を測る検査（エルゴメーター、パドリングフォーム） ・【実技検査（硬式野球）】運動能力を測る検査（シャトルラン、握力、上体起こし、反復横とび） ・【硬式野球】は、d の要件を満たしていることを証明する書類を提出すること。					

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉伊吹高等学校

〈課程〉全日制

〈学科〉普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	校是『当たり前のことをあたりまえに』のもと、「自分で考え行動できる生徒」「時間を守り、礼儀正しく、挨拶ができる生徒」「郷土を愛し、地域社会に貢献できる生徒」「相互の人格を重んじ、学業と部活動に精励する生徒」を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ① 本校の取り組みに興味・関心を持ち、積極的に取り組む意欲の旺盛な生徒 ② 学業と体育・文化活動等の両立を極めようとする生徒 ③ 地域の魅力に着目し、地域と共に歩み、発展させようとする生徒					
学校独自型選抜 50% (60 人)	自己推薦 (20 人)	出願要件	本校を志望する意志が強く、基本的生活習慣が身についており、意欲的に学習に取り組む生徒で、次の a ～ c のすべての要件を満たす者 a 学習成果が優れている者 b 入学後は学力発展類型で学ぶ意志があり、大学等に進学する目的意識が明確な者 c 個人調査報告書における 3 年生の 9 教科の評定合計が 27 以上の者			
		学校独自検査	作文(1 題)			
		配点	学力検査 300 点	個人調査報告書・活動実績報告書 500 点	作文(1 題) 200 点	
	中学校長推薦 (40 人)	推薦要件	本校を志望する意志が強く、基本的生活習慣が身についており、意欲的に学習に取り組む生徒で、次の a、b 両方の要件を満たす者 a 優れた運動能力や適性を持っている者 b 次の強化指定部【サッカー(男)、ホッケー(男女)、野球(男)、バレーボール(男)、バスケットボール(女)】で3年間活動する意志がある者			
		学校独自検査	面接(個人)			
		配点	学力検査 200 点	個人調査報告書 400 点	面接(個人) 400 点	
一般型選抜 50% (60 人)	配点	学力検査 600 点		個人調査報告書 400 点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)	教科	国語	数学	社会	理科	英語
	学校独自型選抜	1	1	1	1	1
	一般型選抜	1.2	1	1.2	1	1
〈備考〉 ・学校独自型選抜（自己推薦）において、「活動実績報告書」には、教科以外の課外活動における成果や資格検定、また探究活動などにおける実績や役割を書くこと。 ・学校独自型選抜（自己推薦、中学校長推薦）においては、大会結果や生徒会活動等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 米原高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「清純敦厚」(清らかで素直、誠実で情に厚いこと)の校訓のもと、授業や課外活動を通して、確かな学力と豊かな心を育む。普通科には「普通類型」と「英語コース」があり、「普通類型」は文系にも理系にも対応した教育課程が特徴である。「英語コース」は国際社会や大学進学に適応する高度な英語力を養成する。						
	一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生徒・保護者・同窓生・地域の期待に応える教育を実現する。 〈求める生徒像〉 ・本校への入学意志が強く、入学後向上心をもって高校生活に取り組む生徒。 ・四年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組む生徒。 ・お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図る生徒。						
学校独自型選抜 30% (60人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校の特色をよく理解する者のうち、本校を志望する意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa～dのすべての要件を満たす者で、かつ、eの要件を満たす者が望ましい a 入学後向上心をもって高校生活に取り組める者 b 4年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者 c お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図ろうとする者 d 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が37以上の者 e 以下のいずれかの資格や成績等を有する者 ・英検(1級、準1級、2級、準2級プラス、準2級)、TOEICやTOEFLにおける英検各級と同等スコア ・校外における各種英語スピーチコンテスト(英語弁論大会)入賞				
			学校独自検査	小論文(1題)			
		配点	学力検査	個人調査報告書		小論文(1題)	
			500点	350点		150点	
一般型選抜 70% (140人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
800点		200点					
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・一般型選抜については学校出願とする。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 米原高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 理数学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	県下初の理数科として設置され、多くの卒業生が科学技術者として活躍している。充実した設備を利用して実験・実習・演習を中心とした授業を行い、自然科学を系統的に学べるように工夫している。将来、科学技術系への進学をめざす生徒に最適である。また、理数科ならではの行事も豊富にある。						
	一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生徒・保護者・同窓生・地域の期待に応える教育を実現する。 〈求める生徒像〉 ・本校への入学意志が強く、入学後向上心をもって高校生活に取り組む生徒。 ・四年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組む生徒。 ・お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図る生徒。 ・好奇心や探究心が旺盛で、自らの学びを主体的に深めようとする生徒。						
学校独自型選抜 30% (12 人)	中学校長 推薦	推薦要件	本校の特色をよく理解する者のうち、本校を志望する意志が強く、学習意欲が旺盛で、次の a～d のすべての要件を満たす者で、かつ、e の要件を満たす者が望ましい a 入学後向上心をもって高校生活に取り組める者 b 4 年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者 c お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図ろうとする者 d 個人調査報告書における 3 年生の 9 教科の評定合計が 37 以上の者 e 以下のいずれかの資格や成績、経験等を有する者 ・英検（1 級、準 1 級、2 級、準 2 級プラス、準 2 級）、TOEIC や TOEFL における英検各級と同等スコア ・理数系コンテストや同等の大会に出展・応募した者				
			学校独自検査	小論文(1 題)			
		配点	学力検査	個人調査報告書		小論文(1 題)	
			500 点	350 点		150 点	
一般型選抜 70% (28 人)	配点	学力検査		個人調査報告書			
		800 点		200 点			
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1.2	1	1.2	1	
		※学校独自型選抜、一般型選抜とも、この通りとする。					
〈備考〉 ・一般型選抜については学校出願とする。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 日野高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自ら考え、探究し、学びに向かう ・多様な価値観を持つ人々と対話し、協調・協働する ・地域に根ざし、地域の未来を考え活性化していく						
	〈求める生徒像〉 ① 積極的にさまざまな活動をしたい生徒 ④ 自分自身と向き合い、夢を実現したい生徒 ② 地域の魅力を学び、滋賀県で働きたい生徒 ⑤ 基礎から探究力を身につけたい生徒 ③ 自分の進路実現に向けて努力したい生徒 ⑥ 課題研究で地域に貢献できる活動をしたい生徒						
学校独自型選抜 50% (60人)	自己推薦 (14人)	募集人数・ 出願要件	【レスリング(男女)】5人、【硬式野球(男)】3人、 【サッカー(男)】5人、【バスケットボール(男女)】1人 次のa～cのすべての要件を満たす者 a 中学校の部活動またはクラブチームにおいて、レスリング(男女)もしくは柔道(男女)、野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男女)の競技を中学校の3年間続け、本校に入学後も3年間継続して活動する強い意志を持つ者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が20以上の者 c 優れた自己管理能力・適性を持ち、入学後は体育的活動のリーダーとして活躍が期待できる者				
			学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書		面接(集団)	
			200点	600点		200点	
	中学校長推薦A (22人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、中学校の体育的活動や文化的活動において、優れた能力や適性を持ち、入学後もその分野で力を発揮しようと強く決意している者				
			学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書		面接(集団)	
			200点	600点		200点	
	中学校長推薦B (24人)	推薦要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、学業成績が総合的に優れている者で、本校での学習を通じ自分の進路希望を達成しようと強く決意している者				
			学校独自検査	面接(集団)			
		配点	学力検査	個人調査報告書		面接(集団)	
			200点	600点		200点	
一般型選抜 50% (60人)	配点	学力検査			個人調査報告書		
		500点			500点		
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・自己推薦について募集人数が充足しなかった場合は、未充足分の人数を中学校長推薦Aの募集人数に加える。							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 愛知高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	1 自ら学び、時代の変化に対応できる能力や向上心を持てる人間の育成 2 教養ある品性の涵養と人権を尊重できる人間の育成 3 心豊かで、たくましく生きる人間の育成					
	〈求める生徒像〉 ① 自分自身としっかり向き合い、向上心のある生徒 ② 自分からあいさつができ、ルールがきちんと守れる生徒 ③ チャレンジ精神と、失敗を恐れない心を持った生徒 ④ 意思表示ができ、仲間と協力して課題を解決できる生徒 ⑤ 人権を大切にし、常に他者を思いやる生徒 ⑥ 地域とのつながりを大切にし、地域と共に学べる生徒					
学校独自型選抜 50% (60 人)	自己推薦 (30 人)	募集人数 ・ 出願要件	【硬式野球（男）】10 人、【剣道（男女）】10 人 次の a～c のすべての要件を満たす者 a 高校入学後、健康・スポーツコースに入り、3 年間健康・スポーツコースおよび硬式野球部員または剣道部員として活動する決意を持つ者 b 中学校の部活動またはクラブチーム等に所属し、以下の①～③のいずれかの条件を満たす者 ① 全国大会（全国選抜大会）に出場したことがある者 ② 近畿大会（地区大会）に出場したことがある者 ③ 県大会に出場したことがある者 c 高校における、諸活動や勉強にも熱心に取り組む決意を持つ者 【音楽（男女）】10 人 次の a～c のすべての要件を満たす者 a 高校入学後、音楽コースに入り、3 年間音楽コースおよび音楽部員として練習・活動に励む決意を持つ者 b 次の①～③のいずれかの条件を満たす者 ① 吹奏楽部等に所属し、県大会、近畿大会、全国大会のいずれかに出場したことがある者 ② 中学校内外における合唱活動において意欲的に取り組んでいる者 ③ ピアノ、声楽、管打楽器の継続的な実技指導を習い事等で受けたことがある者 c 高校における、諸活動や勉強にも熱心に取り組む決意を持つ者			
			学校独自検査 面接(個人)			
		配点	学力検査	個人調査報告書・活動実績報告書	面接(個人)	
			250 点	500 点	250 点	
	中学校長推薦 (30 人)	推薦要件	本校への志望の意志が強く、コース制を持つ本校の特色をよく理解し、次の a～c のいずれかの要件を満たす者 a 基本的な生活習慣が身についており、学校のルールを正しく守れる者 b 高等学校卒業後、大学進学や就職への強い意志と、明確な目的意識を持ち、その目的の達成のために最大限努力できる者 c 中学校の部活動、生徒会活動、地域交流活動に意欲的に取り組み、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者			
			学校独自検査 面接(個人)			
		配点	学力検査	個人調査報告書	面接(個人)	
			250 点	500 点	250 点	
	一般型選抜 50% (60 人)	配点	学力検査		個人調査報告書	
			500 点		500 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津清陵高等学校（昼間部） 〈課程〉 定時制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	常に学び続ける意欲を持ち、進んで社会に貢献できる、心豊かな人間を育成する。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制である本校の特色を理解し、自ら積極的に学ぶ生徒 ・社会のルールをしっかり守り、社会的自立を目指す生徒 ・一人ひとりの個性を認め、他者と協働しようとする生徒 ・基礎・基本的な学習への意欲を有し、入学後も学び続ける努力をする生徒					
一般型選抜 100% (40 人)	配点	学力検査			個人調査報告書	
		600 点			400 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津清陵高等学校（通信部） 〈課程〉 通信制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	常に学び続ける意欲を持ち、進んで社会に貢献できる、心豊かな人間を育成する。						
	〈求める生徒像〉 ・通信制課程（単位制）の特色をよく理解し、自ら積極的に学ぶ意欲を持った生徒 ・就業、アルバイト、趣味などと両立させながら、高校卒業資格を修得したいと考えている生徒 ・社会のルールをしっかり守り、社会的自立を目指す生徒 ・一人ひとりの個性を認め合い、他者を思いやる生徒						
一般型選抜 100% (320 人)	配点	学力検査		個人調査報告書		面接（個人）	
		—		900 点		100 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
		—	—	—	—	—	
〈備考〉 ・学力検査は実施しない。 ・出願等の手続きは、Web 出願システムを活用せず、指定の書類を使用して出願する。 ・入学許可予定者発表は、本校通信部のウェブページにておこなう。							

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 大津清陵高等学校（夜間部） 〈課程〉 定時制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	常に学び続ける意欲を持ち、進んで社会に貢献できる、心豊かな人間を育成する。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制である本校の特色を理解し、自ら積極的に学ぶ生徒 ・社会のルールをしっかりと守り、社会的自立を目指す生徒 ・一人ひとりの個性を認め、他者と協働しようとする生徒 ・基礎・基本的な学習への意欲を有し、入学後も学び続ける努力をする生徒					
一般型選抜 100% (40人)	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語	
	1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 瀬田工業高等学校 〈課程〉 定時制 〈学科〉 工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育む教育を目指します。定時制の利点を活かし、教育の機会を保障します。また、社会に貢献できる資質・能力を育成するとともに、系統的なキャリア教育および職業教育を推進することで進路希望の実現を図り、滋賀の産業を支える人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ○工業に興味・関心を持ち、専門的な知識・技術の習得を目指す生徒 ○働きながら学ぶ意欲のある生徒					
一般型選抜 100% (40人)	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・一般型選抜において、定時制特例措置による出願者は、学力検査に代えて面接検査・作文検査を実施する。						

募集定員 40人

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉彦根工業高等学校

〈課程〉定時制

〈学科〉工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自分の未来に希望をもって、自分らしい生き方を見つける力を育てる。 ・自ら行動し、資格取得や技術習得に取り組む力を育てる。 ・挨拶をし、ルールやマナーを守り、思いやりを持って周囲と仲良くする力を育てる。 ・多様な人とコミュニケーションをとれる力を育てる。					
	〈求める生徒像〉 ・基礎から学び直したい生徒 ・人間関係等で自信が持てないことを克服したい生徒 ・働きながら、学ぶことに挑戦したい生徒 ・社会のルールやマナーを守って落ち着いた高校生活を送りたい生徒					
一般型選抜 100% (40人)	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500 点			500 点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・一般型選抜において、定時制特例措置による出願者は、学力検査に代えて面接検査・作文検査を実施する。						

募集定員 40人

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉長浜北星高等学校

〈課程〉定時制

〈学科〉総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	心豊かでたくましい人間となれるように、生徒自らが選んだ生き方を尊重し、社会に貢献できる生徒を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ・人間関係や就労経験を通し、自立することを目指す生徒。 ・人と人の関わり合いを大切にし、集団の中で思いやりの気持ちを持てる生徒。 ・就労している状況にあっても、学び直しや新たな知見を得るための学びを求める生徒。					
一般型選抜 100% (40人)	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・一般型選抜において、定時制特例措置による出願者は、学力検査に代えて面接検査・作文検査を実施する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 能登川高等学校（昼間部）

〈課程〉 定時制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、県内で唯一の多部制の総合単位制普通科高校で、 学ぶ目的やライフスタイルに対応した柔軟な教育活動を展開し、生徒の希望する進路を実現する学校です。目的・目標や向上心を持ち高校生活を前向きに送ろうとする生徒を求めます。						
	〈求める生徒像〉 ・単位制の教育システムを生かして自らが主体的に学びを進め、自身の目標に向かって努力することができる生徒 ・基本的な生活習慣が確立され、高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った生徒 ・ルールを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、様々な立場の人とともに学び、行動できる生徒						
学校独自型選抜 30% (12人)	中学校長推薦	推薦要件	次のaの要件を満たす者で、かつb、cのいずれかの要件を満たす者 a 基本的な生活習慣が確立されており、ルールを正しく守る者 b 高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った者 c グローバル社会の一員としての基礎的な資質・能力を身につけて地域や国際社会に貢献しようとする者				
		学校独自検査	面接(集団)・ディスカッション				
		配点	学力検査 500点	個人調査報告書 400点	面接(集団)・ディスカッション 100点		
一般型選抜 70% (28人)	配点	学力検査	600点			個人調査報告書 400点	
		学力検査 (教科ごとの配点割合)					
		国語	数学	社会	理科	英語	
		1	1	1	1	1	
〈備考〉 ・学校独自型選抜（中学校長推薦）の出願者が1名の場合は、個人面接とする。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 能登川高等学校（夜間部）

〈課程〉 定時制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、県内で唯一の多部制の総合単位制普通科高校で、 学ぶ目的やライフスタイルに対応した柔軟な教育活動を展開し、生徒の希望する進路を実現する学校です。目的・目標や向上心を持ち高校生活を前向きに送ろうとする生徒を求めます。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制の教育システムを生かして自らが主体的に学びを進め、自身の目標に向かって努力することができる生徒 ・基本的な生活習慣が確立され、高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った生徒 ・ルールを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、様々な立場の人とともに学び、行動できる生徒					
一般型選抜 100% (40人)	配点	学力検査			個人調査報告書	
		600点			400点	
学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜一覧表（全日制の課程）

学校名	学科	R9 年度定員 A	R9 募集枠 B	学校独自型選抜																	R9 募集枠 D	一般型選抜				
				自己推薦								中学校長推薦										募集人数 D	学力 検査 報告書	個人 調査 報告書	その他	備考
				募集人数 B	学力 検査 得点	活動 実績 調査 報告書	面接	作文	小論文	実技 検査	その他	備考	募集人数 C	学力 検査 得点	個人 調査 報告書	面接	作文	小論文	実技 検査	その他						
膳 所	普通科	320	5%	16	500	200				300	プレゼンテーション・質疑応答									95%	304	800	200			
	理数学科	40	10%	4	500	200				300	プレゼンテーション・質疑応答 数学と理科は傾斜1,2									90%	36	800	200		数学と理科は傾斜1,2	
堅 田	普通科	200	40%	10	300	500	200				スポーツ枠	70	300	500	200				特進、スポーツ枠	60%	120	500	500			
東 大 津	普通科	320	10%	32	500	400			100											90%	288	700	300			
北 大 津	普通科	120	40%	12	400	400	200				スポーツ枠	36	400	300	150	150				60%	72	500	500			
大 津	普通科	240	30%									72	500	450			50			70%	168	700	300			
	家庭学科	80	40%									32	500	450	50					60%	48	700	300			
石 山	普通科	320	10%	32	500	400			100											90%	288	700	300			
	音楽学科	40	100%	40	400	200				400															二次募集で実技あり	
瀬 田 工 業	工業学科	280	50%									140	200	700				100		50%	140	500	500			
大 津 商 業	商業学科	280	50%	35	200	650	150				スポーツ枠	105	300	600	100					50%	140	600	400			
彦 根 東	普通科	320	5%	16	300	500	200													95%	304	700	300			
河 瀬	普通科	80	10%	8	500	300	50	150												90%	72	700	300			
彦 根 工 業	工業学科	240	50%									120	200	600	100	100				50%	120	500	500			
彦 翔 西 根 館	総合学科	280	50%									140	100	700	100	100				50%	140	700	300			
長 浜 北	普通科	200	30%	18	500	350		150				42	500	350		150				70%	140	700	300			
虎 姫	普通科	200	20%									40	500	200	150	150			探究枠 国際バカロレア枠10名 (うち全国募集5名)	80%	160	700	300		全国募集は国際バ カロレア枠と一般 型選抜を合わせて 5名	
伊 香	普通科	80	40%									32	200	600	100	100				60%	48	500	500			
	森の探究科	40	50%									5	-	800	100	100			全国募集枠							
長 浜 農 業	農業学科	120	50%									60	250	630	120					50%	60	500	500			
長 浜 北 星	総合学科	200	30%	8	300	300	100			300	スポーツ枠	52	300	600	100					70%	140	600	400			
八 幡	普通科	280	40%	30	300	600	100				陸上競技(男女)10名 硬式野球(男)9名 サッカー(男)11名	82	300	600	100					60%	168	700	300			
八 幡 工 業	工業学科	200	50%									100	200	300	500					50%	100	600	400			
八 幡 商 業	商業学科	240	50%	58	200	600	200				スポーツ枠	62	200	600	200					50%	120	500	500			
草 津 東	普通科	320	10%	32	500	200			300		スポーツ枠									65%	208	700	300			
			25%	80	500	200				300	プレゼンテーション															
	体育学科	40	90%	36	200	200				600	スポーツ枠									10%	4	500	300	200	実技検査あり	
草 津	普通科	200	30%	40	250	600	150				スポーツ枠	20	250	600	150				スポーツ・文化枠	60%	120	600	400			
			10%									20	250	600	150											
玉 川	普通科	280	10%	28	500	300	200													90%	252	700	300			
湖 南 農 業	農業学科	160	30%									48	200	700	100					70%	112	500	500			
守 山	普通科	200	10%									20	500	400	100					90%	180	800	200			
守 山 北	普通科	120	30%	12	250	500	100			150	スポーツ枠	24	300	500	100	100			スポーツ枠	50%	60	500	500			
			20%									24	300	500	100	100										
	みらい共創科	40	50%									20	250	500	150	100				50%	20	500	500			
栗 東	普通科	120	50%	60	250	650	100													50%	60	500	500			
	美術学科	40	100%	40	500	350				150															二次募集で実技あり	

〔別表1〕

高等学校別入学者選抜一覧表（全日制の課程）

学校名	学科	R 9 年 度 定 員 A	R 9 募 集 枠	学校独自型選抜																		R 9 募 集 枠	一般型選抜													
				自己推薦										中学校長推薦									募集人数D	学力検査	個人調査報告書	その他	備考									
				募集人数B	学力検査得点	個人調査報告書	面接	作文	小論文	実技検査	その他	備考	募集人数C	学力検査得点	個人調査報告書	面接	作文	小論文	実技検査	その他	備考															
国 際 情 報	総合学科	240	50%																	120	300	600		100						50%	120	600	400			
水 口	普通科	200	40%	60	300	500	200													20	300	500	200							60%	120	600	400			
水 口 東	普通科	80	25%																	20	300	600	100							75%	60	700	300			
甲 南	総合学科	120	50%	12	450	500	50													48	450	500	50							50%	60	500	500			
信 楽	総合学科	80	50%																	5	-	600	200	200												
																					35	200	600	200								50%	40	500	500	
野 洲	普通科	160	50%	40	150	250	200				400								40	300	500	200								50%	80	500	500			
石 部	普通科	120	50%																60	300	500	200								50%	60	500	500			
甲 西	普通科	200	40%	5	300	600	100												75	300	600	100								60%	120	600	400			
高 島	普通科	120	20%																24	500	450	50								80%	96	700	300			
	文理探究学科	40	30%																12	500	450	50								70%	28	700	300			
安 曇 川	総合学科	120	30%																36	500	180	120	200							70%	84	600	400			
八 日 市	普通科	280	10%																28	500	400			100						90%	252	800	200			
能 登 川	普通科	120	20%	12	200	300	200	300											12	200	600	200									70%	84	600	400		
			10%																	12	200	600	200													
八 日 市 南	農業学科	120	50%	27	300	500	150				50								39	300	550	150								50%	60	500	500			
伊 吹	普通科	120	50%	20	300	500		200											40	200	400	400								50%	60	600	400		国語と社会は傾斜1.2	
米 原	普通科	200	30%																60	500	350			150						70%	140	800	200			
	理数学科	40	30%																12	500	350			150						70%	28	800	200		数学と理科は傾斜1.2	
日 野	総合学科	120	30%	14	200	600	200												22	200	600	200								50%	60	500	500			
			20%																	24	200	600	200													
愛 知	普通科	120	50%	30	250	500	250												30	250	500	250								50%	60	500	500			

高等学校別入学者選抜一覧表（定時制の課程、通信制の課程）

学校名	学科	R 9 年 度 定 員 A	学校独自型選抜																R 9 募 集 枠	一般型選抜							
			R 9 募 集 枠 募 集 人 数 B	自己推薦								募 集 人 数 C	中学校長推薦								募 集 人 数 D	学力 検査	個人 調査 報告 書	その他	備考		
				学力 検査 得点	活動 実績 報告 書	個人 調査 報告 書	面接	作文	小論文	実技 検査	その他		備考	学力 検査 得点	個人 調査 報告 書	面接	作文	小論文		実技 検査						その他	備考
大津清陵・昼間	普通科	40																			100%	40	600	400			
大津清陵・通信	普通科	320																			100%	320	—	900	100	面接あり	
大津清陵・夜間	普通科	40																			100%	40	500	500			
瀬田工業・夜間	工業学科	40																			100%	40	500	500		定時制課程特例措置あり	
彦根工業・夜間	工業学科	40																			100%	40	500	500		定時制課程特例措置あり	
長浜北星・夜間	総合学科	40																			100%	40	500	500		定時制課程特例措置あり	
能登川・昼間	普通科	40	30%										12	500	400					100	集団面接・ ディスカッション	70%	28	600	400		
能登川・夜間	普通科	40																			100%	40	600	400			

学校独自型選抜における自己推薦の出願要件 および 中学校長推薦の推薦要件（概要一覧表）

*この一覧表は、出願要件・推薦要件（●は必須条件、○はいずれかの条件）のめやすです。詳細は、高等学校別入学者選抜概要の各ページを確認してください。
*資格や体育活動、文化活動、生徒会活動等の実績においては、その証明できるものの写しの提出を求めることがあります。

学校名	学科名	学校独自型選抜の別	中学校等での実績等								高校入学後の意欲			※の条件
			評定条件 3年間 の9教科 評定合計	3年生 の9教科 評定合計	資格条件 その他	体育活動実績	文化活動実績	生徒会活動等実績	リーダー経験 (生徒会長・部長等)	その他	学業に関する意欲	部活動に関する意欲	その他の意欲	
膳所	普通科	自己推薦		● 40以上		○	○	○		○	●			
	理数学科	自己推薦		● 40以上		○				○	●			
堅田	普通科	自己推薦			●※	●○					●	●		※ 1～3年生のいずれかの学年における9教科の評定合計が23以上
		中学校長推薦				○					●	○		※ ソフトテニス(男女)、バレーボール(男)、サッカー(男)、剣道(男女)、ウエイトリフティング(男女)、野球(男)
東大津	普通科	自己推薦		● 38以上		○	○	○		○	●	○	○	
北大津	普通科	自己推薦				●					●	●		※ 野球(男)、ソフトボール(女)、サッカー(男)、陸上競技(男女)、バレーボール(女)
		中学校長推薦									●	●	○	
大津	普通科	中学校長推薦	● 102以上			○	○	○			●		●	
	家庭学科	中学校長推薦			●※	○	○	○			●		●	※ 3年間の「技術・家庭」の評定合計が11以上
石山	普通科	自己推薦		● 38以上		○	○	○		○	●			
	音楽学科	自己推薦									●		●	
瀬田工業	工業学科	中学校長推薦			●※	○	○	○			●	○	●	※ 3年生の9教科評定合計が機械科は23以上、電気科は23以上、化学工業科は21以上
大津商業	商業学科	自己推薦			●※2	●					●	●		※1 アーチERY(男女)、スポーツ拳法(男女)、ソフトボール(女)、野球(男)、陸上競技(男女) ※2 1、2年生の2年間分の9教科評定合計が54以上、または3年生の9教科評定合計が27以上
		中学校長推薦	○ 81以上			○					●	●	●	
彦根東	普通科	自己推薦		● 36以上							●		●	
河瀬	普通科	自己推薦		● 36以上							●		●	
彦根工業	工業学科	中学校長推薦				○	○	○			●	○	●	
彦根翔西館	総合学科	中学校長推薦				○	○				●	○	○	
長浜北	普通科	自己推薦				○	○	○		○	●		○	
		中学校長推薦									●		●	
虎姫	普通科	中学校長推薦		● 38以上							●		●	
		中学校長推薦		● 38以上	○※	○					●		●	※ 3年生の「英語」の評定が5
伊香	普通科	中学校長推薦				○	○	○			●	○		
	森の探究科	中学校長推薦				○	○	○			●		●	
		中学校長推薦				○	○	○			●		●	
長浜農業	農業学科	中学校長推薦						○			●		●	
長浜北星	総合学科	自己推薦				●					●	●		※ 水球(男)、相撲(男女)
		中学校長推薦				○	○	○			●	○	○	
八幡	普通科	自己推薦	● 82以上			●					●	●		※ 陸上競技(男女)、硬式野球(男)、サッカー(男)
		中学校長推薦	● 90以上			○	○	○			●		○	
八幡工業	工業学科	中学校長推薦				○	○	○			●	○	●	
八幡商業	商業学科	自己推薦		● 27以上		●					●	●		※ 硬式野球(男)、サッカー(男女)、バレーボール(女)、剣道(男女)、バスケットボール(女)、陸上競技(男女)、ソフトボール(女)、ボート(男女)
		中学校長推薦		● 30以上		○	○	○			●	○	○	
草津東	普通科	自己推薦A		● 32以上		●○					●	●		
		自己推薦B		● 36以上		○	○		○	○	●	○		
	体育学科	自己推薦	● 81以上			●○					●	●	●	
草津	普通科	自己推薦	○ 75以上	○ 25以上		●					●	●		※ 野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(女)
		中学校長推薦A	○ 75以上	○ 25以上		○	○				●	●		
		中学校長推薦B	○ 90以上	○ 30以上							●		●	
玉川	普通科	自己推薦	● 90以上			○	○	○			●	○	○	

学校独自型選抜における自己推薦の出願要件 および 中学校長推薦の推薦要件（概要一覧表）

*この一覧表は、出願要件・推薦要件（●は必須条件、○はいずれかの条件）のめやすです。詳細は、高等学校別入学者選抜概要の各ページを確認してください。
*資格や体育活動、文化活動、生徒会活動等の実績においては、その証明できるものの写しの提出を求めることがあります。

学校名	学科名	学校独自型選抜の別		中学校等での実績等										高校入学後の意欲			※の条件
				評定条件	資格条件	体育活動実績	文化活動実績	生徒会活動等実績	リーダー経験 (生徒会長・部長等)	その他	学業に関する意欲	部活動に関する意欲	その他の意欲				
														3年間の9教科 評定合計	3年生の9教科 評定合計	その他	
湖南農業	農業学科	中学校長推薦						○	○	○			●		●		
守山	普通科	中学校長推薦			● 40以上								●	●	●		
守山北	普通科	自己推薦	スポーツ※					●					●	●		※ サッカー(男)、硬式野球(男)	
		中学校長推薦A	スポーツ※					●				●	●	●		※ サッカー(男)、野球(男)、バレーボール(女)、陸上競技(男女)	
		中学校長推薦B										●	○	○			
	みらい共創科	中学校長推薦										●	○	○			
栗東	普通科	自己推薦					○	○	○				●		○		
	美術学科	自己推薦					○		○				●		○		
国際情報	総合学科	中学校長推薦					○	○	○			○	●		○		
水口	普通科	自己推薦	スポーツ※	● 73以上				●					●	●		※ 弓道(男女)、剣道(男女)、ライフル射撃(男女)、陸上競技(男女)、硬式野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男)、ソフトテニス(女)、ソフトボール(女)、バレーボール(女)	
		中学校長推薦											●		●		
水口東	普通科	中学校長推薦			● 36以上			○	○			○	●	○	○		
甲南	総合学科	自己推薦	スポーツ・地域貢献活動					○	○				●	●	●		
		中学校長推薦						○	○				●	○	○		
信楽	総合学科	中学校長推薦	全国募集		● 20以上	● ※							●		●	※ 3年生の「美術」の評定が3以上	
		中学校長推薦						○	○				●	○	○		
野洲	普通科	自己推薦	スポーツ※					○					●	●		※ サッカー(男)、硬式野球(男)、ライフル射撃(男女)	
		中学校長推薦						○	○	○			●		○		
石部	普通科	中学校長推薦						○	○				●		○		
甲西	普通科	自己推薦	スポーツ・文化※	● 78以上				○	○				●	○		※ 硬式野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(男女)、卓球(男女)、ソフトテニス(男女)、吹奏楽(男女)	
		中学校長推薦						○	○				●	○	○		
高島	普通科	中学校長推薦					○	○	○	○			●	○			
	文理探究学科	中学校長推薦				● ※							●	○	○	※ 3年生の9教科評定合計が35以上、または3年生の「国語、数学、社会、理科、英語」の評定合計が17以上	
安曇川	総合学科	中学校長推薦						○	○	○			●	○	○		
八日市	普通科	中学校長推薦			● 37以上			○	○			○	●	●			
能登川	普通科	自己推薦	スポーツ※					●					●	●		※ 硬式野球(男)、バドミントン(男女)、柔道(男女)、ボクシング(男女)	
		中学校長推薦A	スポーツ※										●	●		※ 硬式野球(男)、バドミントン(男女)、柔道(男女)、ボクシング(男女)	
		中学校長推薦B			● 30以上								●		●		
八日市南	農業学科	自己推薦	スポーツ※	● 65以上				●					●	●	●	※ カヌー(男女)、硬式野球(男)	
		中学校長推薦						○	○	○			●		●		
伊吹	普通科	自己推薦			● 27以上								●		●		
		中学校長推薦	スポーツ※					●					●	●		※ サッカー(男)、ホッケー(男女)、野球(男)、バレーボール(男)、バスケットボール(女)	
米原	普通科	中学校長推薦			● 37以上			○					●		●		
	理数学科	中学校長推薦			● 37以上			○					●		●		
日野	総合学科	自己推薦	スポーツ※		● 20以上			●					●	●		※ レスリング(男女)、硬式野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男女)	
		中学校長推薦A	スポーツ・文化					○	○				●	●			
		中学校長推薦B											●		●		
愛知	普通科	自己推薦	スポーツ※					●					●	●		※ 硬式野球(男)、剣道(男女)	
		自己推薦	文化※						●				●	●		※ 音楽(男女)	
		中学校長推薦						○	○	○			●		○		
能登川(昼間)	普通科	中学校長推薦											●		●		

令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜実施要領（フローチャート）

〔全日制の課程および定時制の課程〕

第1 一次募集

〔1〕出願準備（お試し出願での手続きを含む）

令和8年11月16日(月)～

中学校等

【担任が行う手続】

- ・ 志願者基本情報一括登録（Excelアップロード）
- ・ 志願者基本情報登録用二次元コード配付

志願者

【志願者が行う手続】

- ・ 志願者基本情報登録（確認、追加、入力）
- ・ 各種資料（出願必要書類）の準備
（※選抜要項25ページ参照）

【該当の志願者が準備する出願必要書類】

（これらの書類は、必要な志願者のみ準備する）

- ・ 活動実績報告書 [1号]
- ・ 活動の内容等を証明するもの
- ・ 住民票記載事項証明書
（特別出願許可書を提出する者は不要）
- ・ 特別出願許可書 [特出3号]
- ・ 雇用（予定）証明書 [5号]
- ・ 定時制課程特例措置申請書 [6号]

中学校等

【担任が行う手続】

- ・ 志願者基本情報確認
- ・ 各種資料（出願必要書類）の確認
- ・ 個人調査報告書データの準備・確認

【担任が準備する出願必要書類】

- ・ 個人調査報告書のデータ
- ・ 推薦書 [2号]（必要な志願者のみ）
- ・ 副申書 [3号]（必要な志願者のみ）

【該当の志願者が準備し、 中学校等が確認する出願必要書類】

（これらの書類は、必要な志願者のみ準備する）

- ・ 活動実績報告書 [1号]
- ・ 活動の内容等を証明するもの
- ・ 住民票記載事項証明書
（特別出願許可書を提出する者は不要）
- ・ 特別出願許可書 [特出3号]
- ・ 雇用（予定）証明書 [5号]
- ・ 定時制課程特例措置申請書 [6号]

〔2〕一次募集出願 ※書類の提出は、Web 出願システムへのアップロードによる。

令和9年1月28日(木)9:00～令和9年2月9日(火)12:00

志願者

【志願者が行う手続】

- ・ 出願情報登録（出願情報の入力）
- ・ 出願必要書類の提出
（※選抜要項25ページ参照）

【該当の志願者がシステムにアップロードする 出願必要書類】

（これらの書類は、必要な志願者のみ提出する）

- ・ 活動実績報告書 [1号]
- ・ 活動の内容等を証明するもの
- ・ 住民票記載事項証明書
（特別出願許可書を提出する者は不要）
- ・ 特別出願許可書 [特出3号]
- ・ 雇用（予定）証明書 [5号]
- ・ 定時制課程特例措置申請書 [6号]

中学校等	【担任が行う手続】 ・ 個人調査報告書データの提出（Excelアップロード） ・ 出願必要書類の確認および提出 【中学校長が行う手続】 ・ 出願情報の確認および承認（高校への提出） ※不備がある出願については差戻しを行う	【担任がシステムにアップロードする出願必要書類】 ・ 個人調査報告書のデータ ・ 推薦書 [2号]（必要な志願者のみ） ・ 副申書 [3号]（必要な志願者のみ） 【該当の志願者が準備し、中学校等が確認またはシステムにアップロードする出願必要書類】 （これらの書類は、必要な志願者のみ提出する） ・ 活動実績報告書 [1号] ・ 活動の内容等を証明するもの ・ 住民票記載事項証明書（特別出願許可書を提出する者は不要） ・ 特別出願許可書 [特出3号] ・ 雇用(予定)証明書 [5号] ・ 定時制課程特例措置申請書[6号]
	出願先 高等学校 ・ 提出された出願情報、個人調査報告書および出願必要書類の確認 ※不備がある出願については差戻しを行う（副申書に係る不備については、差戻しを行わず、メールでの対応とする） ・ 出願情報受理	

〔3〕一次募集出願変更

令和9年2月10日(水)9:00～令和9年2月17日(水)12:00

志願者	【志願者が行う手続】 （出願変更を希望する志願者のみ） ・ 担任と相談（システム外） ・ 出願変更許可申請 ・ 出願変更情報登録（新たな出願情報の入力） ・ 出願必要書類の変更・提出	【該当の志願者がシステムにアップロードする出願必要書類】 （これらの書類は、必要な志願者のみ提出する） ・ 活動実績報告書 [1号] ・ 活動の内容等を証明するもの ・ 住民票記載事項証明書（特別出願許可書を提出する者は不要） ・ 特別出願許可書 [特出3号] ・ 雇用(予定)証明書 [5号] ・ 定時制課程特例措置申請書[6号]
	中学校等 【担任が行う手続】 ・ 出願変更許可 ・ 出願必要書類の確認および提出 【中学校長が行う手続】 ・ 出願変更情報の確認および承認（高校への提出） ※不備がある出願については差戻しを行う	【担任がシステムにアップロードする出願必要書類】 ・ 副申書 [3号]（必要な志願者のみ） 【該当の志願者が準備し、中学校等が確認またはシステムにアップロードする出願必要書類】 （これらの書類は、必要な志願者のみ準備する） ・ 活動実績報告書 [1号] ・ 活動の内容等を証明するもの ・ 住民票記載事項証明書（特別出願許可書を提出する者は不要） ・ 特別出願許可書 [特出3号] ・ 雇用(予定)証明書 [5号] ・ 定時制課程特例措置申請書[6号]
出願先 高等学校 ・ 提出された出願変更情報、出願必要書類の確認 ※不備がある出願については差戻しを行う（副申書に係る不備については、差戻しを行わず、メールでの対応とする） ・ 出願変更情報受理		

〔4〕入学検査手数料納付

令和9年2月17日(水)13:00～令和9年2月22日(月)12:00

志願者	【志願者が行う手続】 ・入学検査手数料の納付（一度納付された手数料の返還は行われず。） - 全日制 出願する選抜が一つの場合は、2,200円、二つの場合は、4,400円が必要 - 定時制 出願する選抜が一つの場合は、950円、二つの場合は、1,900円が必要 - 納付方法(クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済)
中学校等	【担任が行う手続】 ・入学検査手数料納付状況の確認（随時確認）、未納付の志願者への指導
出願先 高等学校	【入試担当が行う手続】 ・入学検査手数料納付リストを出力して納付状況を確認

〔5〕受検番号付与・受検票交付準備

令和9年2月24日(水)

出願先 高等学校	【入試担当が行う手続】 ・受検番号付与（自動採番および個別修正）、受検票交付準備 【高等学校管理職】 ・受検票注意事項掲載URL登録 ・受検票交付準備完了処理
-------------	--

〔6〕受検票の印刷

令和9年2月25日(木)9:00～令和9年3月2日(火)

志願者	【志願者が行う手続】 ・受検票の印刷・確認 ・担任と確認	いずれかで対応
中学校等	【担任が行う手続】 ・クラスごとにまとめて印刷 → 志願者に配付	

令和9年3月2日(火)[検査前日]までに

出願先 高等学校	【入試担当が行う手続】 ・出願情報リスト等出力、校内資料作成
-------------	---

〔7〕検査当日

令和9年3月3日(水)および4日(木)

志願者	・3月3日(水)学力検査受検 ・3月4日(木)学校独自検査受検（一般型選抜の実技検査も同日に実施）
出願先 高等学校	【入試担当が行う手続】 ・出欠入力 【高等学校管理職】 ・出欠入力完了処理

〔8〕入学許可予定者発表

令和9年3月11日(木)までに

出願先 高等学校	【入試担当が行う手続】 ・合否入力 【高等学校管理職】 ・合格発表通知準備完了処理
-------------	---



令和9年3月11日(木)9:00～

志願者

【志願者が行う手続】

- ・ Web出願システム上で合否結果を確認

中学校等

【担任および管理職】

- ・ Web出願システム上でクラスごとに合否結果の確認

第2 二次募集 ※一次募集で募集定員に満たない場合のみ実施

〔1〕二次募集出願

令和9年3月12日(金)9:00～令和9年3月15日(月)12:00

志願者

【志願者が行う手続】

- ・ 出願情報登録（出願情報の入力）
- ・ 出願必要書類の提出

【該当の志願者がシステムにアップロードする

出願必要書類】

（これらの書類は、必要な志願者のみ提出する）

- ・ 住民票記載事項証明書
（特別出願許可書を提出する者は不要）
- ・ 特別出願許可書 [特出3号]
- ・ 雇用(予定)証明書 [5号]

中学校等

【担任が行う手続】

- ・ 出願必要書類の確認および提出

【中学校長が行う手続】

- ・ 出願情報の確認および承認
（高校への提出）

【担任が提出する出願必要書類】

- ・ 個人調査報告書のデータ
- ・ 一次募集受検報告書
- ・ 副申書 [3号]（必要な志願者のみ）

【該当の志願者が準備し、中学校等が確認または
システムにアップロードする出願必要書類

（これらの書類は、必要な志願者のみ準備する）

- ・ 住民票記載事項証明書
（特別出願許可書を提出する者は不要）
- ・ 特別出願許可書 [特出3号]
- ・ 雇用(予定)証明書 [5号]

出願先
高等学校

- ・ 提出された出願情報、出願必要書類の確認
※不備がある出願については差戻しを行う（副申書に係る不備については、差戻しを行わず、メールでの対応とする）
- ・ 出願情報受理

〔2〕入学検査手数料納付

令和9年3月15日(月)13:00～令和9年3月16日(火)12:00

志願者

【志願者が行う手続】

- ・ 入学検査手数料の納付（一度納付された手数料の返還は行われなし。）
全日制 2,200円、定時制 950円
納付方法(クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済)

中学校等

【担任が行う手続】

- ・ 入学検査手数料納付状況の確認（随時確認）、未納付の志願者への指導

出願先
高等学校

【入試担当が行う手続】

- ・ 入学検査手数料納付リストを出力して納付状況を確認

〔3〕受検番号付与・受検票交付準備

令和9年3月16日(火)13:00～15:00

出願先
高等学校

【入試担当が行う手続】

- ・受検番号付与（自動採番および個別修正）、受検票交付準備

【高等学校管理職】

- ・受検票注意事項掲載URL登録
- ・受検票交付準備完了処理

〔4〕受検票の印刷

令和9年3月16日(火)15:00～令和9年3月17日(水)12:00

志願者

【志願者が行う手続】

- ・受検票の印刷・確認
- ・担任と確認

いずれかで対応

中学校等

【担任が行う手続】

- ・クラスごとにまとめて印刷 → 志願者に配付

令和9年3月16日(火) [検査前日]までに

出願先
高等学校

【入試担当が行う手続】

- ・出願情報リスト等出力、校内資料作成

〔5〕検査当日

令和9年3月17日(水)14:00～

志願者

- ・二次募集検査 面接、作文、（実技検査）

出願先
高等学校

【入試担当が行う手続】

- ・出欠入力

【高等学校管理職】

- ・出欠入力完了処理

〔6〕入学許可予定者発表

令和9年3月19日(金)までに

出願先
高等学校

【入試担当が行う手続】

- ・合否入力

【高等学校管理職】

- ・合格発表通知準備完了処理

令和9年3月19日(金)9:00～

志願者

【志願者が行う手続】

- ・Web出願システム上で合否結果を確認

中学校等

【担任および管理職】

- ・Web出願システム上でクラスごとに合否結果の確認

出願手続 令和9年3月5日(金)9:00～令和9年3月9日(火)16:00 (土曜日を除く、日曜日を含む)

志願者

【志願者全員】

- ・入学願書 [通信1号]
- ・面接票 [通信2号]に写真を貼付

【該当者のみ】

- ・住民票記載事項証明書 (特別出願許可書を提出する者は不要)
- ・特別出願許可書の写し [特出3号]
- ・雇用(予定)証明書の写し [5号] (特別事情による出願許可申請時に提出したもの)

中学校長

【志願者全員】

- ・個人調査報告書 [4号の1]または[4号の2]

【該当者のみ】

- ・副申書 [3号]

厳封したもの

志願者から提出された書類

- ・入学願書
- ・面接票 (割印は不要)
- ・住民票記載事項証明書、特別出願許可書の写し、雇用(予定)証明書の写し (該当者のみ)

志願者が持参

3月5日(金)9:00～3月9日(火)16:00
(土曜日を除く、日曜日を含む)

大津清陵
高等学校長

受付番号を志願者に通知し、同日に面接を実施する。

〔通信制の課程〕（単位制）

二次募集

※一次募集で募集定員に満たない場合のみ実施

出願手続 令和9年3月17日(水)13:00～令和9年3月19日(金)16:00

志願者

【志願者全員】

- ・入学願書 [通信1号]
- ・面接票 [通信2号]に写真を貼付

【該当者のみ】

- ・住民票記載事項証明書（特別出願許可書を提出する者は不要）
- ・特別出願許可書の写し [特出3号]
- ・雇用(予定)証明書の写し [5号]（特別事情による出願許可申請時に提出したもの）

中学校長

【志願者全員】

- ・個人調査報告書 [4号の1]または[4号の2]

【該当者のみ】

- ・副申書 [3号]

厳封したもの

志願者から提出された書類

- ・入学願書
- ・面接票（割印は不要）
- ・住民票記載事項証明書、特別出願許可書の写し、雇用(予定)証明書の写し（該当者のみ）

志願者が持参

3月17日(水)13:00～3月19日(金)16:00

大津清陵
高等学校長

受付番号を志願者に通知し、同日に面接を実施する。

[全国募集] (信楽高等学校・伊香高等学校)

出願手続 令和9年1月22日(金)～令和9年1月25日(月) (土曜日、日曜日を除く)

志願者

【志願者全員】

- ・全国募集入学願書 [全国1号]
- ・全国募集入学願書・貼付用紙 [全国1号・貼付用紙]
「滋賀県コンビニ決済システム」で納付した手数料(全日制2,200円)分のレシートを貼付
- ・全国募集受検票 [全国2号]
- ・特別出願許可書の写し [特出3号]

(中学校長へ提出)

中学校長

【志願者全員】

- ・全国募集推薦書 [全国3号]
- ・全国募集出願者一覧表 [全国4号] (2通)
- ・個人調査報告書 [4号の1]

【該当者のみ】

- ・副申書 [3号]

志願者から提出された書類

【志願者全員】

- ・全国募集入学願書 [全国1号]
- ・全国募集入学願書・貼付用紙 [全国1号・貼付用紙]
「滋賀県コンビニ決済システム」で納付した手数料(全日制2,200円)分のレシートを貼付
- ・全国募集受検票 [全国2号]
- ・特別出願許可書の写し [特出3号]

(出願先高等学校長へ提出)
(書類を発送する場合、相当額の切手を貼った返信用封筒を同封し、出願先高等学校長宛て電話で報告)

高等学校長

- ・全国募集受検票 [全国2号]
- ・全国募集出願者一覧表 [全国4号] (1通)

(全国募集出願者一覧表および受検票に受検番号を記入した後、全国募集出願者一覧表1通に証明印を押し、中学校長へ交付)

中学校長

- ・全国募集受検票 [全国2号]

(志願者へ交付)

なお、高等学校長は2月4日(木)に全国募集入学許可予定者通知書[全国5号]および全国募集結果の通知書[全国6号]を中学校長へ交付し、中学校長は全国募集入学許可予定者通知書[全国5号]を全国募集における入学許可予定者となった出願者へ交付し、全国募集入学許可予定を通知する。

令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜に係る出願書類作成および出願事務の手引

ここに示されている出願事務の手引きは、用紙による出願を行う大津清陵高等学校（通信制の課程）および全国募集（信楽高等学校・伊香高等学校）について説明したものです。

【一般事項について】

- (1) 使用する漢字は楷書、数字は算用数字、かなはひらがなとし、黒色のボールペン等（消せるボールペンは不可）を用いて記入すること。
- (2) ※印の欄は、すべて高等学校において記入し、志願者または中学校等においては記入しないこと。
- (3) 県内の中学校が中学校番号および中学校名を記入する場合は、選抜要項に記載のものを使うこと。
- (4) 中学校および高等学校で作成する書類については、県教育委員会ウェブページに掲載してある様式を使用して作成すること（様式の変更は厳禁）。提出に際して必要な書類には公印を押すこと。

【通信制の課程 出願関係】

1 入学志願者および保護者等が準備する書類について

- (1) 「入学願書」（通信1号）の記入について
保護者等について、両親ともいない場合は、未成年後見人を記入すること。志願者と保護者等の現住所が同じ場合には、保護者等の現住所は「志願者に同じ」と略記すること。
- (2) 「面接票」（通信2号）の記入について
必ず写真を貼りつけること。
- (3) 「住民票記載事項証明書」について（必要な者のみ）
ア 市区町村長の発行する保護者等および志願者の住民票記載事項証明書とすること。
イ 志願者が申請し、志願者および保護者等について、令和8年12月1日以降において証明を受けること。
- (4) 「特別出願許可書」（特出3号）の写しについて（必要な者のみ）
県外にその保護者等が居住する志願者で、県立学校管理運営等規則第11条の3の規定に基づく県教育長の許可を受けたものは、中学校長に提出すること。
- (5) 「雇用（予定）証明書」（5号）の写しについて（必要な者のみ）
県内に勤務地を有する者、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、特別事情による出願許可申請時に提出した雇用（予定）証明書の写しを提出しなければならない。
- (6) 「海外帰国生徒等取扱措置願」について（必要な者のみ）
海外帰国生徒等のうち受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。
ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日(月)までの期間が6年以内とする。
イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。

2 中学校等で作成する書類について

- (1) 「個人調査報告書」（4号の1）または（4号の2）の記入について
ア 志願者氏名、ふりがな、生年月日、性別については生徒指導要録に記載されているとおりに記入すること。
イ 卒業見込みの者は、「個人調査報告書」（4号の1）を使用する。卒業者の場合は、「個人調査報告書」（4号の2）を使用し、卒業年および卒業後の進路状況を、就職、〇〇高等学校進学、家事従事などと記入すること。

ウ 各教科の学習の記録

(ア) 観点別学習状況については、1年、2年および卒業（修了）者の3年については、生徒指導要録の記載に基づき、A、B、Cの3段階で記入すること。

また、卒業（修了）見込者については、平成29年中学校学習指導要領に基づいた3観点評価とし、3年は第2学期までの観点別学習状況を総括してA、B、Cの3段階で記入すること。

(イ) 評定については、1年、2年および卒業（修了）者の3年については、生徒指導要録の記載に基づき、5段階で記入すること。

また、卒業（修了）見込者の3年については、必修教科は、第2学期までの観点別学習状況を総括した結果に基づき、目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）による評定（5段階）で記入すること。

(ウ) 必修教科の評定合計の欄には、9教科の評定の合計を記入すること。

エ 総合所見および特別活動等

生徒指導要録の特別活動の記録、行動の記録、その他参考となる諸事項等に基づき、生徒個人として優れている点や長所、3年間の中で特筆すべき活動や記録について総合的に記入すること。

(ア) 特別活動については、学級活動、生徒会活動、学校行事の活動の状況を記入すること。

(イ) 行動については、各教科、道徳、特別活動その他学校生活全体にわたって見られる行動の状況を記入すること。

(ウ) その他参考となる諸事項としては、生徒の特徴や特技、学校内外における表彰を受けた行為や活動、ボランティア活動、スポーツ活動および文化活動等の状況を記入すること。

オ 総合的な学習の時間の記録については、その活動内容と評価を簡潔に記入すること。

カ 中学校長の証明には、必ず職印を用いること。県内中学校については、学校所在地の記入は不要とする。

キ 中学校長は、出願にあたって、個人調査報告書を作成し出願先高等学校長に提出する必要があることを、あらかじめ保護者等に周知しておくこと。なお、個人調査報告書に記載された事項については、入学者選抜にのみ用いるものとする。

(2) 「副申書」（3号）の記入について（必要な者のみ）

出願に際して特に説明が必要な事項について、中学校等が作成した副申書を添付することができる。

【全国募集 出願関係】

1 入学志願者および保護者等が準備する書類について

(1) 「全国募集入学願書」（全国1号）の記入について

保護者等については、両親ともにない場合は未成年後見人を記入すること。志願者と保護者等の現住所が同じ場合には、保護者等の現住所は「志願者に同じ」と略記すること。

(2) 「全国募集受検票」（全国2号）の記入について

志願学科の欄には、志望する学科を○で囲むこと。

(3) 「特別出願許可書」（特出3号）の写しについて

県外にその保護者等が居住する志願者で、県立学校管理運営等規則第11条の3の規定に基づく県教育長の許可を受けたものは、中学校長に提出すること。

(4) 「海外帰国生徒等取扱措置願」について（必要な者のみ）

海外帰国生徒等のうち受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にする。海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。

ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日(月)までの期間が6年以内とする。

イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。

2 中学校等で作成する書類について

(1)「全国募集推薦書」(全国3号)

ア 中学校等は、学校独自型選抜の中学校長推薦に出願する者についての全国募集推薦書を作成すること。

イ Excelファイルの色付きのセルに直接入力またはプルダウンリストの選択により入力すること。

(2)「全国募集出願者一覧表」(全国4号)

ア 2通作成すること。

イ 各志願者について、提出する書類すべてに○をつけること。

(3)「個人調査報告書」(4号の1)の記入について

ア 志願者氏名、ふりがな、生年月日、性別については生徒指導要録に記載されているとおりに記入すること。

イ 各教科の学習の記録

(ア) 観点別学習状況については、1年、2年および卒業(修了)者の3年については、生徒指導要録の記載に基づき、A、B、Cの3段階で記入すること。

また、卒業(修了)見込者については、平成29年中学校学習指導要領に基づいた3観点評価とし、3年は第2学期までの観点別学習状況を総括してA、B、Cの3段階で記入すること。

(イ) 評定については、1年、2年および卒業(修了)者の3年については、生徒指導要録の記載に基づき、5段階で記入すること。

また、卒業(修了)見込者の3年については、必修教科は、第2学期までの観点別学習状況を総括した結果に基づき、目標に準拠した評価(いわゆる絶対評価)による評定(5段階)で記入すること。

(ウ) 必修教科の評定合計の欄には、9教科の評定の合計を記入すること。

ウ 総合所見および特別活動等

生徒指導要録の特別活動の記録、行動の記録、その他参考となる諸事項等に基づき、生徒個人として優れている点や長所、3年間の中で特筆すべき活動や記録について総合的に記入すること。

(ア) 特別活動については、学級活動、生徒会活動、学校行事の活動の状況を記入すること。

(イ) 行動については、各教科、道徳、特別活動その他学校生活全体にわたって見られる行動の状況を記入すること。

(ウ) その他参考となる諸事項としては、生徒の特徴や特技、学校内外における表彰を受けた行為や活動、ボランティア活動、スポーツ活動および文化活動等の状況を記入すること。

エ 総合的な学習の時間の記録については、その活動内容と評価を簡潔に記入すること。

オ 中学校長の証明には、必ず職印を用いること。県内中学校については、学校所在地の記入は不要とする。

カ 中学校長は、出願にあたって、個人調査報告書を作成し出願先高等学校長に提出する必要があることを、あらかじめ保護者等に周知しておくこと。なお、個人調査報告書に記載された事項については、入学者選抜にのみ用いるものとする。

(4)「副申書」(3号)の記入について(必要な者のみ)

出願に際して特に説明が必要な事項について、中学校等が作成した副申書を添付することができる。

【その他（出願に際して）】

- (1) 「住民票記載事項証明書」が必要な志願者で、父母ともにその証明書に記載がなく、かつ「特別出願」の対象とならない場合は、その事情を説明する中学校長の副申書を添付すること。
- (2) 「住民票記載事項証明書」が必要な志願者で、やむを得ない理由により、保護者等と志願者の住所が異なり、かつ「特別出願」の対象とならない場合は、保護者等と志願者の住所が異なる理由を説明する中学校長の副申書を添付すること。
- (3) 各書類を発送する場合には、必ず封筒に「出願関係」と朱書し、その方法は、「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずるもの（受付・配達記録が残りがかつ対面で受け渡しがされる方法）とする。
- (4) 出願者の中に受検を辞退する意思を示した者がいる場合には、中学校長は理由を付して出願先高等学校長に早急に電話で報告するとともに、文書でも届け出ること。

【県外からの志願者の「個人調査報告書」（４号の１、４号の２）に記載する学習の評定について】

- (1) １年、２年および卒業（修了）者の３年の評定については、生徒指導要録の記載事項をそのまま転記する。
- (2) 卒業（修了）見込者の３年の学習の記録については、本県内の出願者と同じく、第２学期までの観点別学習状況の結果に基づき、必修教科は目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）による評定（５段階）とする。

【中等教育学校前期課程からの提出書類について】

- (1) 中等教育学校前期課程からの志願者にかかるすべての書類について、「卒業見込」の字句を二重線で抹消し、「修了見込」と記入すること。

令和9年度滋賀県立高等学校特別事情による出願について

1 滋賀県立高等学校特別事情による出願手続

滋賀県立学校の管理運営等に関する規則（昭和32年滋賀県教育委員会規則第8号。以下「管理運営等規則」という。）では、保護者等が県内に居住するときは、その志願する高等学校に出願することができると規定されている。

したがって、原則として、出願日現在において、親権者または未成年後見人の住所（生活の本拠をいう。以下同じ。）が滋賀県内にない場合には、滋賀県教育委員会教育長の特別事情による出願許可を受けなければ出願することができない。

2 特別事情による出願許可が受けられる要件

（1）次の事項のいずれかに該当すること。

- ① 保護者等の住所が令和9年4月30日までに滋賀県内へ変更されることが明確である場合
- ② 隣接府県から志願する者が地形・交通等により、その府県内の高等学校に通学することが非常に困難な場合
- ③ 志願者が県内に勤務地を有し、または有する見込みであり、かつ、定時制または通信制の課程への入学を志願する場合
- ④ 全国募集に志願するなど、その他、滋賀県教育委員会がやむを得ない事情があると認める場合

（2）越境入学の意図がないこと。

（3）他の公立高等学校と併願していないこと。

3 入学の不許可または取消

管理運営等規則に反し、虚偽の申請によって許可を得て高等学校に出願し、または入学したことが判明した場合は、当該高等学校長は、その者の入学を許可せず、または入学の許可を取り消すことができる。

4 出願変更の場合の特別事情による出願

出願変更をすることにより、許可書の書き替えを必要とする場合は、速やかに手続きをする事。

5 申請書記載上の注意

- （1）使用する文字は楷書、数字は算用数字とし、黒色のボールペン等（消せるボールペンは不可）を用いて記入すること。
- （2）保護者等および志願者の住所は、住民票記載事項証明書に記載されているとおり記入すること。
- （3）保護者等および志願者の氏名は、住民票記載事項証明書に記載されている氏名をそれぞれ署名すること。
- （4）外国人の場合は、住民票記載事項証明書または在留カードに記載されているとおり氏名を署名し、居住地を記入すること。
- （5）志願の理由については、具体的に記入すること。

6 事前相談

下記の説明会もしくは個別相談のいずれかに参加すること。

(1) 説明会

① 場所

滋賀県庁東館7階大会議室（大津市京町四丁目1番1号 TEL 077-528-4571）

② 日時

令和8年11月2日(月)午後

(2) 個別相談

① 場所

滋賀県教育委員会事務局高校教育課（大津市京町四丁目1番1号 TEL 077-528-4571）

② 期間

令和8年11月4日(水)から令和8年12月4日(金)まで（ただし、土曜日、日曜日および祝日を除く午前9時から午後5時までとする。）

7 特別事情による出願許可申請の来庁受付

(1) 場所

滋賀県教育委員会事務局高校教育課（大津市京町四丁目1番1号 TEL 077-528-4571）

(2) 期間（土曜日、日曜日および祝日を除く午前9時から午後5時までとする。）

	一次募集出願の場合	出願変更の場合	二次募集出願の場合
全日制および 定時制	令和9年1月18日(月) ～令和9年1月29日(金)	令和9年2月10日(水) ～令和9年2月15日(月) 正午	令和9年3月11日(木) ～令和9年3月12日(金)
大津清陵高等学校 (通信制)	令和9年2月10日(水) ～令和9年3月9日(火) 正午		令和9年3月12日(金) ～令和9年3月19日(金) 正午

※一部の受付期間について、受付最終日は正午までの受付とします。

(3) 方法

別表の必要書類を上記(1)の場所に持参し、申請すること。内容を審査し、適正と認められた場合は、滋賀県立高等学校特別出願許可書（特出3号）を交付する。

8 その他

(1) 特別事情による出願許可の事例と必要書類については**別表**を参照すること。

(2) 申請用紙は、事前相談時に交付する。

(3) 出願日現在において、保護者等の住所が滋賀県内にあり、滋賀県外の公立高等学校に入学志願をする者は、事前に当該学校を設置する教育委員会に相談すること。

(4) 児童養護施設を通じて施設に入所している志願者等について当該施設の長や里親等が保護者となる場合、この手続は不要だが、中学校長により保護者が親権者以外の者となることについて副申書を作成し、出願書類に添えて提出すること。

別 表

特別事情による出願許可の事例	必 要 書 類
1 保護者等の勤務の都合、住宅の新築・購入等により、令和9年4月30日までに滋賀県内へ保護者等と志願者が転居する場合	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の住民票記載事項証明書または外国での居住証明書 4 転居事由を証明できる書類（勤務先の社宅への入居証明書(写)、家屋売買契約書(写)等） 5 誓約書
2 隣接府県から志願する者が地形、交通等により、その府県内の高等学校に通学することが非常に困難な場合	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の住民票記載事項証明書 4 居住地よりその府県内の高等学校へ通学することが困難な事情を証する中学校長の証明書（地形・交通・通学時間を比較検討した書面）
3 志願者が県内に勤務地を有し、または有する見込みであり、かつ、定時制または通信制の課程への入学を志願する場合	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の住民票記載事項証明書 4 雇用（予定）証明書
4 その他、滋賀県教育委員会がやむを得ない事情があると認める場合	
（1） 隣接府県に設置していない県内の高等学校の学科および科を他府県から出願しようとする場合 ただし、普通科への併願は認めない。	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の住民票記載事項証明書 4 出願する学科・科が当該府県に設置されていないことを証する書類
（2） 保護者等と志願者が海外に居住しており、志願者のみが帰国して出願する場合	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の外国での居住証明書 4 保護者等からの身元引受依頼書 5 身元引受人の身元引受承諾書 6 身元引受人の住民票の写し
（3） 全国募集枠によって他都道府県から出願しようとする場合	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の住民票記載事項証明書 4 保護者等からの身元引受依頼書 5 身元引受人の身元引受承諾書
（4） 上記の他、滋賀県教育委員会がやむを得ない事情があると認める場合	1 申請書（特出1号） 2 副申書（特出2号） 3 保護者等・志願者の住民票記載事項証明書 4 滋賀県教育委員会が指示する書類

滋賀県立学校の管理運営等に関する規則（抄）

昭和 32 年 11 月 15 日滋賀県教育委員会規則第 8 号

（出願）

第 11 条 中学校に入学を志願する者（以下「中学志願者」という。）は、その保護者等が県内に居住するときは、その志願する中学校に出願することができる。

2 高等学校に入学を志願する者（以下「高校志願者」という。）は、その保護者等が県内に居住するときは、その志願する高等学校に出願することができる。

（中学校への特別出願）

第 11 条の 2 県外にその保護者等が居住する中学志願者は、次のいずれかに該当する場合に限り、その志願する中学校に出願することができる。

- (1) その保護者等が県内に居住することが明らかに予定される場合
- (2) その他教育委員会がやむを得ない事情があると認める場合

2 前項の規定により中学校に出願しようとする者は、別記様式第 3 号による滋賀県立学校特別出願許可申請書に保護者等および中学志願者の住民票記載事項証明書を添えて、教育委員会の定める日までに教育委員会に申請し、その許可を受けなければならない。

（高等学校への特別出願）

第 11 条の 3 県外にその保護者等が居住する高校志願者は、次の各号のいずれかに該当する場合に限り、その志願する高等学校に出願することができる。

- (1) その保護者等が県内に居住することが明らかに予定される場合
- (2) 隣接府県に居住し、かつ、地形交通等によりその府県内の高等学校に通学することが甚だしく困難な場合
- (3) 県内に勤務地を有し、または有する見込みであり、かつ、定時制または通信制の課程への入学を志願する場合
- (4) その他教育委員会がやむを得ない事情があると認める場合

2 前条第 2 項の規定は、前項の規定により高等学校に出願しようとする者について準用する。

（中高一貫教育校の特例）

第 11 条の 5 県外にその保護者等が居住する高校志願者（第 11 条の 3 第 2 項の規定により準用される第 11 条の 2 第 2 項の許可を受けた者を除く。）であつて、滋賀県立学校の校舎、課程、部および学科等の設置等に関する規則（昭和 63 年滋賀県教育委員会規則第 5 号）第 2 条の表の左欄に掲げる中学校に在籍する者は、第 11 条第 2 項および第 11 条の 3 の規定にかかわらず、同表のそれぞれ当該右欄に掲げる高等学校に出願することができる。

（入学の不許可または取消し）

第 11 条の 6 中学志願者、高校志願者または特別支援学校志願者が前 5 条の規定に違反して出願した場合は、当該学校の校長は、その者の入学を許可せず、または取り消すことができる。

（入学者の選抜および選考の方法）

第 11 条の 7 中学校および高等学校の入学者の選抜方法ならびに特別支援学校の幼稚部および高等部の入学者の選考方法については、別に定める。

令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜 配慮申請実施要領

滋賀県立高等学校入学者選抜では、障害のある生徒や海外帰国生徒等、配慮が必要な者に対して、個々の状況に応じて検討・協議し、特別な配慮の実施可否および実施内容を決定します。具体的にどのような配慮を行うかについては、高等学校長が中学校等の校長（以下「中学校長」という。）からの申し出に基づき、障害の程度や当該生徒の在籍校での配慮の状況などを考慮し、県教育委員会が判断します。

1 これまでに実施した特別な配慮の主な例

	配慮内容
聴覚障害	特別検査場での受検、補聴器等の持込、座席の配慮 等
視覚障害	特別検査場での受検、座席の配慮、問題用紙等の拡大 等
学習障害等	特別検査場での受検、問題用紙等へのルビ振り、時間延長 等
その他	検査場への持込み（ハンカチ※ ¹ 、座布団、松葉杖、薬 等）
海外帰国生徒等※ ²	検査問題等へのルビ振り、時間延長、辞書の持込み

※¹ ハンカチまたはハンドタオル（無地のもの）、ティッシュ（カバーが無地のもの）は、検査当日の持ち物点検時に認められた場合、持ち込むことができます。ただし、手掌多汗症や花粉症等の受検者がハンカチやティッシュを持ち込むためには協議が必要です。

※² 海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、ア・イのいずれにも該当する者のことをいう。
 ア 帰国し、または渡日した日から令和9年2月1日（月）までの期間が6年以内
 イ 帰国または渡日時からさかのぼり海外在住期間が継続して1年以上

2 受検上の配慮を受ける際の確認事項

(1) 受検上の配慮を受ける場合は、本人・保護者等から中学校等へ相談することから始めます。

ア 中学校生活において日ごろから配慮を受けている生徒が入学者選抜を受検する場合は、できる限り早い段階で出願予定の高等学校と相談を進めてください。検査の2か月前から相談可としていますが、それ以前でも構いません。

例：個別の教育支援計画や指導計画に基づいて支援を受けている生徒、
 海外帰国生徒等に該当する生徒、病気や障害により配慮を受けている生徒 等

イ 一時的なけが（骨折による松葉杖の持込みと使用等）や病気（インフルエンザによる特別検査場での受検等）が出願後に判明した場合は、速やかに中学校長から出願先高等学校長へ報告・相談をお願いします。

(2) 英語「聞き取りテスト」実施時における聴覚障害のある受検者への配慮については、障害の程度により次のとおりとし、併用することもできます。

ア 座席の変更

イ 補聴器・ワイヤレス補聴援助システム（ロジャー）の持込みと使用

ウ 特別検査場でのCDプレーヤーの使用

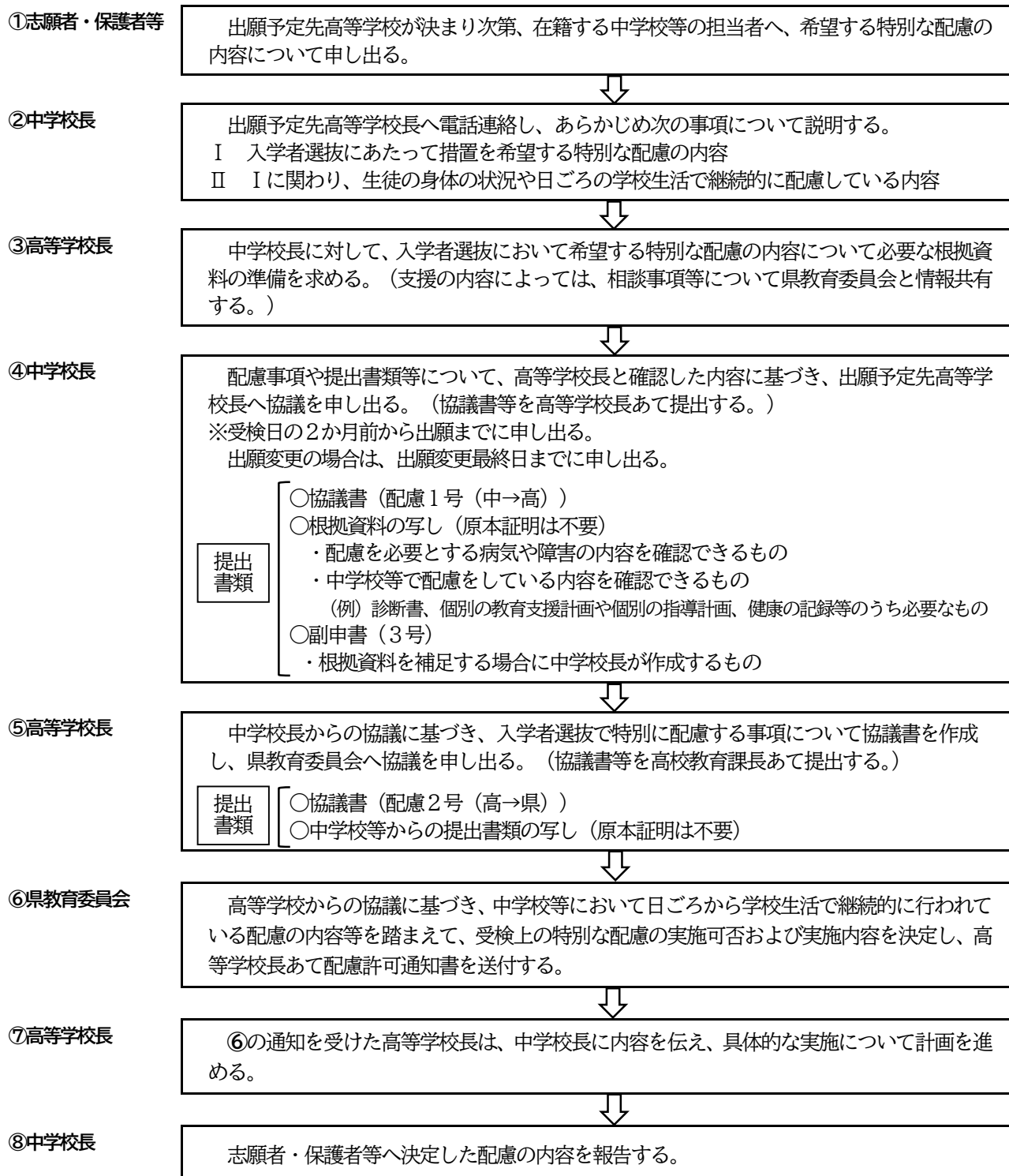
エ 特別検査場でのリップリーディング等（聞き取りテストの10分間の時間延長）

3 受検上の配慮を受ける流れ（下図の①～⑧は、次ページの①～⑧に対応しています。）



(1) あらかじめ特別な配慮を必要とする受検者の場合

- 身体障害や発達障害、病気等により、中学校等において日ごろの学校生活で継続的に配慮している場合
- けがや骨折などにより車椅子や松葉杖等を持ち込み使用する場合や特別検査場での受検を必要とする場合 等
(直前に判明した場合は、その時点で速やかに対応する。)



(2) 海外帰国生徒等で特別な配慮を必要とする受検者の場合

中学校等において日ごろの学校生活で継続的に配慮している場合、受検時に受けることができる配慮は以下のとおりです。

- I 学力検査等の問題用紙および解答用紙の漢字へのルビ振り。
 - II 中学校等で検査時間の延長を配慮している場合、学力検査等の時間の延長。
 - III 学力検査等において、外国語と日本語の相互の翻訳を目的とした辞書2冊までの持込み。
(日ボ辞書とボ日辞書など。辞書を持込む場合、学力検査等の時間の10分間延長。)
- ※この場合、中学校長は、本人・保護者等に持込む辞書の種類、国語の学力検査への辞書持込み希望の有無を確認し、別紙様式の「辞書持込み申請書」を添えて協議するものとする。
- ※国語の学力検査に辞書を持込む場合、漢字の出題(読み、書き取り)は配点外とし、漢字の出題を除いて100点満点となるように県教育委員会で配点を調整する。また、英語の辞書は、英語以外の学力検査での持込みを申請できるものとする。

①志願者・保護者等

出願予定先高等学校が決まり次第、在籍する中学校等の担当者へ、希望する特別な配慮の内容について申し出る。(海外帰国生徒等取扱措置願等を中学校長あて提出する。)

提出
書類

- 海外帰国生徒等取扱措置願(配慮3号)
- 辞書持込み申請書(配慮4号)※希望者のみ

②中学校長

出願予定先高等学校長へ電話連絡し、あらかじめ次の事項について説明する。

- I 入学者選抜にあたって措置を希望する特別な配慮の内容
- II Iに関わり、生徒の日本語の状況や日ごろの学校生活で継続的に配慮している内容

③高等学校長

中学校長に対して、入学者選抜において希望する特別な配慮の内容について確認するとともに必要な根拠資料の準備を求める。(支援の内容によっては、相談事項等について県教育委員会と情報を共有する。)

④中学校長

配慮事項や提出書類等について、高等学校長と確認した内容に基づき、出願予定先高等学校長へ協議を申し出る。(協議書等を高等学校長あて提出する。)

※受検日の2か月前から出願までに申し出る。

出願変更の場合は、出願変更最終日までに申し出る。

提出
書類

- 協議書(配慮1号(中→高))
- 海外帰国生徒等取扱措置願(配慮3号)
- 根拠資料の写し(原本証明は不要)
・学力検査等の時間の10分間延長が必要な場合、中学校等で配慮をしている内容を確認できるもの(例)個別的教育支援計画や個別の指導計画等のうち必要なもの
- 辞書持込み申請書(配慮4号)※希望者が提出した場合のみ

⑤高等学校長

中学校長からの協議に基づき、入学者選抜で特別に配慮する事項について協議書を作成し、県教育委員会へ協議を申し出る。(協議書等を高校教育課長あて提出する。)

提出
書類

- 協議書(配慮2号(高→県))
- 中学校等からの提出書類の写し(原本証明は不要)

⑥県教育委員会

高等学校からの協議に基づき、中学校等において日ごろから学校生活で継続的に行われている配慮の内容等を踏まえて、受検上の特別な配慮の実施可否および実施内容を決定し、高等学校長あて配慮許可通知書を送付する。

⑦高等学校長

⑥の通知を受けた高等学校長は、中学校長に内容を報告するとともに、具体的な実施について計画を進める。

⑧中学校長

志願者・保護者等へ決定した配慮の内容を報告する。

4-1 検査前日の対応について

- インフルエンザ等の感染症に罹患またはその疑いがある場合
- 月経随伴症状等により体調不良となった場合 等
- ※ 前日までにインフルエンザ等の罹患が判明している場合は、罹患が判明した時点で、高等学校長へ連絡するとともに、配慮申請（追検査、特別検査場での受検）を行うこと。

17時までの対応（17時以降は「4-2 検査当日の対応」とする）

(1) 特別検査場での受検を希望する場合

1 志願者・保護者等→中学校等

- 志願者・保護者等は、中学校等へ次のことを伝える。
 - ①受検番号、出願者氏名、出願先高等学校名
 - ②特別検査場での受検を希望する理由（診断された病名、体温、身体状況 等）
- 診断書がある場合は、中学校等へ提出する。

2 中学校長→高等学校長

- 中学校長は、高等学校長へ1で確認した内容を説明し特別検査場での受検について電話で協議する。

3 高等学校長→高校教育課→高等学校長

- 高等学校長は、高校教育課へ2で確認した内容を説明し、特別検査場での受検について、電話で協議する。
- 高校教育課は、高等学校長へ協議の可否を伝える。
 - 可の場合 書類の提出を求める。
 - 否の場合 否の理由を説明する。

4 高等学校長→中学校長

中学校等→志願者・保護者等

- 高等学校長は、中学校長へ協議の可否を伝える。
 - 可の場合 書類の提出を求める。当日の対応など必要事項を説明する。
 - 否の場合 否の理由を説明する。
- 中学校等は、志願者・保護者等へ協議の結果を伝える。

5 中学校長→高等学校長→高校教育課

- 中学校長は、「協議書、診断書の写し（原本証明不要）またはこれに代わる副申書」を高等学校長へ提出する。
- 高等学校長は、中学校長から提出された書類の写し（原本証明不要）に協議書を添えて、高校教育課へ提出する。
- 高校教育課は、配慮許可通知書を高等学校長へ送付する。

(2) 追検査を希望する場合

※診断書等が必要。電話での協議ののち、書類提出。

1 志願者・保護者等→中学校等

- 志願者・保護者等は、中学校等へ次のことを伝える。
 - ①受検番号、出願者氏名、出願先高等学校名
 - ②追検査を希望する理由（診断された病名、体温、身体状況 等）
- 次の書類を準備し、中学校等へ提出する。
 - 診断書、追検査受検願（書類は中学校等より）
 - ※病院未受診の場合は、速やかに受診し、医師の診断書を準備する。
 - ※診断書が準備できない場合は、体温や身体状況を中学校等へ説明する。

2 中学校長→高等学校長

- 中学校長は、高等学校長へ1で確認した内容を説明し、追検査での受検について電話で協議する。

3 高等学校長→高校教育課

- 高等学校長は、中学校長からの協議内容に基づき、電話にて高校教育課と協議する。
- 高校教育課は、協議の可否を伝える。
 - 可の場合 書類の提出を求める。
 - 否の場合 否の理由を説明する。

4 高等学校長→中学校長

中学校等→志願者・保護者等

- 高等学校長は、中学校長へ協議の可否を伝える。
 - 可の場合 書類の提出を求める。
 - 否の場合 否の理由を説明する。
- 中学校等は、志願者・保護者等へ協議の結果を伝える。

5 中学校長→高等学校長

- 中学校長は、「追検査受検願、診断書の写し（原本証明不要）」を高等学校長へ提出する。
 - 一般型選抜（学力検査）
 - 令和9年3月5日（金）原則午後3時まで
 - 学校独自型選抜（学校独自検査）
 - 令和9年3月5日（金）原則午後3時まで

6 高等学校長→高校教育課

- 高等学校長は、5で受理した書類の写し（原本証明不要）に協議書を添えて、高校教育課へ提出する。
- 高校教育課は、配慮許可通知書を高等学校長へ送付する。

4-2 検査当日の対応について

- 急な高熱やインフルエンザ等の感染症の症状またはその疑いがある場合
- 月経随伴症状等により体調不良となった場合
- 公共交通機関の事故等による遅れにより、検査に間に合わない場合 等
(原則として、遅れた時間等により、特別検査場での受検か、追検査での受検かを高等学校が判断する)

当日の対応

(1) 特別検査場での受検を希望する場合

1 志願者・保護者等→中学校等

○志願者・保護者等は、中学校等へ次のことを伝える。

- ①受検番号、出願者氏名、出願先高等学校名
- ②特別検査場での受検を希望する理由
(診断された病名、体温、身体状況 等)

2 中学校長→高等学校長→中学校長

- 中学校長は、高等学校長へ1で確認した内容を説明し、特別検査場での受検について電話で協議する。
- 高等学校長は、中学校長へ協議の可否を伝える。
可の場合 当日の対応など必要事項を説明する。
否の場合 否の理由を説明する。

3 中学校等→志願者・保護者等

○2の結果を志願者・保護者等へ報告する。

(2) 追検査を希望する場合

※診断書等が必要。電話での協議ののち、書類提出。

1 志願者・保護者等→中学校等

○志願者・保護者等は、中学校等へ次のことを伝える。

- ①受検番号、出願者氏名、出願先高等学校名
- ②追検査を希望する理由
(診断された病名、体温、身体状況 等)

○次の書類を準備し、中学校等へ提出する。

診断書、追検査受検願(書類は中学校等より)

※病院未受診の場合は、速やかに受診し、医師の診断書を準備する。

※診断書が準備できない場合は、体温や身体状況を中学校等へ説明する。

2 中学校長→高等学校長

○中学校長は、高等学校長へ1で確認した内容を説明し、追検査での受検について電話で協議する。

3 高等学校長→高校教育課

○高等学校長は、追検査での受検について電話にて高校教育課と協議する。

○高校教育課は、高等学校長へ協議の可否を伝える。

可の場合 書類の提出を求める。

否の場合 否の理由を説明する。

4 高等学校長→中学校長

中学校等→志願者・保護者等

○高等学校長は、中学校長へ協議の可否を伝える。

可の場合 書類の提出を求める。

否の場合 否の理由を説明する。

○中学校等は、志願者・保護者等へ協議の結果を伝える。

5 中学校長→高等学校長

○中学校長は、「追検査受検願、診断書の写し(原本証明不要)等」を高等学校長へ提出する。

一般型選抜(学力検査)

→ 令和9年3月5日(金) 原則午後3時まで

学校独自型選抜(学校独自型検査)

→ 令和9年3月5日(金) 原則午後3時まで

6 高等学校長→高校教育課

○高等学校長は、5で受理した書類の写し(原本証明不要)に協議書を添えて、高校教育課へ提出する。

○高校教育課は、配慮許可通知書を高等学校長へ送付する。

5-1 入学者選抜をおこなうにあたっての留意事項【高等学校用】

(1) 受検会場について

①通常の検査場以外に、以下の受検者の特別検査場を準備すること。ただし、AとBは可能な限り分けることが望ましいが、各校の状況によっては同じでも可とする。

A 体調不良者 B インフルエンザ等罹患者 C 特別配慮者 D 遅刻者

②検査場および控室の人数を35人以下とすることが望ましいが、各校の状況によって校長が判断する。

③検査場および控室は、受検者同士の距離および監督席からの距離を1メートル程度確保すること。

④特別検査場は、受検者同士の距離および監督席からの距離を2メートル以上確保すること。

⑤面接検査場では、受検者同士の距離を1メートル程度、面接委員との距離を2メートル以上確保すること。

⑥トイレには、利用後の手洗いを促す案内紙を掲示すること。

⑦インフルエンザ等の感染状況に応じ受検者が使用する校舎内適所にアルコール消毒液を設置し、希望者が利用できるようにすること。

(2) 検査当日について

①校舎内に入る前の待ち時間および控室や更衣室において、「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控えることや出来る限り密にならないようにすることについて、受検者に指示すること。

②検査場および控室は、適宜換気をおこなうこと。可能であれば、対角にある窓を常時少し開放して換気をおこなうこと。

③実技検査場および更衣室は、状況を見て、必要であれば換気をおこなうこと。

④トイレ内は常時換気をおこなうこと。

(3) 高等学校での対応について

生徒・教職員ともに、日ごろよりマスクの着用や手洗い、手指消毒の励行等、インフルエンザ等に対する予防をおこなうこと。

5-2 入学者選抜をおこなうにあたっての留意事項【中学校等、志願者・保護者等用】

(1) 受検会場について

①通常の検査場以外に、以下の受検者の特別検査場を準備します。ただし、AとBは可能な限り分けませんが、各校の状況によっては同じ検査場となることもあります。

A 体調不良者 B インフルエンザ等罹患者 C 特別配慮者 D 遅刻者

②検査場および控室の人数を35人以下を原則としますが、各校の状況によって異なる場合があります。

③検査場および控室は、受検者同士の距離および監督席からの距離を1メートル程度確保します。

④特別検査場は、受検者同士の距離および監督席からの距離を2メートル以上確保します。

⑤面接検査場では、受検者同士の距離を1メートル程度、面接委員との距離を2メートル以上確保します。

⑥検査場および控室は、適宜換気をおこないます。(対角にある窓を常時少し開放して換気をおこないます。)

⑦実技検査場および更衣室は、状況を見て、必要であれば換気をおこないます。

⑧トイレ内は常時換気をおこないます。

⑨インフルエンザ等の感染状況に応じ受検者が使用する校舎内適所にアルコール消毒液を設置します。

(2) 受検にあたり気をつけていただくこと

①日ごろより規則正しい生活や食生活に留意し、万全の体調で臨むようにしてください。

②校舎内に入る前の待ち時間および控室や更衣室において、「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控えてください。また、出来る限り密にならないようにしてください。

③予防としてマスクの着用や手洗い、手指消毒をおこなうようにしてください。

活動実績報告書

令和 ____年 ____月 ____日

学 校 名 _____

ふりがな

志願者氏名 _____

私は、下記により、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜における貴校が求める出願要件を満たしているため、志願します。

記

1 志願する高等学校等記入欄			
高等学校名	学科名	小学科名	
2 出願要件等記入欄			
満たしている出願要件 (必須要件以外)		出願要件を満たすことを 証明する添付書類の有無	
3 出願要件にかかる実績等記入欄 (資格、体育活動実績、文化活動実績、生徒会活動等実績、リーダー経験(生徒会長や部長等の経験))			
4 その他実績等記入欄			

推 薦 書

令和 年 月 日

滋賀県立 高等学校長 様

学校名

校長名

(公 印 省 略)

下記の者は、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜における貴校の推薦要件を満たしている
と認められるので推薦します。

記

ふりがな				性別							
氏名				生年月日	平成		年		月		日
志願課程			志願学科			科					
推薦区分			満たしている推薦要件 (必須要件以外)								
推薦要件を満たす ことを証明する 添付書類の有無											

副 申 書

令和 年 月 日

滋賀県立

学校名

校長名

(公 印 省 略)

下記の志願者について、次のとおり副申します。

記

1 志願者氏名・性別 氏 名 (ふ り が な) 性別

2 副申する内容

- ☐ 配慮に関する補足 ☐ 評定に関する補足 ☐ 通称名に関する補足
☐ 本人と保護者の姓に関する補足 ☐ 本人と保護者の住所に関する補足
☐ 氏名の外字に関する補足 ☐ その他の補足

3 事由および特筆すべき内容

4号の1 中 → 高

令和9年度滋賀県立高等学校入学志願者 個人調査報告書

ふりがな 氏 名				一覧表番号		令和 9 年 3 月 卒業見込	
生年月日		平成 年 月 日 生		性別			
各 教 科 の 学 習 の 記 録						総合所見および特別活動等 (行動の記録等についても特筆すべき点があれば記入すること)	
観点別学習状況				評 定			
教科	観点	1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	1						
	2						
	3						
社会	1						
	2						
	3						
数学	1						
	2						
	3						
理科	1						
	2						
	3						
音楽	1						
	2						
	3						
美術	1						
	2						
	3						
保健 体育	1						
	2						
	3						
技術 ・ 家庭	1						
	2						
	3						
外国 語	1						
	2						
	3						
必修教科の評定合計							
				記載者氏名			
				この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。			
				令和 9 年 月 日			
				学校所在地			
				学 校 名			
				校 長 名			
				印			

4号の2 中 → 高

令和9年度滋賀県立高等学校入学志願者 個人調査報告書

ふりがな 氏 名			一覧表番号			令和 年 3 月 卒 業 平成 卒業後の進路状況				
生年月日	平成 年 月 日	生	性別	()						
各 教 科 の 学 習 の 記 録				総合所見および特別活動等 (行動の記録等についても特筆すべき点があれば記入すること)						
観点別学習状況				評 定						
教科	観点	1年	2年	3年	1年	2年	3年	選 択 教 科		
国語	1							学年	教 科	評定
	2									
	3									
	4									
	5									
社会	1									
	2									
	3									
	4									
数学	1									
	2									
	3									
	4									
理科	1									
	2									
	3									
	4									
音楽	1									
	2									
	3									
	4									
美術	1									
	2									
	3									
	4									
保健 体育	1							総合的な学習の時間の記録		
	2									
	3									
	4									
技術・ 家庭	1									
	2									
	3									
	4									
外国 語	1									
	2									
	3									
	4									
必修教科の評定合計							記載者氏名			
				この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。						
				令和 年 月 日						
				学校所在地						
				学 校 名						
				校 長 名						
				印						

雇用（予定）証明書

〒 ー

志 願 者 現 住 所

志願者勤務

（予定）先事業所名等

〒 ー

志願者勤務

（予定）先 住 所

ふ り が な
志願者氏名

印

平成 ー 年 ー 月 ー 日生

上記の者は、令和 ー 年 ー 月 ー 日 から 本所（店）

に雇用中（雇用予定）の者であることを証明します。

令和 ー 年 ー 月 ー 日

事 業 所 所 在 地

電 話 番 号 （ 市外局番 ー 市内局番 ー 番号 ）

事 業 所 名

代 表 者 名

印

定時制課程特例措置申請書

令和 年 月 日

滋賀県立高等学校長 様

私は、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜において、定時制課程
特例措置による受検を希望しますので、申請します。

ふりがな
志願者氏名

生年月日

昭和
平成

年 月 日生 (満 歳)

現住所

出身中学校

中学校

(注) 生年月日の欄の () の中には、令和9年4月1日現在の年齢を記入すること。

一次募集追検査受検願

令和9年 月 日

滋賀県立 _____ 高等学校長 様

受 検 番 号 _____

ふ り が な _____

志願者氏名 _____

保護者等氏名 _____

このたび、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜 学力検査 ・ 学校独自検査 を、
下記の理由により欠席しましたので、一次募集追検査を受検できるようお願いします。

(該当の検査に○をつけてください)

記

理 由

添付書類

上記のとおり届け出がありました。

学校名

校長名

印

(注)「一次募集追検査受検願」(追1号)の記入について

- 1 保護者等氏名欄は、本人が自署すること。
- 2 保護者等については、両親ともいない場合は未成年後見人を記入すること。
- 3 中学校長は、令和9年3月5日(金)午後3時まで提出すること。
- 4 理由欄には、欠席の理由を具体的に記入すること。
- 5 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確にわかる書類を添付すること。

入 学 願 書

令和 年 月 日

滋賀県立大津清陵高等学校長 様

〒

志願者現住所

ふりがな

氏 名

昭和・平成 年 月 日生

学校名

昭和・平成・令和 年 月 卒業 ・ 卒業見込

〒

保護者等現住所

ふりがな

氏 名

貴校通信制の課程に入学を志願します。

志望学科 普通 科

(注)「入学願書」(通信1号)の記入について

- 1 保護者等氏名欄は、本人が自署すること。ただし、志願者が成人している場合は、不要とする。
- 2 志願者と保護者等の現住所が同じ場合には、保護者等現住所の欄は「志願者に同じ」と略記すること。
- 3 保護者等については、両親ともいない場合は未成年後見人を記入すること。

通信2号		通信制の課程
面 接 票		
受付番号 (高等学校で記入)		
ふりがな 氏 名		
生年月日	昭和 年 月 日生 平成	
志願する 高等学校名	滋賀県立大津清陵高等学校	
志願課程	通信制	
志願学科	普通科	
写 真		

【注意事項】

※写真の大きさは、縦4×横3cm無帽、正面上半身のもので、出願前3か月以内に写したものであること。

※この用紙をプリントアウトし、必要事項をボールペンで記入すること。

(用紙の種類は問わないものとする。)

※外枠の点線をハサミで切り取り、A6サイズで受検校に提出すること。

(点線で切り取るとA6サイズとなる。)

入学許可予定者数等総括表

(通 信 制 の 課 程)

令和 年 月 日

滋賀県立大津清陵高等学校 通信制の課程

課 程	募集定員 a	確定志願者数	入学許可予定者数 b	b / a
通 信 制				

(単位：人)

区 分		確定志願者数	入学許可予定者数
現住所	大 津 市		
	彦 根 市		
	長 浜 市		
	近江八幡市		
	草 津 市		
	守 山 市		
	栗 東 市		
	甲 賀 市		
	野 洲 市		
	湖 南 市		
	高 島 市		
	東 近 江 市		
	米 原 市		
	蒲 生 郡		
	愛 知 郡		
	犬 上 郡		
	計		
卒業年	新規学卒者		
	過年度卒者		
	計		
最高年齢者		歳	歳

全国1号

申請番号

SG

-

-

全国募集入学願書

令和 年 月 日

滋賀県立 高等学校長 様

〒 -

志願者現住所

ふりがな

氏 名 平成 年 月 日生

学校名

令和 年 月 卒業見込

〒 -

保護者等現住所

ふりがな

氏 名

貴校全日制の課程、学校独自型選抜(全国募集)による入学を志願します。

志望学科

入学の確約

学校独自型選抜(全国募集)における入学許可予定者の通知を受けた場合には、相違なく入学することを確約します。

(注)「全国募集入学願書」(全国1号)について

- 1 保護者等氏名欄は、本人が自署すること。
- 2 志願者と保護者等の現住所が同じ場合には、保護者等現住所の欄は「志願者に同じ」と略記すること。
- 3 保護者等については、両親ともいない場合は未成年後見人を記入すること。
- 4 信楽高等学校の全国募集を志願する場合は、学科欄に総合学科と記入すること。
- 5 伊香高等学校の全国募集を志願する場合は、学科欄に森の探究科と記入すること。
- 6 「滋賀県コンビニ決済システム」から発行された申請番号を右上の欄に記入すること。
- 7 入学考査手数料(2,200円)の納付後、「滋賀県コンビニ決済システム」のレシートを別紙に貼付すること。

全国1号・貼付用紙

申請番号	SG	-	-
氏名			
所属学校名			

全国募集入学願書・貼付用紙

※ 枠内にレシートを貼付すること

(注) 「全国募集入学願書・貼付用紙」(全国1号・貼付用紙) について

- 1 右上の欄に、「申請番号」「氏名」「所属学校名」を記入すること。
- 2 入学考査手数料(2,200円)を「滋賀県コンビニ決済システム」で納付し、レシートの原本を貼付すること。
- 3 レシートの一部にのみ糊を付け、必要に応じて裏面が確認できるようにすること。
- 4 レシートが枠に入りきらない場合は、折りたたんで良い。ただし、内容が確認できるようにすること。

全国2号

全国募集受検票

受検番号 (高等学校で記入)	
ふりがな 氏名	
生年月日	平成 年 月 日生
学校名	
志願する 高等学校名	滋賀県立 高等学校
志願課程	全日制
志願学科	森の探究科 総合学科

【注意事項】

※この用紙をプリントアウトし、必要事項をボールペンで記入すること。

(用紙の種類は問わないものとする。)

※外枠の点線をハサミで切り取り、A6サイズで受検校に提出すること。

(点線で切り取るとA6サイズとなる。)

全国3号

全国募集推薦書

令和 年 月 日

滋賀県立 高等学校長 様

学校名

校長名

(公 印 省 略)

下記の者は、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜における貴校の推薦要件を満たしていると認められるので推薦します。

記

ふりがな			性別				
氏名			生年月日	平成	年	月	日
志願課程	全日制の課程	志願学科			科	—	
推薦区分	推薦	満たしている推薦要件 (必須要件以外)			—		
推薦要件を満たす ことを証明する 添付書類の有無	なし						

全国4号 中→高

中→高→中

全国募集出願者一覧表

令和 年 月 日

滋賀県立 高等学校長 様

学校名

校長名

(公 印 省 略)

※ 受 検 番 号	志 願 者 氏 名	提出書類						備 考
		全国募集入学願書	全国募集入学願書・貼付用紙	全国募集受検票	全国募集推薦書	個人調査報告書	特別出願許可書	その他の書類
合計	名							

- (注) 1 ※印の欄は、中学校等では記入しないこと。
 2 提出書類の欄は、該当欄に○印を記入すること。
 3 備考欄には、その他の書類の名称を記入すること。
 4 全国募集入学願書・貼付用紙に入学考査手数料2,200円分の「滋賀県コンビニ決済システム」のレシートが貼付されているかを確認すること。

上記の書類を受領いたしました。

令和 年 月 日

高等学校名

校 長 名

印

全国5号

契
印

全国募集入学許可予定者通知書

令和 年 月 日

学 校 名.....

受検番号.....番

氏 名.....様

滋賀県立

高等学校長

印

あなたは、令和9年度滋賀県立高等学校学校独自型選抜(全国募集)において、
選考の結果、本校全日制の課程.....科第1学年入学許可予定者に
内定したので通知します。

全国募集結果の通知書

令和 年 月 日

様

滋賀県立

高等学校長

印

令和9年度滋賀県立高等学校学校独自型選抜（全国募集）において、選考の結果、貴校からの出願者について、下記のとおり通知します。

記

全日制の課程

学科	受 検 番 号	学 校 独 自 型 選 抜 出 願 者 氏 名	追 検 査	※1 学校独自型選抜 入学許可予定者	※2 学校独自型選抜 不 合 格 者
合 計		名			

- （注）
- 1 ※1、※2の欄については、該当する欄に○印を記入すること。
 - 2 追検査欄には、全国募集追検査を受検した者に○印を記入すること。

全国7号 高→県

全国募集に関する報告書

令和 年 月 日

滋賀県教育委員会教育長 様

滋賀県立

高等学校長

印

全日制の課程

学 校 名	出 願 者 数	本検査受検者数	本検査受検者の 入学許可予定者数
計			

学 校 名	－	追検査受検者数	追検査受検者の 入学許可予定者数
	－		
	－		

(注) 出願者数には、本検査を受検せず、追検査を受検した者の数を含めること。

全国募集追検査受検願

令和9年 月 日

滋賀県立 _____ 高等学校長 様

受検番号 _____

ふりがな _____

志願者氏名 _____

保護者等氏名 _____

このたび、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜学校独自検査を、下記の理由により欠席しましたので、全国募集追検査を受検できるようお願いします。

記

理 由

添付書類

上記のとおり届け出がありました。

学校名

校長名

印

(注)「全国募集追検査受検願」(全国追1号)の記入について

- 1 保護者等氏名欄は、本人が自署すること。
- 2 保護者等については、両親ともいない場合は未成年後見人を記入すること。
- 3 中学校長は、令和9年2月1日(月)午後3時まで提出すること。
- 4 理由欄には、欠席の理由を具体的に記入すること。
- 5 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確にわかる書類を添付すること。

滋賀県立学校特別出願許可申請書

特

令和 年 月 日

（あて先）

滋賀県教育委員会教育長 様

本人の住所

氏 名

年 月 日生

保護者等の住所

保護者等氏名

本人との続柄

保護者等の住所

保護者等氏名

本人との続柄

わたくしは、下記のとおり滋賀県立学校に入学を志願していますから出願を許可されますよう関係書類を添え保護者等と連署のうえ申請します。

記

1 在学（出身）学校

2 出願先学校 滋賀県立 学校 (科)

3 志願の理由

上記の は本校 年 月

卒業したことを

証明します。

卒業見込であることを

令和 年 月 日

学 校 名

校 長 名

印

注 1 志願の理由は、勤務先および勤務（予定）年月日等、詳細に記入してください。

2 不必要な文字は抹消してください。

滋賀県立高等学校特別出願副申書



本人の住所

氏 名

特別事情により入学を志願しようとする理由

(あて先)

滋賀県教育委員会教育長 様

上記の事情に相違なく、かつ

本都道府県 他

 の公立高等学校に志願しておりません。

令和 年 月 日

学校名

校長名



注 unnecessary text is to be deleted.

特出3号

滋賀県教育委員会指令高第 号

滋賀県立高等学校特別出願許可書

住 所

氏 名

令和 年 月 日付けで申請のありました

滋賀県立 高等学校 制の課程の 科

に出願することは、滋賀県立学校の管理運営等に関する規則（昭和32年滋賀県教育委員会規則第8号）第11条の3第1項第 号により許可します。

令和 年（ 年） 月 日

滋賀県教育委員会教育長

配慮1号(中→高)

令和 年 月 日

滋賀県立

学校名

校長名

(公印省略)

協議書

滋賀県立高等学校入学者選抜における特別な配慮を必要とする者に対する受検上の配慮について、以下のことについて協議をお願いします。

- 記
- 1 志願者氏名・性別 氏 名 (ふ り が な) 性別
- 2 志願課程・学科・科 志 願 課 程 志 願 学 科 科
- 3 配慮が必要な検査 ☐ 一次募集(学力検査) ☐ 一次募集(学校独自検査)
☐ 二次募集(面接・作文)
- 4 配慮が必要な要因 ☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害
☐ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害
☐ 情緒障害 ☐ 自閉症 ※1 ☐ 学習障害 ※2
☐ 学習支援 ※3 ☐ 注意欠陥多動性障害 ☐ 海外帰国生徒
☐ 病気 【
☐ けが 【
☐ その他 【

※1：高機能自閉症、アスペルガー症候群を含む ※2：LD、書字障害、読字障害を含む

※3：障害や海外帰国生徒ではないが、ルビ振り等の配慮を行っているケース等

- 5 中学校において配慮している内容

- 6 受検上の配慮事項

- 7 添付資料

(写しの場合、原本証明は不要とする)

- ☐ 診断書(写) ☐ 健康の記録(写) ☐ 副申書
☐ 個別の教育支援計画(写) ☐ 個別の指導計画(写)
☐ 海外帰国生徒等取扱措置願 ☐ 辞書持込み申請書
☐ その他 【

配慮2号（高→県）

滋 高 秘 第 号
令 和 年 月 日

県教育委員会事務局高校教育課長 様

学校名

校長名
(公 印 省 略)

協議書

滋賀県立高等学校入学者選抜における特別な配慮を必要とする者に対する受検上の配慮について、以下のとおり協議します。

- 記
氏 名
1 志願者氏名・性別 () ・
- 志 願 課 程 志 願 学 科 科
2 志願課程・学科・科
- 3 配慮が必要な検査 ☐ 一次募集(学力検査) ☐ 一次募集(学校独自検査)
☐ 二次募集(面接・作文)
- 4 配慮が必要な要因
- 5 受検上の配慮事項 ☐ 特別検査場での受検 ☐ 検査場への持込み
☐ 検査問題等へのルビ振り ☐ 検査問題等の拡大
☐ 検査時間の延長
☐ 辞書持込み
☐ 国語の検査への持込みあり ☐ 国語の検査への持込みなし
☐ 座席の配慮 ☐ 追検査受検
☐ その他 【 】

詳細記入欄

6 添付資料 中学校等からの提出書類（写）

海外帰国生徒等取扱措置願

滋賀県立 高等学校長 様

令和 年 月 日

ふりがな
志願者氏名 _____

保護者等氏名 _____

下記の記載事項は事実として相違ないことを誓約しますので、令和9年度滋賀県立高等学校入学者選抜において海外帰国生徒等としての扱いをお願いします。

記

1 海外在住地名

2 海外在住期間 年 月 日 ～ 年 月 日

3 学校教育歴

学校名	所在地 (国名・都市名)	在学学年	在学期間
		学年 ～ 学年	年 月 ～ 年 月
		学年 ～ 学年	年 月 ～ 年 月
		学年 ～ 学年	年 月 ～ 年 月
		学年 ～ 学年	年 月 ～ 年 月
		学年 ～ 学年	年 月 ～ 年 月
備考			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

学校名

校長名 _____ 印

(注)

- 1 保護者等氏名欄は、本人が自署すること。
- 2 日本に出身中学校がない場合は、中学校長の証明は必要ないが、他の証明資料等を提示すること。
- 3 学校教育歴は、小学校から現在在籍している学校まで、順に国内・国外すべての学校について記入すること。
- 4 備考の欄には、特に参考となることがあれば記入すること。

辞書持込み申請書

令和 年 月 日

滋賀県立 _____ 高等学校長 様

学 校 名 _____

志願者氏名 _____

私は、令和 9 年度滋賀県立高等学校入学者選抜における辞書の持込みを、下記のとおり申請いたします。

記

- 1 志願の課程および学科（課程については、いずれかに○をつけること）

	全日制の課程
	定時制の課程（昼間・夜間）

_____ 学科 _____ 科

- 2 持ち込む辞書の種類（中学校の定期考査等で活用している辞書）

_____ 辞書

_____ 辞書

※英語の辞書の場合は、英語以外の学力検査で持込みます。

- 3 国語の学力検査への辞書持込みの希望

（いずれかに○をつけること。ただし、国語の学力検査で辞書を持ち込む場合、「漢字の読み」および「漢字の書き取り」の問題は配点外とする。）

	あり
	なし

- 4 時間延長の希望

（いずれかに○をつけること。辞書を持ち込む場合は時間延長をすることができますが、中学校でも辞書持ち込みによる時間延長をされていることが前提です。）

	10 分間の時間延長を希望します
	時間延長を希望しません

令和９年度滋賀県立高等学校入学者選抜の関係書類等一覧表

【全日制の課程】（全国募集は別表に記載）

必要書類等名	様式	主な書類作成者	出願時に必要とする者または対象者
受検票	紙様式なし (Web出願)	志願者	出願者全員
個人調査報告書データ	紙様式なし (Web出願)	中学校等	出願者全員
活動実績報告書	１号	志願者	学校独自型選抜(自己推薦)への出願者
活動の内容等を証明するもの	紙様式なし (Web出願)	志願者	学校独自型選抜(自己推薦・中学校長推薦)への出願者で必要な者
推薦書	２号	中学校等	学校独自型選抜(中学校長推薦)への出願者
副申書	３号	中学校長	
一次募集追検査受検願	追１号	志願者、保護者等	追検査の受検を希望する者
住民票記載事項証明書		市区町村長	(a)中学校等を卒業した者、または修了した者 (b)令和９年３月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校等に在籍している者
滋賀県立学校特別出願許可申請書	特出１号	志願者、保護者等、中学校長	県立学校管理運営等規則第11条の３該当者
滋賀県立高等学校特別出願副申書	特出２号	中学校長	
滋賀県立高等学校特別出願許可書	特出３号	県教育長	

【定時制の課程】

必要書類等名	様式	主な書類作成者	出願時に必要とする者または対象者
受検票	紙様式なし (Web出願)	志願者	出願者全員
個人調査報告書データ	紙様式なし (Web出願)	中学校等	出願者全員
活動の内容等を証明するもの	紙様式なし (Web出願)	志願者	学校独自型選抜(自己推薦・中学校長推薦)への出願者で必要な者
推薦書	２号	中学校等	学校独自型選抜(中学校長推薦)への出願者
副申書	３号	中学校長	
雇用(予定)証明書	５号	志願者、雇用主	県内に勤務地を有する県外からの志願者
定時制課程特例措置申請書	６号	志願者	満19歳以上（令和９年４月１日現在）の者のうち希望者のみ
一次募集追検査受検願	追１号	志願者、保護者等	追検査の受検を希望する者
住民票記載事項証明書		市区町村長	(a)中学校等を卒業した者、または修了した者 (b)令和９年３月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校等に在籍している者
滋賀県立学校特別出願許可申請書	特出１号	志願者、保護者等、中学校長	県立学校管理運営等規則第11条の３該当者
滋賀県立高等学校特別出願副申書	特出２号	中学校長	
滋賀県立高等学校特別出願許可書	特出３号	県教育長	

【通信制の課程】

必要書類等名	様式	主な書類作成者	出願時に必要とする者または対象者
入学願書	通信 1 号	志願者、保護者等	出願者全員
面接票	通信 2 号	志願者	出願者全員
入学許可予定者数等総括表	通信 3 号	高等学校長	
個人調査報告書	4 号の 1 4 号の 2	中学校長	出願者全員
副申書	3 号	中学校長	
雇用(予定)証明書(写)	5 号	志願者、雇用主	県内に勤務地を有する県外からの志願者
住民票記載事項証明書		市区町村長	(a) 中学校等を卒業した者、または修了した者 (b) 令和 9 年 3 月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校等に在籍している者
滋賀県立学校特別出願許可申請書	特出 1 号	志願者、保護者等、中学校長	県立学校管理運営等規則第 11 条の 3 該当者
滋賀県立高等学校特別出願副申書	特出 2 号	中学校長	
滋賀県立高等学校特別出願許可書	特出 3 号	県教育長	

【全国募集（信楽高等学校・伊香高等学校）】

必要書類等名	様式	主な書類作成者	出願時に必要とする者または対象者
全国募集入学願書	全国 1 号	志願者、保護者等	出願者全員
全国募集入学願書・貼付用紙	全国 1 号・ 貼付用紙	志願者、保護者等	出願者全員、2,200 円分の「滋賀県コンビニ決済システム」のレシートを貼付
全国募集受検票	全国 2 号	志願者	出願者全員
全国募集推薦書	全国 3 号	中学校長	出願者全員
全国募集出願者一覧表	全国 4 号	中学校長	出願者全員
全国募集入学許可予定者通知書	全国 5 号	高等学校長	
全国募集結果の通知書	全国 6 号	高等学校長	
全国募集に関する報告書	全国 7 号	高等学校長	
副申書	3 号	中学校長	
個人調査報告書	4 号の 1	中学校長	出願者全員
全国募集追検査受検願	全追 1 号	志願者、保護者等	追検査の受検を希望する者
滋賀県立学校特別出願許可申請書	特出 1 号	志願者、保護者等、中学校長	県立学校管理運営等規則第 11 条の 3 該当者
滋賀県立高等学校特別出願副申書	特出 2 号	中学校長	
滋賀県立高等学校特別出願許可書	特出 3 号	県教育長	

付 県立高等学校入学者選抜における中学校（番号）一覧表

（義務教育学校、特別支援学校中学部、中等教育学校含む）

番号	中学校名	番号	中学校名	番号	中学校名	番号	中学校名
1	滋大附属中学校	32	守山中学校	63	朝桜中学校	94	双葉中学校
2	比叡山中学校	33	守山北中学校	64	能登川中学校	95	マキノ中学校
3	近江兄弟社中学校	34	明富中学校	65	彦根東中学校	96	今津中学校
4	光泉カトリック 中学校	35	守山南中学校	66	彦根西中学校	97	朽木中学校
5	滋賀学園中学校	36	栗東中学校	67	彦根中央中学校	98	安曇川中学校
6	立命館守山中学校	37	栗東西中学校	68	彦根南中学校	99	高島中学校
7	幸福の科学学園 関西中学校	38	葉山中学校	69	彦根中学校	100	湖西中学校
8	葛川中学校	39	中主中学校	70	鳥居本中学校	101	県立河瀬中学校
9	伊香立中学校	40	野洲中学校	71	稲枝中学校	102	県立守山中学校
10	真野中学校	41	野洲北中学校	72	日野中学校	103	県立水口東中学校
11	堅田中学校	42	水口中学校	73	竜王中学校	番号	義務教育学校名
12	仰木中学校	43	城山中学校	74	秦荘中学校	104	虎姫学園
13	日吉中学校	44	土山中学校	75	愛知中学校	105	余呉小中学校
14	唐崎中学校	45	甲賀中学校	76	豊日中学校	番号	特別支援学校中学部名
15	皇子山中学校	46	甲南中学校	77	甲良中学校	106	滋大附属特別支援学校 中学部
16	打出中学校	47	信楽中学校	78	多賀中学校	107	盲学校中学部
17	栗津中学校	48	石部中学校	79	長浜西中学校	108	聾話学校中学部
18	北大路中学校	49	甲西中学校	80	長浜北中学校	109	北大津養護学校中学部
19	石山中学校	50	日枝中学校	81	長浜東中学校	110	鳥居本養護学校中学部
20	南郷中学校	51	甲西北中学校	82	長浜南中学校	111	長浜養護学校中学部
21	田上中学校	52	八幡中学校	83	浅井中学校	112	草津養護学校中学部
22	瀬田中学校	53	八幡東中学校	84	びわ中学校	113	守山養護学校中学部
23	瀬田北中学校	54	八幡西中学校	85	湖北中学校	114	野洲養護学校中学部
24	青山中学校	55	安土中学校	86	高月中学校	115	三雲養護学校中学部
25	志賀中学校	56	玉園中学校	87	木之本中学校	116	新旭養護学校中学部
26	玉川中学校	57	聖徳中学校	88	西浅井中学校	117	八日市養護学校中学部
27	高穂中学校	58	船岡中学校	89	柏原中学校	118	甲良養護学校中学部
28	草津中学校	59	永源寺中学校	90	大東中学校	番号	中等教育学校名
29	老上中学校	60	五個荘中学校	91	伊吹山中学校	119	MIHO美学院中等教育学校
30	松原中学校	61	愛東中学校	92	米原中学校		
31	新堂中学校	62	湖東中学校	93	河南中学校		

滋賀県教育委員会事務局 高校教育課

高等学校入学者選抜に関すること TEL 077-528-4573
特別事情による出願に関すること TEL 077-528-4571

住 所 〒520-8577 滋賀県大津市四丁目1番1号
メー ル ma0902@pref.shiga.lg.jp
ウェブページ <https://www.pref.shiga.lg.jp/edu/ma09/16947.html>